構造設計標準仕様

選択項目における適用は ● 印を記入する。

1.建築物の構造内容

(1) 工事名称　（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事
　建築場所　長野県松本市梓川梓 714−1 他
(2) 工事種別　● 新築　増築　増改築　改築
(3) 構造種別　● 鉄骨造(S)　鉄筋コンクリート造(RC)
　鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)
(4) 階　数　地下 0 階　地上 2 階　塔屋 0 階
(5) 主要用途　給食センター
(6) 屋上付属物　● 外周立上り壁　● 太陽光パネル　● キューピクル　● 室外機
　● ハト小屋　● 設備ダクト　● 鋼製煙突
　燃料小出し槽　太陽光用変圧器　外調機　発電機
　遠心送風機　屋上広告塔　排煙ハッチ
(7) 増築計画　有　● 無
(8) 特別な荷重　● (6)の屋上付属物　● 調理室各機器(1F)　● ﾎﾞｲﾗｰ室各機械(1F)　● 消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室各機械(1F)
　● 機械室各機械(2F)
(9) 構造計算ルート　X方向ルート（ 3 ）　Y方向ルート（ 3 ）

設計用地震荷重　地域係数　Z＝ 1.0　重要度係数　U＝1.25　(保有耐力時)
積雪荷重　（ 一般 ）地域　垂直積雪量　d＝ 83 cm
風荷重　地表面粗度区分（ Ⅲ ）　風速　Vo＝ 30 m/sec

2.使用構造材料

(1) コンクリート

適用範囲	種　類	設計基準強度 Fc (N/mm²)	耐久設計基準強度 Fd (N/mm²)	品質基準強度 Fq (N/mm²)	スランプ (cm)	骨材の最大寸法 (mm)
捨てコンクリート	● 普通	● 18		● 18	18	25
基礎、基礎梁	● 普通	● 24	● 24	● 24	15	25
1F 床、腰壁	● 普通	● 24	● 24	● 24	15	25
2F 床・腰壁	● 普通	● 24	● 24	● 24	15	25

耐久設計基準強度　Fd (N/mm²)
①普通コンクリート　18 (短期)　24 (標準)　30 (長期)　36 (超長期)
※ 計画供用期間の級が超長期の場合、かぶり厚さを +10 とすれば、30N/mm2とする。
②軽量コンクリート　18 (短期)　24 (標準)　30 (長期)

(2) コンクリートブロック（ＣＢ）
A種　B種　C種　厚み　100　120　150　180

(3) 鉄　筋

種　類		径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	● SD295	D16以下		● 重ね継手　D16以下
	● SD345	D19〜		● ガス圧接継手　D19以上
	SD390	D29以上		特殊機械式継手
	SD490			
丸　鋼	SR235			
高強度せん断補強筋	KSS785			

(4) 鉄　骨

種　類		使用箇所	現場溶接	備　考
鋼　材	●SS400 ●SN400B ●SN490B	梁、雑部材	有 ● 無	
	●SN490C ●SN490B	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ	有 ● 無	
	●BCR295　BCP325 ●STK400	柱	有 ● 無	
	●STKR400 ●SSC400	雑部材	● 有　無	● 雑部材の接合で現場溶接あり

(5) ボルト
● 高力ボルト(認定品とする)　● S10T　● F10T　● F8T (外部鉄骨露出位置の溶融亜鉛メッキ箇所)
高力ボルトすべり係数試験 ~~(溶融亜鉛メッキ箇所 F8T のみ)~~
● 中ボルト　● SS400
● アンカーボルト(ダブルナット：既製品柱脚は除く)
● 頭付スタッドボルト（ＪＩＳ規格品）

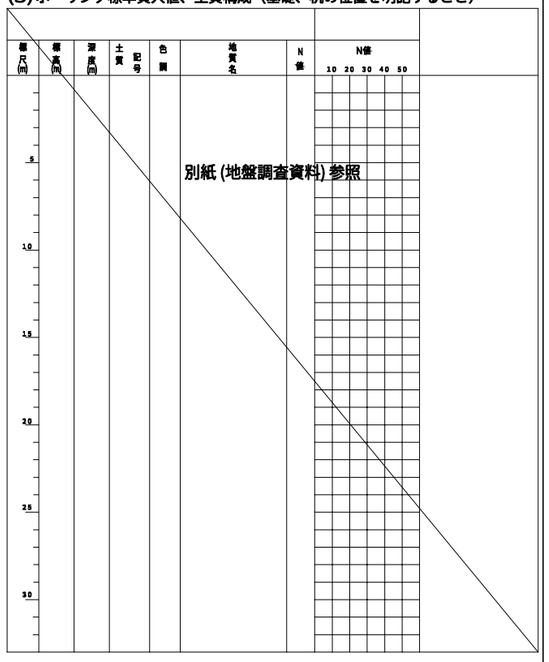
(6) 屋根、床、壁（使用箇所）　● ＲＣ躯体のうえ仕上
● 折版（屋根）　● ガルバリウム鋼板（屋根）　● 木毛ｾﾒﾝﾄ板＋防水ｼｰﾄ（屋根）
エムエフルーフデッキ（屋根）　アイルーフデッキ（屋根）　ＱＬルーフ（屋根）
合成デッキプレート（床）　● 捨て型枠用デッキプレート（床）　断熱パネル板＋防水ｼｰﾄ（屋根）
● 押出成型ｾﾒﾝﾄ板(ﾌｧｽﾛｯｸ)（壁）　セメントボード(ﾃﾞｺﾗｼｰﾄ)(壁)　金属ｻﾝﾄﾞｳｨｯﾁﾊﾟﾈﾙ(ｲｿﾊﾟﾝﾄﾞ)(壁)
鋼板サンドイッチパネル（壁）　窯業系サイディング（壁）　金属サイディング（壁）
ＧＬ鋼板（壁）　スパンドレル（壁）　アルミパネル（壁）
ＡＬＣ板（壁）　金属ｻﾝﾄﾞｳｨｯﾁﾊﾟﾈﾙ(ｲｿﾊﾟﾝﾄﾞ)(壁)

3.地　盤

(1) 地盤調査資料
● 有　（ ●敷地内　近隣 ）　● ボーリング調査　平板載荷試験　水平地盤反力係数の測定
液状化判定　現場透水試験　細粒分含有率試験
無　（調査予定　有　無 ）

(2) 地盤調査計画（施工時）　● 有　無
ボーリング調査　静的貫入試験　標準貫入試験　水平地盤反力係数の測定
● 施工時試験掘（支持層，改良深さの確認）　土質試験　物理探査　平板載荷試験
試験杭（支持層，埋込長の確認）　表面波探査試験

(3) ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎、杭の位置を明記すること）



4.地業工事

(1) 直接基礎　べた基礎　布基礎　● 独立基礎
施工時試験掘　● 有
施工時＊＊＊試験　有
支持層　設計ＧＬ－ 2.60、2.70 m 以深　玉石混り砂礫層

設計用長期許容支持力度　300 kN/m²

(2) 杭基礎　杭先端：　設計ＧＬ－　8.7　m 以深　粘土質シルト層

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
別紙 (基礎伏図) 参照		ATTコラム工法	認定工法
ＲＣ　ＰＲＣ ＰＨＣ　Ｈ鋼	PRC　（ Ⅰ種 Ⅱ種 Ⅲ種 ） PHC　（ A種 B種 C種 ）	埋込み（セメントミルク工法）	認定工法
BF−DAM　ＢＦ ＳＣ　ＰＨＣ	~~SC　（　SKK490　）~~ BF−DAM105	Hybridニーディング工法	認定工法
鋼管 +コラム	鋼材　SS400　STK490	ATTコラム工法（旭化成建材製）	認定工法
場所打ち コンクリート杭	コンクリート　Fc スランプ　18　cm セメント量　3.3　kN/m³ 粗骨材の最大寸法　20　mm 鉄　筋　主　筋　SD　345 HOOP　SD　295A	アースドリル　拡底杭 オールケーシング リバースサーキュレーション 深礎（　手掘　機械掘）	拡底杭 日本建築センター 認定第　号 年　月　日

杭仕様　● 施工計画書承認　● 杭施工結果報告書
試験杭　（ ● 有　無 ）　（ ● 打ち込み　載荷 ）　1　本

杭　径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭先端の深さ (m)	本　数	特記事項
		基礎伏図参照		

5.鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート
● コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし、施工に関してはＪＡＳＳ５（最新版）による。
● セメントは、ＪＩＳ　Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
● 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
● 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
● フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
● 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（ＪＡＳＳ５Ｔ−６０３）は、現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打込み量が１５０m3をこえる場合は１５０m3ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当たり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
● ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１２０分、２５℃以上の場合は９０分以内とする。

(2) 鉄　筋
● 鉄筋はＪＩＳ　Ｇ３１１２の規格品を標準とする。施工はＪＡＳＳ５（最新版）による。高強度せん断補強筋は、ＪＩＳＧ３１３７に規定されるＤ種１号適合品とする。
● 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
● Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
● ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（２００箇所を超えるときは、２００箇所ごと）に１回行い、１回の試験は３本以上とする。
外観検査　● 有　無　引張検査　有　● 無　超音波探傷検査　● 有　無
● 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、　● Ｈ型（タガ型）　● Ｗ型（溶接型）　Ｓ型（スパイラル型）とする。
● コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第４条の試験機関または、工事監理者が指定する機関で行うこと。
試験機関名　工事監理者が指定する機関
代行業者名　工事監理者が指定する業者
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型　枠
● 材料　合板厚１２m／mを標準とする。
● 型枠存置期間

種別 / 部位	せき板				支柱		
	基礎，はり側，柱，壁		スラブ下，はり下		スラブ下		はり下
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5℃〜15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5 N/mm²		設計基準強度の５０％		設計基準強度の８５％		設計基準強度の１００％

注）１　片持ばり、庇、スパン９m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）５　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってからスラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）６　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6.鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
●
● 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
● 継手又は仕口部において、平成12年建告第1464号に準拠する

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
● 製作工場　● 製作要領書　● 工作図　●
● 認定工場または登録工場（大臣認定 グレードＭ以上 または都登録　ランク）
● 材料規格証明書または試験成績書
● 鋼材　● 高力ボルト　● 特殊ボルト
● 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目
（ ● 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
現寸検査　● 組立、開先検査　● 製品検査
● 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること
● 東京都アーク溶接工事管理規準（建築構造設計指針第１２章）
● 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第１２章）
● 日本建築学会「溶接工作規準・同解説　Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
● 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
● 溶接部の検査（検査結果は、後日工事監理者に報告すること）

検　査　箇　所	検　査　方　法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備　考
● 完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	100 %	30 %	− % 個	
	外観（目視）検査	100 %	100 %	− %	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名	CIW認定業者				
第三者検査機関とは、工事施工者が受入れ検査を代行させるために、自ら契約した検査会社をいう。					

注1）　現場溶接部については、第三者による全数検査を行うこと。
● 高力ボルトは「ＪＩＳ　Ｂ１１８６の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外にて自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
● 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装　（仕上塗装は意匠図による）
素地ごしらえ及びさび止め塗装の種別

施工箇所	素地ごしらえ	さび止め塗料		塗り回数 製作工場	工事現場
一般部 屋外 屋内	Ｂ種 ● Ｃ種	● ＪＩＳＫ５６７４	● １種 ２種	● １回 ２回	● １回 ● 補修塗り

（注1）1回目の錆止め塗料塗りは、製作工場において組立後に行う。ただし、組立後塗装困難となる部分は、組立前に錆止め塗料を2回塗る。
2回目の錆止め塗料塗りは、工事現場において建方及び接合完了後、汚れ及び付着物を除去して行う。
なお、塗装に先立ち、接合部の未塗装部分及び損傷部分は、汚れ、付着物、スパッター等を除去し補修塗りを行い、乾燥後、2回目を行う。
（注2）耐火被覆材を接着する面は原則として塗装しない。

(7) 耐火被覆の材料
● 意匠図参照

7.設備関係

● 設備機器の架台及び基礎については、工事監理者の承認を得ること。
● 各種機械(機械架台を含む)の躯体との接続(アンカー等)は機械メーカーの設計・施工とする。
施工業者間(建設、設備、機械施工業者を含む)でよく打合せを行うこと。
● 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合は、スラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を５ｃｍ以上とする。

8.その他

● 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
● 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。
● 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

DRAWING
一級建築士事務所　一級建築士
第２７３０３２号 大臣許可 第８１２１号
久 志 吉 登

■備考

工事名　（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称　構造設計標準仕様

倉橋・県建築設計共同企業体

SCALE　A1：no scale　A3：no scale
DATE　2026. 01

長野県松本市野清水工1−1−30　TEL (0263) 26−6765　FAX (0263) 28−6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

図面番号　S−01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

1.一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記　号

d･･･ 異形棒鋼の呼び名に用いた数値（丸鋼では径）　D･･･部材の成　R･･･直径
@･･･ 間隔　r･･･半径　℄･･･中心線　lo･･･部材間の内法距離　ho･･･部材間の内法高さ
ST･･･あばら筋　HOOP･･･帯筋　S.HOOP･･･補強帯筋　φ･･･直径又は丸鋼

2.鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状　（＊は片持ちスラブ上端筋の先端を示す）

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度９０度はスラブ筋・壁筋の末端部又はスラブと同時に打ち込む T形及びL形梁のキャップタイにのみ用いる。
図	d, R, 余長	d, R, 余長	d, R, 余長	キャップタイ d, 8d以上
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(*4d以上)	8d以上(*4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235 は3d以上、SD295 、SD295B 、SD345 のD16 以下は、3d以上,D19 以上は、4d以上、SD390 は5d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状（鉄筋の折曲げ角度９０°以下）

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法（R）
d, R	帯　筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235,SD295	16φ D16 以下	3d以上
		SD345	19φ D19 以上	4d以上
d, R	上記以外の鉄筋	SR235,SD295 SD345 SD390	16φ D16 以下	4d以上
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（N/mm²）	定着の長さ 一般（L2）	定着の長さ 下端筋（L3） 小梁	定着の長さ 下端筋（L3） スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（L1）
SR 235	21、24	35d フック付	25d フック付	150mm フック付	35d フック付
	18 以下	45d フック付			45d フック付
SD 295 SD 345	30～36	30d 又は 20d ﾌｯｸ付	25d 又は 15d フック付	10d かつ 150mm以上	35d 又は 25d ﾌｯｸ付
	21～27	35d 又は 25d ﾌｯｸ付			40d 又は 30d ﾌｯｸ付
	18 以下	40d 又は 30d ﾌｯｸ付			45d 又は 35d ﾌｯｸ付
SD 390	30～36	35d 又は 25d ﾌｯｸ付			40d 又は 30d ﾌｯｸ付
	21～27	40d 又は 30d ﾌｯｸ付			45d 又は 35d ﾌｯｸ付

継　手
1.末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない。
2.継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
3.直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
4.D２９以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
5.鉄筋径の差が７mmを超える場合は、圧接としてはならない。

ガス圧接形状　3mm以下　θ　d　θ＞80°
1.1d以上　d　1.4d以上　圧接面
d　d/5以下　圧接面
d/4以下　d　圧接面

圧接継手　400mm 以上
重ね継手（下図のいずれかとする）　L1　1.5L1 以上　L1　約 0.5L1

(4) かぶり厚さ　（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。

かぶり厚さ

部位			設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40 (1)	30(20)
	柱 はり 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50 (2)	40 (1)(30)
	擁壁		50 (3)	40
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・耐力壁		50	40 (4)
	基礎・擁壁		70	60 (4)

(注) (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて３０mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて４０mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質及び施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて４０mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、１０mm増しの値とする。
(5) （ ）内は仕上げがある場合を示す。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値１．５d以上
粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上かつ２５mm以上

異形鉄筋　間隔　do あき do　　丸　鋼　間隔　d あき d

(6) 鉄筋のフック

（a～f に示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）
a. 丸鋼　b. あばら筋、帯筋　c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出隅部分の鉄筋（右図参照）
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

柱　梁

3.杭

(1) ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う。

所定の位置に止まった場合	所定より低く止まった場合
補強筋 L2 HOOP @150 50以上 φ 基礎下端 コンクリート止め板	但し　L≦φの場合 L＞φの場合は工事監理者の指示による。 補強筋 HOOP @150 3-D16 基礎下端 45° L 150 1.5φ 150 コンクリート止め板

杭　径	300φ,350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10-@150				

(2) 現場打ちコンクリート杭

杭頭処理　℄　斫り部分　余盛コンクリート　800～1,000　100以上　40d 杭主筋　200以上 へりあき　φ　杭間隔は 2x φかつ φ＋1,000以上

45d 重ね継手　HOOP筋の継手は 片側溶接 10d 又は重ね継手 40d　スペーサー FB@3,000 （各４ヶ所）　主筋のかぶりは 100 以上とする。

4.基　礎　　別紙設計図による

(1) 直接基礎

D1　捨帯筋　45°　d　D　b　a　b

ベース筋
a=D1+2d　の範囲
主筋間隔は200以下
b の範囲
主筋間隔は 1.5倍かつ 300以下

斜め筋3-D13以上

(2) 杭基礎

フック付　20d以上　かぶり厚さ　20d (両側)

余長4d　フック無し　20d以上　かぶり厚さ　40d (片側)

(3) べた基礎　　ハンチを付けた場合（a≧3）

1.耐圧板鉄筋の継手位置は床スラブにならう。
　但し、上端筋と下端筋を読みかえる。
2.①の鉄筋はスラブ主筋以上の径とする。
3.②の鉄筋はＤ１３以上。
4.埋戻し土のある場合は、上端筋のかぶり厚さ４０を７０とする。

a　L3　≧15d　40　70　L2

(4) 基礎接合部の補強

L2　L3　W1　別紙設計図による　45° 以下　L2

別紙設計図による
0≦H≦1,000
D13@200　H　300　継手

W1の三角壁厚さは、地中梁幅とする。

＊印筋は D10-@200とする。
H≦５００は＊印筋は不用とする。

5.地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）
＊上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

0.75D　外端部　内端部　0.75D　L2　lo　lo/4　lo/2（継手範囲）　lo/4　15d　15d　20d　＊

(2) 布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）
＊上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

外端部　内端部　L2　lo　lo/4　lo/2　lo/4　L3　20d　20d　15d　15d　上端筋継手範囲　下端筋継手範囲　上端筋継手範囲

(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋
地中梁の主筋、頭付スタッドボルトによる、おさまりに注意する。

鉄骨柱D　125以上　HOOP 2-D13以上　(基礎梁のない側)　D以上 注1　125 以上　(基礎梁のある側)　主筋　HOOP 2-D13以上　地中梁上端筋　主筋　40d以上　HOOP @100　400以上　B.PL下端　地中梁せい　埋込み長さh　HOOP @150　割製防止用U字筋　B.PL下端　30～50　埋込み長さh　鉄骨柱２D以上　地中梁下端筋　150以上　ベース下の施工を慎重にする。

(注１　計算によらない場合である)

(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領
＊一般のあばら筋と同様のものを２本束ねる。

ハンチ　梁幅　ハンチ　1　6～8　＊2-D　＊2-D　柱　ハンチ　梁幅

(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

せい (D)が1,500を超える場合

イ　D　8d　イの拡大図　8d

6.柱

(1) 柱主筋の継手

ho/4　ho/2　1,000　継手　ho/4　ho　圧接継手　重ね継手　継手の好ましい位置

(2) 柱主筋の定着

鉄筋のフックは、柱頭の四隅の鉄筋並びに梁のせいが小さく、設計応力に対して必要な定着長さが不足する箇所に付ける。

ho　ho/2+15d　L2　400以上　柱頭補強かご鉄筋　補強かご鉄筋　主筋と同径　L1　150以上　補強かご鉄筋

(3) 帯　筋

D　第１帯筋　@150 以下　設計ピッチ以下　第１帯筋

㋑H型（タガ型）　135°　8d　口 型

㋺W型（溶接型）　5d以上　10d 以上　5d　L　2d　2d　日 型

㋩S型（スパイラル型）　15d　12d　12d　L　8d　Ⅲ 型

注1.第１帯筋は梁面に入れる。
注2.W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける。
注3.フック及び継手の位置は交互とする。

Lは中間部 50d以上かつ 300 以上
末端部の添巻は 1.5巻以上とする。

Lは片面溶接 10d 両面溶接 5d以上

Lは50d以上かつ 300以上とする。

(4) 斜め柱・斜め梁

○柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一　L2　1.5D　柱(D)

○柱幅と斜材幅が異なる　P P P P P　1.5D　柱(D)

○柱脚で斜材となる　柱(D)　梁(D)

注1. 1.5D の範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし @100 以下とする。
注2. ① の鉄筋は 2-D13かつ、２本の一段太い鉄筋とする。

(5) 絞り　e　6d　100　D　6d　100　e ≦ D/6

e　15d　6d　L1　D　400　e ＞ D/6
帯筋より１サイズ太く又は同サイズ２本

(6) 二段筋の保持　6φ-@1,000　a　4d　a＝1.5ｘ(呼び名の数値)

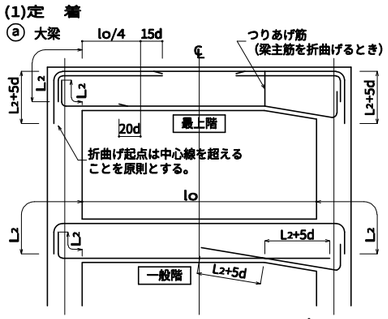
| | | | |

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

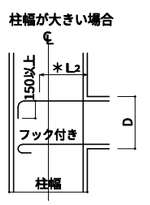
7.大梁、小梁、片持梁

(1)定　着

ⓐ 大梁

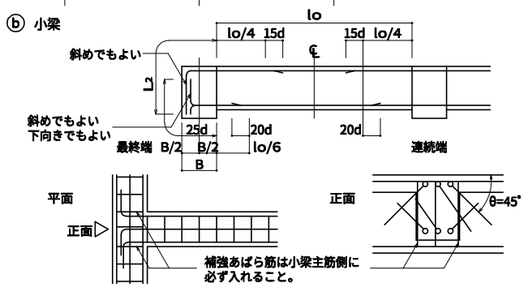


柱幅が大きい場合

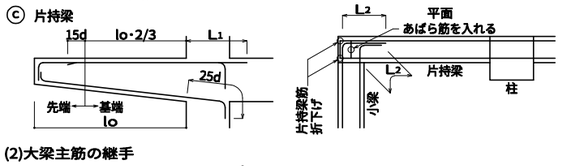


＊柱幅が大きくて、直線部だけでL2がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上、又は180°フック付きとする。

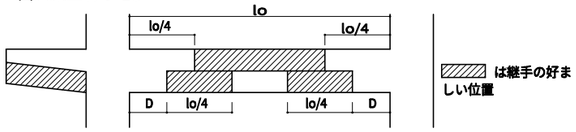
ⓑ 小梁



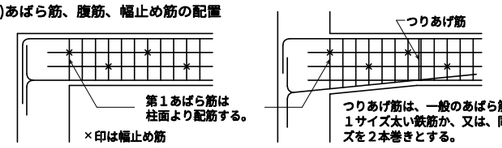
ⓒ 片持梁



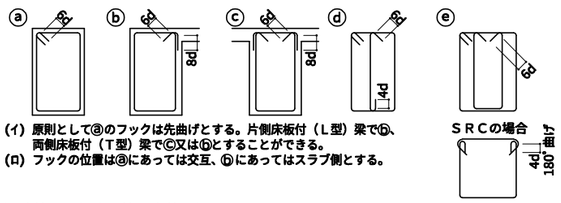
(2)大梁主筋の継手



(3)あばら筋、腹筋、幅止め筋の配置



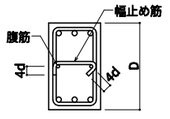
(4)あばら筋の型（柱、床版がない場合は１３５°以上のフックとする）



(ｲ) 原則としてⓐのフックは先曲げとする。片側床板付（L型）梁でⓑ、両側床板付（T型）梁でⓒ又はⓓとすることができる。
(ﾛ) フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

(5)腹筋及び幅止め筋の本数、加工

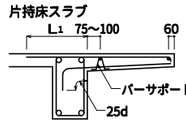
腹筋	D<600 不要		
	600≦D< 900	2-D10(9φ)	1段
	900≦D<1,200	4-D10(9φ)	2段
	1,200≦D	D10(9φ)@300 以内	
幅止め筋	D10(9φ)@1,000 以内で割り付ける		



8.床　板

(1)定着および継手

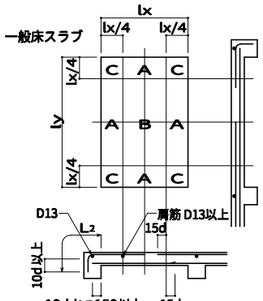
ⓐ 片持床スラブ



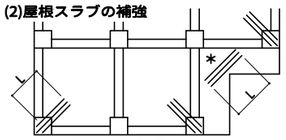
継手位置は原則として下表による。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	AC

ⓑ 一般床スラブ

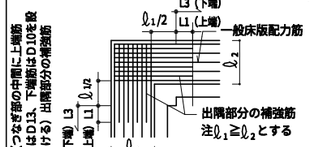


(2)屋根スラブの補強

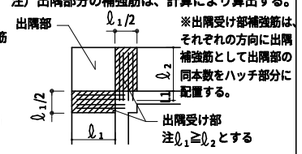


ⓒ 補強筋は各 3-D13、又はスラブ主筋の同一径で L=1,500とし、上端筋の下に配筋する。
ⓑ ＊の箇所（入隅）は各隅補強する。

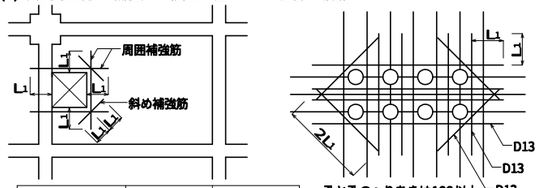
(3)片持スラブ出隅部補強



注）出隅部分の補強筋は、計算により算出する。



(4)床板開口部の補強　（開口の径は５００程度の場合）

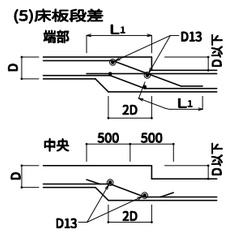


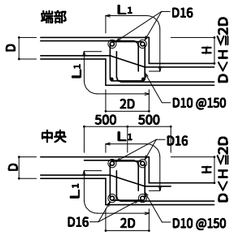
床板厚さD	周　囲	斜　め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16

孔と孔のへりあきは100以上

注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

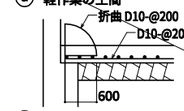
(5)床板段差



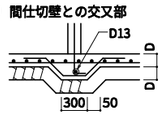


(6)土間コンクリート

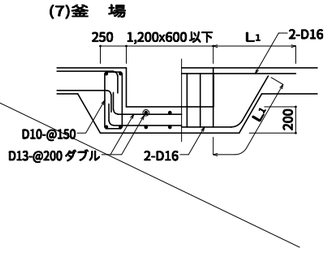
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交又部



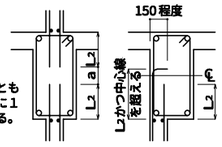
(7)釜　場



9.壁

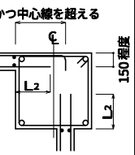
(1)定　着

ⓐ 梁



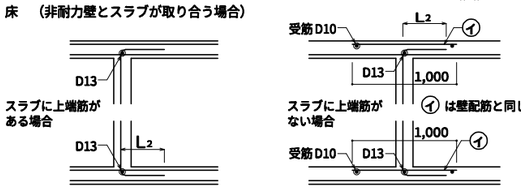
横筋は上下端とも梁、又は床面に１段目を配置する。

ⓑ 柱　（平面図）

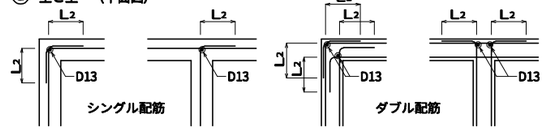


縦筋は、柱面に１本目を配置する。

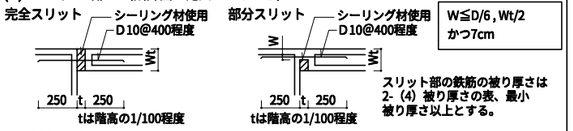
ⓒ 床　（非耐力壁とスラブが取り合う場合）



ⓓ 壁と壁　（平面図）



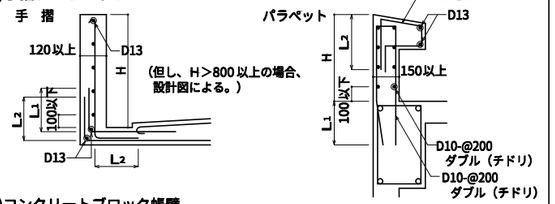
(2)スリット部　（設計図に記入のあるとき）



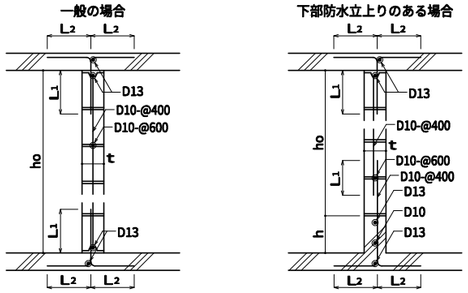
W≦D/6，Wt/2 かつ7cm

スリット部の鉄筋の被り厚さは 2-（4）被り厚さの表、最小被り厚さ以上とする。

(3)手摺、パラペット



(4)コンクリートブロック幅壁

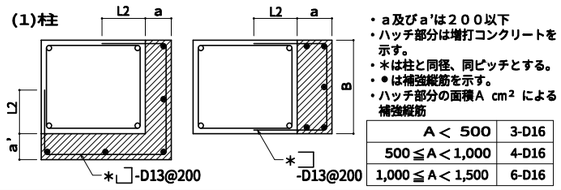


注）ho≦25tかつ3,500以下とする。但し、直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く。
注）h はコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦ h≦ 400
注）継手部は必ずモルタルを充てんすること。

10.柱、梁増打コンクリート補強

（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

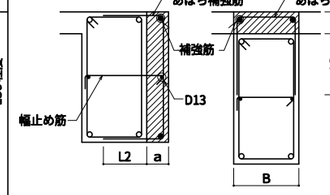
(1)柱



・a及びa'は２００以下
・ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
・＊は柱と同径、同ピッチとする。
・●は補強縦筋を示す。
・ハッチ部分の面積A cm² による補強縦筋

A＜ 500	3-D16
500≦A＜1,000	4-D16
1,000≦A＜1,500	6-D16

(2)梁



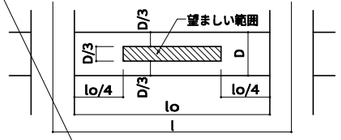
・●は補強筋を示す。
・補強筋は、梁主筋の１段落し径（D16以上，@200以内）とする。
・あばら補強筋は、梁あばら筋と同径、同ピッチとする。
・腹筋D13ピッチは、梁の腹筋と合せる。
・B≧400の場合は補強筋を３本とする。
・aは１００～２００程度。
・梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
・ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

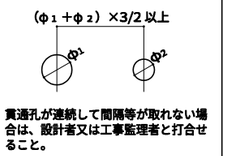
11.梁貫通孔補強

基礎梁貫通孔の補強は 既製品 による。
開口位置等は 既製品 仕様書に準拠する。

(1)設置可能範囲

梁端部（スパンl/10以内かつ2D以内）は避ける。

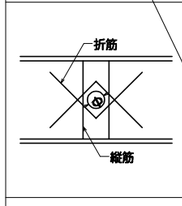


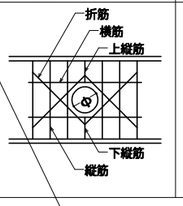


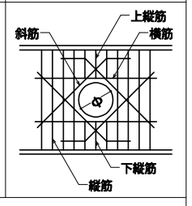
貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は、設計者又は工事監理者と打合せること。

(2)鉄筋標準配筋　（但し、φ≦ D/3とする。）

80≦ φ ≦100		100< φ ≦150		150< φ ≦250	
折　筋	2x(2-D13)	折　筋	2x(2-D13)	斜　筋	4x(2-D13)
縦　筋	ST 2xD13-@100	縦　筋	ST 2xD13-@100	縦　筋	ST 2xD13-@100
		横　筋	2x(2-D13)	横　筋	2x(2-D13)
		上縦筋	ST 2-D13	上縦筋	ST 2xD13-@100
		下縦筋	ST 2-D13	下縦筋	ST 2xD13-@100

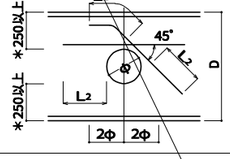






φ ＞ 250
孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

＊部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらなくて良い。



・梁幅が 400 を超える場合は、補強筋で D13 は D16 又は、2-D13 は3-D13 と各々読みかえる。

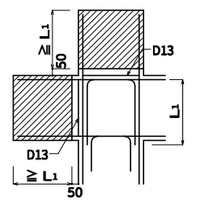
(3)既製品　（使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

● リング型　● パイプ型　● 金網型　● プレート型

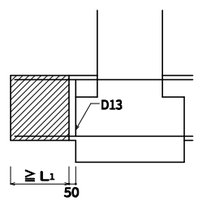
12.増築予定

（将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する。）

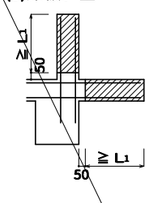
(1)柱、梁



(2)地中梁



(3)床板、壁



DRAWING
一級建築士事務　福島博信　一級建築士
第2783826号 北神建号 第1121号
矢 倉 晨 悟

■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	A1：no scale A3：no scale	2026.01	S－03
		倉橋･県建築設計共同企業体	長野県松本市野清水工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765 知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登		

梁貫通孔補強材　ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書　BCJ評定-RC0124-08，BCJ評定-SS0056-02

コーリョー建販株式会社

2025.11.14作成

１．一般事項

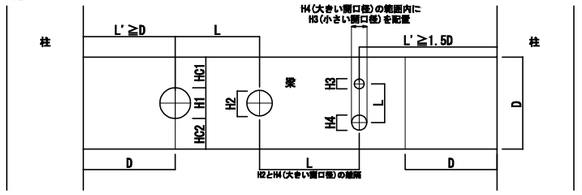
（１）本仕様書は、ダイヤレンＮＳの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
（２）本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、（一財）日本建築センター及び（一社）日本建築学会の関連する諸指針や諸規準、ダイヤレンＮＳ技術マニュアル、及びダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口の補強技術マニュアルによる。

２．使用材料・貫通孔の適用範囲

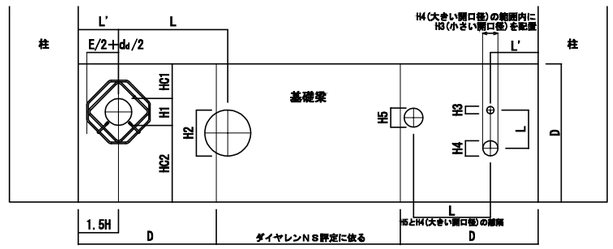
（１）各評定の適用範囲

	ダイヤレンＮＳ	ダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口補強
評定番号	BCJ評定-RC0124-08	BCJ評定-SS0056-02
対象とする部材	鉄筋コンクリート造 及び鉄骨鉄筋コンクリート造の梁	有効な柱梁接合部に取り付く 非降伏の基礎梁及び地下階の梁※1
コンクリート	Fc=21N/mm²～100N/mm²	
鉄筋	主筋　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え685N/mm²以下の大臣認定品 あばら筋　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm²以下の大臣認定品 ダイヤレンＮＳ：KSS785-K（MSRB-0004）、MK785（MSRB-0067）	
梁せい（D）	－	D≧750mm
開口形状	円形または多角形とする（多角形の場合はその外接円を開口とみなす）	
開口径(外径)（H）	H≦750mm　かつ　H≦D/3	H<350mm　かつ　H≦D/5
上下に複数開口を設ける場合の合計径（ΣH）	ΣH≦D/3	ΣH≦D/3.75
柱際から開口中心までの距離（L'）	L'≧D 上下に複数開口を設ける場合はL'≧1.5D	L'<D　かつ　L'≧1.5H　かつ L'≧E/2+dd/2
隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離（L）	隣接する開口径の平均値の3倍以上 （隣接する開口が緩並び開口の場合、緩並び開口の一番大きい径との平均値の3倍以上とする）	
へりあき（HC1,HC2）	HC1,HC2≧製品サイズによる最小寸法（下式） (E-H)/2+dd/2+dy+tc E：ダイヤレンＮＳのE寸法 dd：ダイヤレンＮＳの鉄筋の呼び径 dy：あばら筋の呼び径 tc：コンクリートのかぶり厚さ(40mm以上)	HC1,HC2≧製品サイズによる最小寸法 かつ　HC1,HC2≧D/4※2 ※2 γ≧0.6 かつ pt≦1.0%を満足する場合、 ・D/4>400mmのとき、HC≧400mm ・H≦D/10かつH<150mmのとき、HC≧250mm γ：複筋比　pt：引張鉄筋比

【RC0124-08】



【SS0056-02】

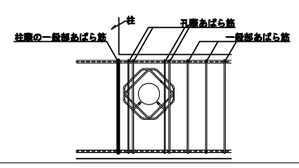


※1 ダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口補強［BCJ評定-SS0056-02］の対象とする部材
①及び②に適合する基礎梁を対象とする。なお、本評定[BCJ評定-SS0056-02]は基礎梁を対象としているが、構造計算上地下部分として扱う地下階の鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の梁に適用することができる。
①非降伏の鉄筋コンクリート造の基礎梁
非降伏の基礎梁とは、大地震時に設計上曲げ降伏せず、かつ、せん断破壊しない基礎梁をいう。
②有効な柱梁接合部に取り付く基礎梁
- 鉄筋コンクリート造の柱梁接合部に取り付く基礎梁を対象とする。壁式鉄筋コンクリート造の場合は、壁柱と基礎梁の接合部を鉄筋コンクリート造の柱梁接合部とみなす。
- 鉄骨造建築物の基礎梁は、告示※3に従って設計された柱脚（露出形式・根巻き形式・埋込み形式）または評定等を取得した柱脚工法の基礎柱型※4に取り付くものを対象とする。
- 木造建築物の基礎梁は、鉄筋コンクリート造の柱梁接合部または基礎柱型※4に取り付くものを対象とし、小規模木造の基礎梁(木造住宅等の布基礎及びべた基礎等の基礎梁)は対象外とする。

※3 平成12年建設省告示第1456号
※4 基礎柱型の配筋は、評定等を取得した工法を用いる場合はその規定に従うとともに、主筋及び帯筋が配筋されたものとする。

３．仕様規定

（１）ダイヤレンＮＳの使用枚数は、開口１箇所当たり２枚以上とする。
（２）柱際には、孔際あばら筋の他、少なくとも１組の一般部あばら筋（第一あばら筋）を配筋する。［SS0056-02］

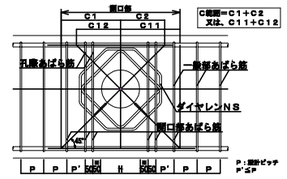


４．開口部あばら筋の配筋要領

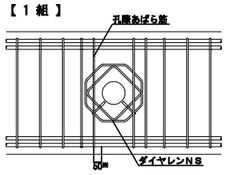
（１）開口部に配筋されるあばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。
（２）孔際あばら筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とする。［SS0056-02］
（３）孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】

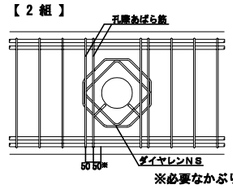
開口径	一般部あばら筋比（pw）	
	1%未満	1%以上
H<150	1組	2組
150≦H<300	2組	3組
300≦H	3組	3組



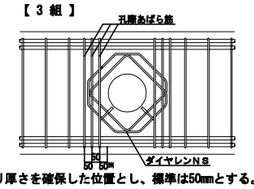
【１組】



【２組】



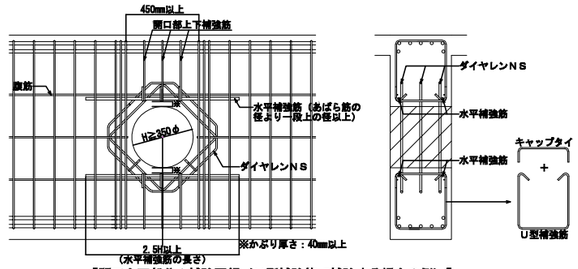
【３組】



※必要なかぶり厚さを確保した位置とし、標準は50mmとする。

５．開口部上下補強要領（350φ以上の場合）

（１）開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上（開口径で350mm以上）になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。
ただし、水平力による応力を負担しない梁（小梁等）の場合は梁せいの1/2は考慮しなくともよい。
（２）開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。
（丸鋼及びインデントは不可）
（３）形状にはコ型・Ｕ型・Ⅱ型等があり、コ型補強筋の梁主筋側の重ね長さは「梁幅−2×かぶり厚さ」または35d以上とし、水平補強筋側（梁内側）の重ね長さは12d以上とする。ただし、梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側重ね長さが25d（ddは鉄筋の呼び径）以下の場合は、Ｕ型またはⅡ型の形状で補強を行う。
（４）水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし（SD295A程度）、開口径の2.5倍以上の長さとする。



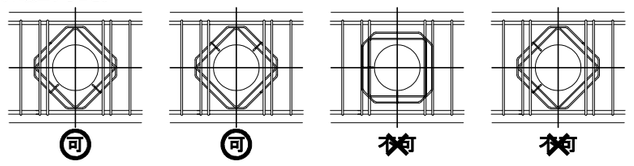
【開口上下部分の補強要領（Ｕ型補強筋で補強する場合の例）】

６．施工要領例

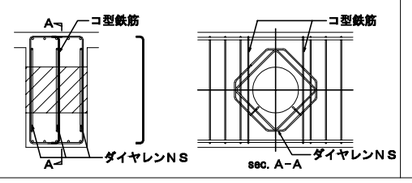
（１）型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。
（２）補強設計上必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。
（３）孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、束ね配筋にすることができる。
（束ね配筋は、2組までは束ねることができるが、3組以上は束ねてはならない。）
（４）ダイヤレンＮＳを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。
（５）スリーブをダイヤレンＮＳのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。
（６）開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

７．施工における注意事項

（１）ダイヤレンＮＳはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」の向きになるように施工すること。



（２）補強設計によって中子筋が無い梁に対して3枚以上のダイヤレンＮＳが必要になった場合は、右図のようにコ型鉄筋等を開口の左右にそれぞれ1本以上配筋し、この鉄筋にダイヤレンＮＳを結束して固定する。



８．ダイヤレンＮＳ標準製品寸法表

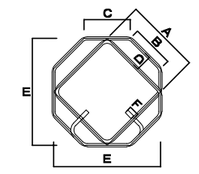
（特記外単位：mm）

スリーブ径（対応径）	型	サイズ	寸法 A	B	C	D	E	F	形状	重量（kgf/枚）	Ho
100φ (H≦115)	Ⅰ	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	Ⅱ	8	205	115	127	45	289	45	①	0.85	205
	Ⅲ	10	205	95	155	55	289	45	②	1.14	206
	Ⅳ	13	210	80	183	65	296	48	②	2.01	211
	Ⅴ	16	230	100	183	65	325	55	③	3.46	227
	Ⅴ-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑤	6.14	292
125φ (H≦141)	Ⅰ	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	Ⅱ	8	230	140	127	45	325	45	①	0.94	223
	Ⅲ	10	235	125	155	55	332	48	②	1.27	227
	Ⅳ	13	240	110	183	65	339	50	②	2.26	232
	Ⅴ	16	240	110	183	65	339	50	③	3.57	234
	Ⅴ-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑤	6.31	299
150φ (H≦166)	Ⅰ	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	Ⅱ	8	255	165	127	45	360	45	①	1.03	240
	Ⅲ	10	260	150	155	55	367	47	②	1.38	245
	Ⅳ	13	260	130	183	65	367	47	②	2.41	246
	Ⅴ	16	265	135	183	65	374	50	③	3.88	251
	Ⅴ-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑤	6.78	316
175φ (H≦191)	Ⅰ	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	Ⅱ	8	280	190	127	45	395	45	①	1.12	258
	Ⅲ	10	285	175	155	55	403	47	②	1.50	263
	Ⅳ	13	285	155	183	65	403	47	②	2.61	264
	Ⅴ	16	290	160	183	65	410	50	③	4.19	269
	Ⅴ-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑤	7.25	334
200φ (H≦216)	Ⅰ	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	Ⅱ	8	305	215	127	45	431	45	①	1.20	276
	Ⅲ	10	310	200	155	55	438	47	②	1.61	280
	Ⅳ	13	310	180	183	65	438	47	②	2.81	282
	Ⅴ	16	320	190	183	65	452	50	③	4.57	290
	Ⅴ-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑤	7.82	355
250φ (H≦270)	Ⅰ	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	Ⅱ	8	360	270	127	45	509	45	①	1.40	315
	Ⅲ	10	360	250	155	55	509	45	②	1.83	316
	Ⅳ	13	370	240	183	65	523	50	②	3.29	324
	Ⅴ	16	370	210	226	80	523	50	②	5.31	326
	Ⅴ-3R	16	370	276	292	80	683	50	④	9.11	406
300φ (H≦320)	Ⅰ	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	Ⅱ	8	410	320	127	45	579	45	①	1.57	350
	Ⅲ	10	410	300	155	55	579	45	②	2.05	351
	Ⅳ	13	420	290	183	65	593	50	②	3.69	359
	Ⅴ	16	420	260	226	80	593	50	②	5.93	361
	Ⅴ-3R	16	420	326	292	80	753	50	④	10.04	441
350φ (H≦370)	Ⅰ	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	Ⅱ	8	460	370	127	45	650	45	①	1.75	385
	Ⅲ	10	460	350	155	55	650	45	②	2.28	386
	Ⅳ	13	470	340	183	65	664	50	②	4.09	395
	Ⅴ	16	470	310	226	80	664	50	②	6.55	396
	Ⅴ-3R	16	470	376	292	80	824	50	④	10.98	476
400φ (H≦420)	Ⅰ	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	Ⅱ	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	Ⅲ	13	520	390	183	65	735	50	②	4.48	430
	Ⅳ	16	530	370	226	80	749	55	②	7.31	439
	Ⅳ-3R	16	530	436	292	80	909	55	④	12.11	519
450φ (H≦470)	Ⅰ	8	560	470	127	45	791	45	①	2.10	456
	Ⅱ	10	560	450	155	55	791	45	②	2.73	457
	Ⅲ	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	Ⅳ	16	580	420	226	80	820	55	②	7.94	474
	Ⅳ-3R	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
500φ (H≦520)	Ⅱ	10	610	500	155	55	862	45	②	2.95	492
	Ⅲ	13	620	490	183	65	876	50	②	5.28	501
	Ⅳ	16	630	470	226	80	890	55	②	8.56	509
	Ⅳ-3R	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
550φ (H≦570)	Ⅱ	10	660	550	155	55	933	45	②	3.17	528
	Ⅲ	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	Ⅳ	16	680	520	226	80	961	55	②	9.18	545
	Ⅳ-3R	16	680	586	292	80	1121	55	④	14.92	625
600φ (H≦630)	Ⅱ	10	720	610	155	55	1018	45	②	3.44	570
	Ⅲ	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
	Ⅳ	16	750	590	226	80	1060	60	②	10.07	594
	Ⅳ-3R	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
650φ (H≦680)	Ⅱ	10	770	660	155	55	1088	45	②	3.67	605
	Ⅲ	13	780	650	183	65	1103	50	②	6.55	614
	Ⅳ	16	800	640	226	80	1131	60	②	10.69	630
	Ⅳ-3R	16	800	706	292	80	1291	60	④	17.17	710
700φ (H≦730)	Ⅱ	10	820	710	155	55	1159	45	②	3.89	641
	Ⅲ	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
	Ⅳ	16	850	690	226	80	1202	60	②	11.32	665
	Ⅳ-3R	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
750φ (H≦750)	Ⅱ	10	870	760	155	55	1230	45	②	4.11	676
	Ⅲ	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	Ⅳ	16	900	740	226	80	1272	60	②	11.94	700
	Ⅳ-3R	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780

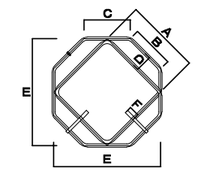
※対応径は、スリーブ面とダイヤレンＮＳ内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径
※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合の梁上下端から開口芯までの距離
※寸法は、鉄筋の芯ー芯間とする

【ダイヤレンＮＳ　標準形状】

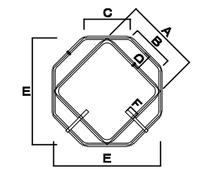
①一筆型（2重リング）



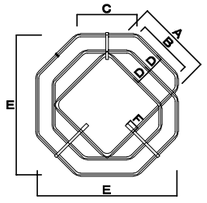
②1箇所溶接型（2重リング）



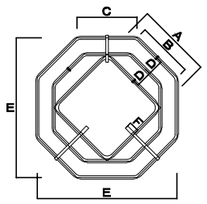
③2箇所溶接型（2重リング）



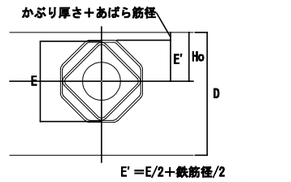
④1箇所溶接型（3重リング）



⑤3箇所溶接型（3重リング）



【へりあきの最小寸法】
ダイヤレンＮＳを使用した場合の梁上下端から開口芯までの距離（Ho）を左表に示す。
（かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値）



E'＝E/2+鉄筋径/2
Ho＝かぶり厚さ＋あばら筋径＋E'

【型式の表記について】
V-3R　⇒　V（型式）-3R（リング形状※）
※リング形状は「2R（2重リング）」と「3R（3重リング）」（上記の形状①～⑤）があり、3Rの表記以外は2Rとする。

DRAWING
一級建築士事務所　構造設計一級建築士
第273032号 矢作俊明 第8121号
矢 作 俊 明

■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書 倉橋・県建築設計共同企業体	A1：no scale A3：no scale	2026.01	S-04

長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

鉄骨構造標準図

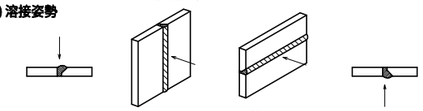
1.一般事項

(1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による。
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが 40mm 以下のものとする。
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。

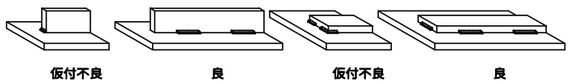
(2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し、工事監理者の承認を得る。
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする。

(3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。

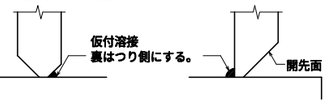
(4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
  溶接技能者は施工する溶接に適応する JIS Z3801（手溶接）、又は JIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
- (b) 溶接機器
  - (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A
  - (ロ) アークエアーガウジング機（直流）
  - (ハ) サブマージアーク溶接機１式
  - (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
  - (ホ) 溶接電流を測定する電流計
  - (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
  アーク手溶接（MC）　セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC）
  ガスシールドアーク半自動溶接（GC）　アークエアーガウジング（AAG）
- (d) 溶接姿勢



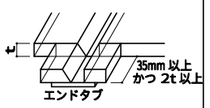
- (e) 仮付溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う。
  - (イ) 仮付位置
    仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。



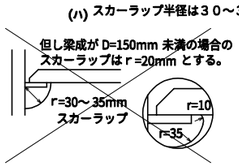
  - (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は、必ず裏はつり側に施工する。

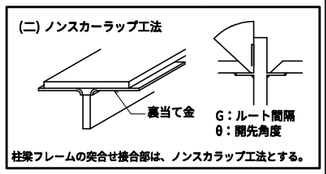


- (f) 溶接施工
  - (イ) エンドタブ
    - Ⅰ) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
    - Ⅱ) エンドタブの材質は、母材と同質とする。
    - Ⅲ) エンドタブの長さは、ＭＣ：３５㎜以上、ＮＧＣ、ＧＣ：４０㎜以上とし特記のない場合は、溶接終了後、エンドタブ母材より１０mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
    - Ⅳ) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る。



  - (ロ) 裏あて金
    材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で６mm、半自動溶接で９mm以上とする。
  - (ハ) スカーラップ半径は３０～３５mmと、10mmのダブルアールとする。





柱梁フレームの突合せ接合部は、ノンスカラップ工法とする。

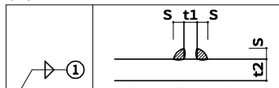
  - (ホ) 裏はつり
    規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける。
  - (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う。

(5) 塗　装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2.溶接規準図

（注）f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長
（単位：mm）

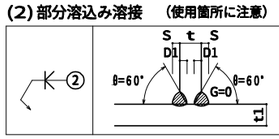
(1) 隅肉溶接



t ≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

- 但し、片面溶接の場合はS=tとする。
- t はt1、t2の小なる方とする。余盛は (1+0.1S)mm以下とする。
- 軸力が加わる場合のＳは母材と同厚とすることが望ましい。

(2) 部分溶込み溶接　（使用箇所に注意）

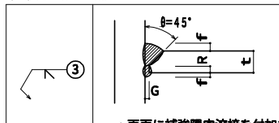


D1≧t/3　　t/4 ≦S ≦10mm
t ≦t1

t	t>16mm
溶接姿勢	F.V

- 両側に補強隅肉溶接を付加する。

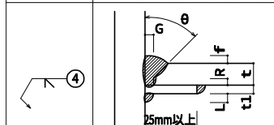
(3) 完全溶込み溶接　（平継手，T形継手）



f=t/4　　R≦ 2
G=0～2（裏はつり後裏溶接）

t	6 < t <19mm
溶接姿勢	F.V

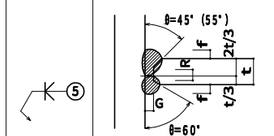
- 両面に補強隅肉溶接を付加する。　ＡＡＧ



f=t/4　　R≦ 2

	MC,NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 ≦t <12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦ t <16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦ t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

- 補強隅肉溶接を付加する。

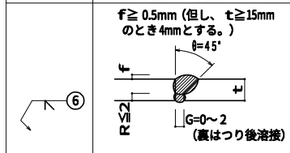


f=t/4　　R≦ 2　　G=0～2
T形突合せ継手余盛

のど厚t mm	余盛の高さmm
t ≦4	1
4 < t≦12	2
12< t≦19	3
19< t	4

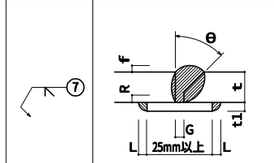
t	t≧ 19mm
溶接姿勢	F.V

- ＡＡＧ（ ）内はＧＣでＦ．Ｈの場合。
- 両面に補強隅肉溶接を付加する。



t	6< t <19mm
溶接姿勢	F.V

- 両面に補強すみ肉溶接を付加する。

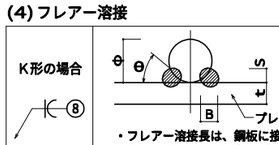


f=t/4　　R≦ 2

	MC,NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6 <t <12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦ t ≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19< t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレアー溶接

K形の場合

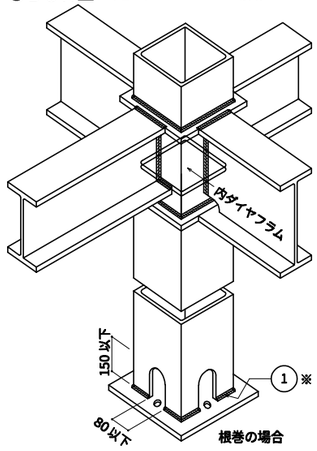


- フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする。
- 9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする。
- 溶接棒角度θは３０°～４０°とする。

寸法（mm）		
Φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

○溶接記号番号を◯中に記入のこと

●ＢＯＸ型　（通しダイヤフラムの場合）

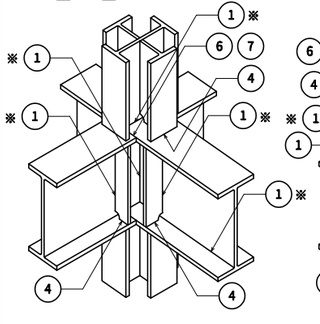


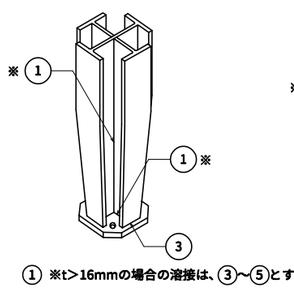
① ※t>16mmの場合の溶接は、③～⑤とする。

●鋼材種別による溶接条件

	溶接材料	入熱(KJ/cm)	パス温度(℃)
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15		
	YGW-18、19		
	YGA-50W、50P		
490N級鋼	JIS Z 3212、3214	40以下	350以下
	YGW-11、15	30以下	250以下
	YGW-18、19	40以下	350以下
	YGA-50W、50P		

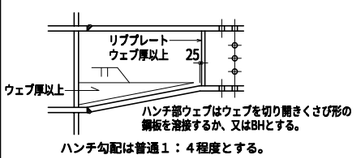
●Ⅱ、Ⅱ、Ⅱ型





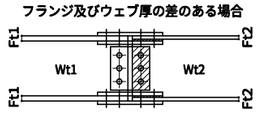
① ※t>16mmの場合の溶接は、③～⑤とする。

●ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通１：４程度とする。

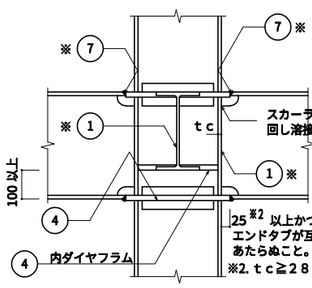
フランジ及びウェブ厚の差のある場合



Ft1 - Ft2
Wt1 - Wt2　≧１mm　フィラプレート併用のこと。

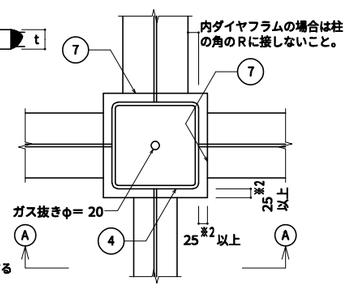
⑦ ※　梁フランジは、通しダイヤフラムの厚み(t)の内部で溶接すること。

Ⓐ － Ⓐ 断面図



① ※　t>16mmの場合の溶接は、③～⑤とする。

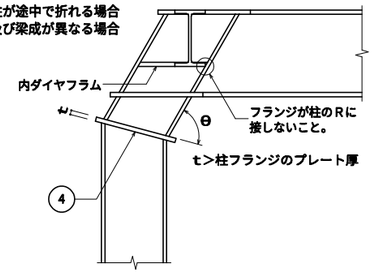
平面詳細図

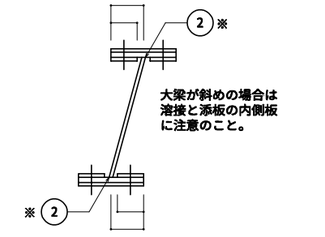


※２ t c （柱板厚）≧２８ は３０mmとする

＜柱材料：ＢＣＲ２９５、ＢＣＰ３２５を使用する場合＞
ダイヤフラムは、ＳＮ４９０Ｂ・Ｃ、ＳＭ４９０同等以上の鋼材を使用する事。
ダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の２サイズアップとする事。

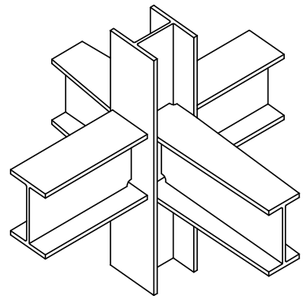
●柱が途中で折れる場合
及び梁成が異なる場合



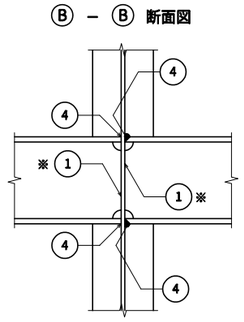


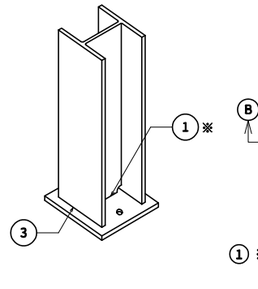
② ※t>16mmの場合の溶接は、③～⑤とする。

●Ｂ．Ｈ方式

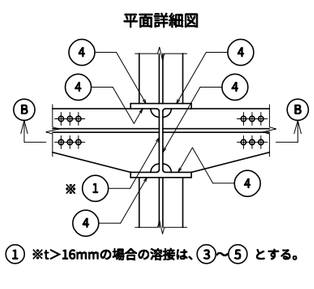


Ⓑ － Ⓑ 断面図





平面詳細図



① ※t>16mmの場合の溶接は、③～⑤ とする。

DRAWING
一級建築士事務　登録番号　一級建築士
第2730326 20H09 第1121号
矢 老 直 也

■備考	工事名	図面名称	SCALE / DATE	図面番号
	（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	鉄骨構造標準図	A1：no scale A3：no scale / 2026.01	S－05

倉橋･県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

ハイベースNEO工法設計施工標準（ハイベースNE□工法は、S造及びCFT造に適用）

2025/10

大臣認定　MSTL-0566（Gタイプ用ベースプレート）
MBLT-0042~0044,0046,0228~0230（アンカー用ボルトセット）
BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
BCJ評定-ST0059（エコタイプ、高強度柱適用タイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設　計

1。材質

（1）ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ（EB型式、EM型式、EH型式）高強度柱適用タイプ（KB型式）

	ベースプレート エコタイプ	ベースプレート 高強度柱適用タイプ	アンカーボルト※2	エコナット※2	ナット※2	座金※2	定着板
規格	JIS G3136※5 又はTMCP鋼※4	TMCP鋼※4	HAB（大臣認定取得材）	大臣認定取得材	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備考	板厚40mm以下の場合 SN490B 板厚40mm超の場合 TMCP325B,C	TMCP385B,C	降伏比 70%以下	-	強度区分5	SM490A	SS400

エコタイプ、高強度柱適用タイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Gタイプ（GB型式、GM型式、GH型式）

	ベースプレート※1	アンカーボルト※2	ナット※2	座金※2	定着板
規格	HCW490B（大臣認定取得材）	HAB（大臣認定取得材）	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	メートル並目※3	メートル並目※3	—	—
備考	SN490B同等	降伏比 70%以下	強度区分5（二重ナット時） 強度区分8（一重ナット時）	SM490A	SS400

※1 国土交通大臣認定（MSTL-0566）※2 国土交通大臣認定（MBLT-0042~0044,0046,0228~0230）
※3 M72は細目ねじ　※4 建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用　※5 電炉材を使用する場合があります

（2）ベースプレート下面のモルタル

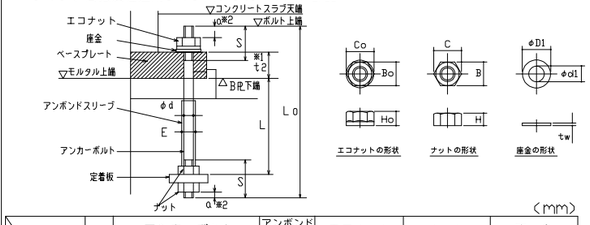
後詰めモルタル	ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※　※ センクシアが供給するものに限る
中心塗部分モルタル	○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル（NX-2000及びクイック3は使用不可。） ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

（3）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、Fc=18~36N/mm²
鉄筋	JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱形	へりあき量は、ベースプレート外形寸法の0。1倍以上確保しなければならない。

2。アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ、高強度柱適用タイプ用アンカーボルト部品



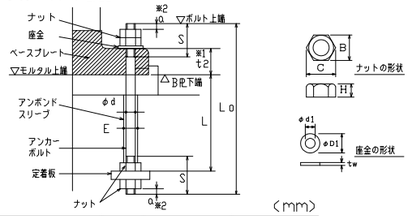
（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	全長	アンボンドスリーブ 外径	エコナット 高さ	エコナット 二面幅	エコナット 対角距離	ナット 高さ	ナット 二面幅	ナット 対角距離	座金 厚さ	座金 内径	座金 外径
	φd	P	S	a	L	L0	E	H0	B0	C0	H	B	C	tw	φd1	φD1
エコタイプ※3 M24	24	3	105 155	10	480 580	550 645	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
エコタイプ※3 M30	30	3.5	130 180	13	600 720	680 800	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
エコタイプ※3 M36	36	4	130 180	16	720 840	800 925	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
エコタイプ※3 M42	42	4.5	155 205	18	840 960	1080 1225	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78
高強度柱適用タイプ M42	42	4.5	165	18	840	1110	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78

※1 t2はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。
※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※3 表中のエコタイプ上段はEB、EM型式のアンカーボルト4本タイプ、エコタイプ下段はEB、EM型式のアンカーボルト8本、12本タイプ及びEHタイプの場合の寸法です。

⚠注意
・エコタイプ、高強度柱適用タイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでセンクシアにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

Gタイプ用アンカーボルト部品



（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	全長	アンボンドスリーブ 外径	ナット 高さ	ナット 二面幅	ナット 対角距離	座金 厚さ	座金 内径	座金 外径
	φd	P	S	a	L	L0	E	H	B	C	tw	φd1	φD1
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	130 155	16	720	840 925	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	155 180	18	840	1000 1085	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	180 205	22	960	1220 1270	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5.5	205 230	24	1120	1420 1470	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	230	28	1280	1610 1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※1
t2はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースNEO型式によって変わります。

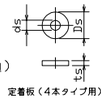
※2
a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低3山ナットの外に出るように余長を確保してください。

※3
上段はGB型式及びGM型式の場合、下段はGH型式の場合の寸法です。

⚠注意
・Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。（一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください。）

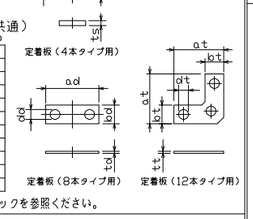
ベースプレートのアンカーボルト孔径（mm）

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ 高強度柱適用タイプ	38	44	50	57	-	-	-	-
Gタイプ孔径	-	38	45	53	61	70	79	87



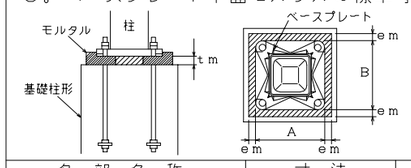
定着板（エコタイプ、高強度柱適用タイプ、Gタイプ共通）（mm）

ねじの呼び	4本タイプ用 厚さ ts	4本タイプ用 外径 Ds	4本タイプ用 内径 ds	8本タイプ用 厚さ td	8本タイプ用 長さ ad	8本タイプ用 幅 bd	8本タイプ用 内径 dd	12本タイプ用 厚さ tt	12本タイプ用 長さ at	12本タイプ用 幅 bt	12本タイプ用 内径 dt
M24	16	70	27	9	-	-	-	-	-	-	-
M30	16	90	33	9	180	65	33	-	-	-	-
M36	19	100	39	9	215	75	39	-	-	-	-
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	-	-	-	16	380	145	76	16	375	145	76



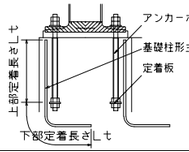
ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックを参照ください。

3。ベースプレート下面モルタルの標準寸法



各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ（tm）	標準寸法 tm=50mm	許容範囲 30≦tm≦70mm
ベースプレート周辺のモルタル幅（em）	em≧30mm	許容範囲 em≧25mm

4。基礎柱形主筋の定着長さ（最小値）



基礎柱形主筋の定着長さ（Lt）は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

1。溶接材料

被覆アーク溶接	JIS Z 3211（旧JIS Z 3212）に従い選定する（低水素系）
ガスシールドアーク溶接	JIS Z 3312 又は JIS Z 3313に従い選定する

※ベースプレートと柱のF値が異なる場合は、JASS6や各材質毎に定められた指針に従い溶接材料を選定する。

2。ベースプレートの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける）

※　柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
開先はMC-TL-1B、GC-TL-1Bによる　※開先形状は参考

エコタイプ・高強度柱適用タイプ

ベースプレート形状

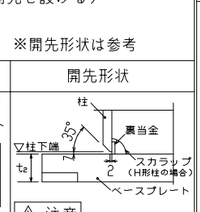
角形鋼管柱用（EB型式）
アンカーボルト 4本タイプ　アンカーボルト 8本タイプ　アンカーボルト 12本タイプ

円形鋼管柱用（EM型式）
アンカーボルト 4本タイプ　アンカーボルト 8本タイプ

高強度角形鋼管柱用（KB型式）
アンカーボルト 8本タイプ　アンカーボルト 12本タイプ

H形柱用（EH型式）

開先形状



⚠注意
柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に凹加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

Gタイプ

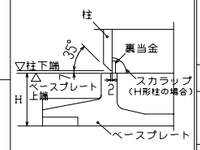
ベースプレート形状

角形鋼管柱用（GB型式）
アンカーボルト 4本タイプ　アンカーボルト 8本タイプ　アンカーボルト 12本タイプ

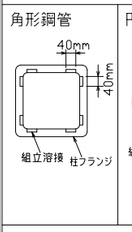
円形鋼管柱用（GM型式）

H形柱用（GH型式）

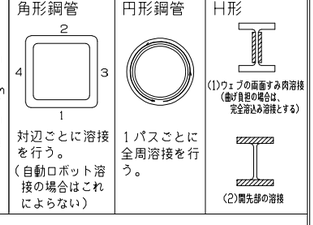
開先形状



3。組立溶接



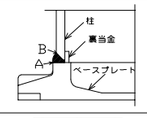
4。本溶接の手順

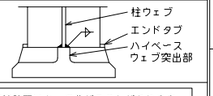


角形鋼管：対辺ごとに溶接を行う。（自動ロボット溶接の場合はこれによらない）
円形鋼管：1パスごとに全周溶接を行う。

5。溶接施工一般

予熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余盛	溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかになるように施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはT継手余盛り高さに準拠する（Gタイプ）。
H形柱の溶接	エンドタブの取付とH形柱ウェブのすみ肉溶接





⚠注意　柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱歪によって曲がることがあります。

6。検査

方法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（1）有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （2）溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から50mm以上、はつり取り再溶接する。

現場施工

（#）：センクシアの担当範囲

1。捨てコンクリート打設

柱脚部の捨てコンクリートの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

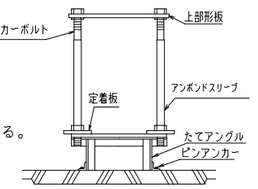
2。墨出し

3。アンカーボルト搬入（#）

4。アンカーボルト据付（#）

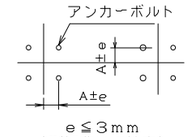
アンカーボルト設置

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。



アンカーボルト設置例
（架台の形状は異なる場合あり）

アンカーボルト設置精度の目標値

平面	レベル
	基準高さよりの誤差eh −3mm≦eh≦10mm

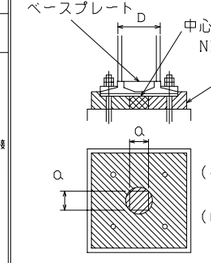
e≦3mm
（形板芯にて検査）

5。鉄筋配筋・型枠の立込み

6。基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

7。中心塗り部分モルタル施工



中心塗部分モルタル
NX-2000、クイック3は使用不可。

後詰めモルタル
ハイベース工法無収縮モルタルNX-2000、又はクイック3およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※
注入方法はヘッド圧工法による。
※ センクシアが供給するものに限る
（イ）□250以下、φ267。4以下、H250以下の場合
100mm≦a≦200mm　かつ柱寸法 D以下
（ロ）□300以上□700以下、φ300以上φ711。2以下、および H250以上の場合
150mm≦a≦300mm　かつ柱寸法 D以下
（ハ）□750~□1200、φ750~φ1016の場合
300mm≦a≦500mm

中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

EB,GB,EM,GM,EH,KB型式	GH型式
8。鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	8。鉄骨建方
	9。モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#）
9~10。モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#） アンカーボルト締付確認（#） ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	10。アンカーボルト締付（#） 予備締め マーキング ナット回転法による本締め （30°回転、許容差：+10°−0°）

11。モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースNEO工法のチェックシートに工事記録を記載する。

センクシア株式会社
URL https://www.senqcia.co.jp/
本社 TEL 03-4214-1932
札幌 TEL 011-708-1177
東北 TEL 022-213-5595
関東 TEL 027-322-9411
中部 TEL 052-582-3356
北陸 TEL 076-233-5260
関西 TEL 06-6395-2133
中四国 TEL 082-240-1630
九州 TEL 092-452-0341

⚠注意
1。アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、センクシアが定めた認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務付けられています。）
2。アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
3。設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
4。建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
5。本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNE□の性能が発揮できなくなります。

■備考

工事名：（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称：ハイベースNEO工法設計施工標準

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

SCALE　A1：no scale　A3：no scale
DATE　2026.01
図面番号　S-06

ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例 (Fc24の場合)
〈角形鋼管柱用 □150～□550〉

（ハイベースNE□工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用）
（ハイベースNE□工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用）

大臣認定　MSTL-0566(Gタイプ用ベースプレート)
MBLT-0042～0044,0046,0228～0230(アンカーボルト)

BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
BCJ評定-ST0059（エコタイプ）

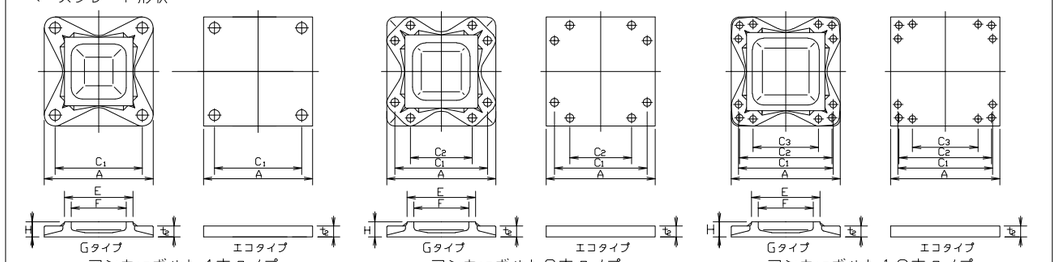
本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ6鉄骨工事、建築工事標準仕様書・同解説ＪＡＳＳ5鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNE□工法設計ハンドブックに準拠する。

2025/10

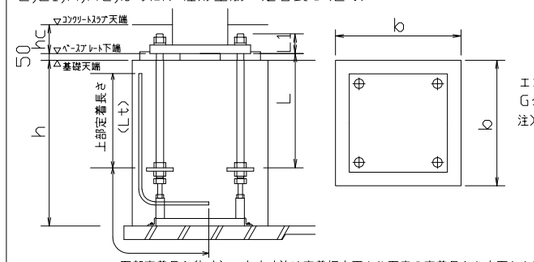
型式表示例

エコタイプ：EB350-8-36
Gタイプ　：GB500-8-42
（-42：アンカーボルト径、-36：アンカーボルト本数、350：柱外形寸法、500：角形鋼管柱用）

ベースプレート形状



L,L1,h,hc,b寸法、柱形主筋の定着長さ(Lt)



エコタイプはシングルナット仕様（コンクリートスラブに埋込）
Gタイプはダブルナット仕様(露出が標準)
注)表中のh寸法は杭がない場合です。
杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(hc寸法)は"L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

Lt寸法は定着板上面より下表の定着長さを上下とも確保してください。

◦ハイベースNE□工法
（角形鋼管柱用□150～□550）

採用		適用柱		ハイベースNE□型式		アンカーボルト	回転バネ定数 X10⁶kN・m/rad	寸法（mm）								質量（kg）			L (mm)	L1 (mm)	基礎天端～主筋コン天端	ベースプレート下端～スリーブ内コンクリート天端	基礎柱形の設計例(Fc24)　〈 側・隅柱用 〉						鉄筋の定着長さ	基礎柱形の設計例(Fc24)　〈 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。）〉						鉄筋の定着長さ
																							Ⅰゾーン			Ⅱゾーン				Ⅰゾーン			Ⅱゾーン			
柱符号	数量	柱サイズ	板厚範囲	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t_2	ベースプレート	部品	セット質量			h(mm)	hc(mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt(mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt(mm)
		□150	4.5~12	EB150-4-24		4-M24	14.0	290	210	－	－	－	－	－	25	17	14	31	400	80	550以上	120	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	200	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	200
		□175	4.5~12	EB175-4-24		4-M24	17.9	310	230	－	－	－	－	－	25	19	14	33	400	80	600以上	120	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	190	520	8-D16	D13@150	520	16-D16	D13@150	190
		□200	6~12	EB200-4 -24		4-M24	21.9	340	260	－	－	－	－	－	25	23	14	37	400	80	600以上	120	550	8-D16	D13@150	550	16-D16	D13@150	190	550	8-D16	D13@150	550	16-D16	D13@150	190
				EB200-4 -30		4-M30	35.4	360	270	－	－	－	－	－	32	33	23	56	400	102	600以上	150	570	8-D19	D13@150	570	16-D19	D13@150	290	570	8-D19	D13@150	570	16-D19	D13@150	290
				EB200-4 -36		4-M36	41.4	360	270						40	41	36	77	480	117	700以上	160	580	12-D19	D13@150	580	20-D19	D13@100	330	580	12-D19	D13@150	580	20-D19	D13@100	330
		□250	6~16	EB250-4 -24		4-M24	32.2	390	310	－	－	－	－	－	25	30	15	45	400	80	600以上	120	600	8-D19	D13@150	600	12-D19	D13@150	190	600	8-D19	D13@150	600	12-D19	D13@150	190
				EB250-4 -30		4-M30	51.3	410	320	－	－	－	－	－	32	43	23	66	400	102	600以上	150	610	8-D19	D13@150	610	16-D19	D13@150	280	610	8-D19	D13@150	610	16-D19	D13@150	280
				EB250-4 -36		4-M36	59.7	410	320						40	53	36	89	480	117	700以上	160	610	12-D19	D13@150	610	20-D19	D13@100	330	610	12-D19	D13@150	610	20-D19	D13@100	330
				EB250-8-30		8-M30	51.1	450	360	190					40	64	51	115	600	110	800以上	150	640	12-D22	D13@150	640	20-D22	D13@100	430	640	12-D22	D13@150	640	20-D22	D13@100	430
		□300	6~22	EB300-4 -30		4-M30	70.1	460	370	－					32	54	24	78	400	102	600以上	150	660	8-D19	D13@150	660	16-D19	D13@150	270	660	8-D19	D13@150	660	16-D19	D13@150	270
				EB300-4 -36		4-M36	82.9	460	370						40	67	37	104	480	117	700以上	160	660	12-D19	D13@100	660	20-D19	D13@100	330	660	12-D19	D13@100	660	20-D19	D13@100	330
				EB300-8 -30		8-M30	69.4	500	410	240					36	71	51	122	600	106	800以上	150	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@100	410	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@100	410
				EB300-8 -36		8-M36	84.0	510	420	220					44	90	82	172	720	121	900以上	170	720	16-D25	D13@150	720	24-D25	D13@100	570	720	16-D25	D13@150	720	24-D25	D13@100	570
		□350	9~22	EB350-4-30		4-M30	93.1	510	420	－					32	66	24	90	400	102	600以上	150	710	8-D19	D13@100	710	16-D19	D13@100	240	710	8-D19	D13@100	710	16-D19	D13@100	240
				EB350-8 -30		8-M30	89.5	550	460	290	－	－	－	－	36	86	52	138	600	106	800以上	150	750	16-D22	D13@150	750	20-D22	D13@150	460	750	16-D22	D13@150	750	20-D22	D13@150	460
				EB350-8 -36		8-M36	105	560	470	270					40	99	83	182	720	117	900以上	160	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	540	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	540
				EB350-8 -42		8-M42	133	590	480	260					48	132	131	263	840	138	1100以上	180	790	20-D25	D13@150	790	32-D25	D13@100	710	790	20-D25	D13@150	790	32-D25	D13@100	710
			9~25		GB350-4 -42	4-M42	128	550	440	－				75	50	107	72	179	840	145	1100以上	－	750	12-D25	D13@150	750	16-D25	D13@150	480	750	12-D25	D13@150	750	16-D25	D13@150	480
					GB350-4 -48	4-M48	156	590	460					90	61	142	113	255	960	168	1200以上	－	790	12-D25	D13@150	790	20-D25	D13@150	580	790	12-D25	D13@150	790	20-D25	D13@150	580
					GB350-8 -30	8-M30	150	540	450	280	－	356	280	55	28	77	52	129	600	95	800以上	－	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470
					GB350-8 -36	8-M36	188	560	470	270				65	36	95	83	178	720	116	900以上	－	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	560	770	16-D25	D13@150	770	24-D25	D13@100	560
					GB350-8 -42	8-M42	216	590	480	260				70	45	118	131	249	840	140	1100以上	－	790	20-D25	D13@100	800	32-D25	D16@100	610	790	20-D25	D13@100	800	32-D25	D16@100	610
		□400	9~25	EB400-8 -30		8-M30	111	600	510	340				36	102	52	154	600	106	800以上	150	800	16-D22	D13@150	800	20-D22	D13@150	450	800	12-D22	D13@150	800	20-D22	D13@150	450
				EB400-8 -36		8-M36	127	610	520	320	－	－	－	40	117	83	200	720	117	900以上	160	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	530	820	12-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	530
				EB400-8 -42		8-M42	175	640	530	310				48	155	131	286	840	138	1100以上	180	840	20-D25	D13@100	900 ~~840~~	32-D25	D13@100	680	840	20-D25	D13@100	900 ~~840~~	32-D25	D13@100	680
			9~32		GB400-4 -42	4-M42	163	600	490	－				75	49	129	73	202	840	144	1100以上	－	810	12-D25	D13@100	810	16-D25	D13@100	400	810	12-D25	D13@100	810	16-D25	D13@100	400
					GB400-4 -48	4-M48	194	640	510					85	59	165	114	279	960	166	1200以上	－	840	12-D25	D13@100	840	20-D25	D13@100	500	840	12-D25	D13@100	840	20-D25	D13@100	500
					GB400-8 -36	8-M36	234	610	520	320	－	408	320	60	34	110	83	193	720	114	900以上	－	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	540	820	16-D25	D13@100	820	24-D25	D13@100	540
C1,C2,C3					GB400-8 -42	8-M42	282	640	530	310				70	42	136	131	267	840	137	1100以上	－	840	20-D25	D13@100	850	32-D25	D16@100	600	840	20-D25	D13@100	850	32-D25	D16@100	600
					GB400-8 -48	8-M48	321	680	550	300				80	52	176	211	387	960	159	1300以上	－	880	20-D29	D13@100	890	28-D29	D16@100	790	880	20-D29	D13@100	890	28-D29	D16@100	790
			9~25	EB450-8 -36		8-M36	169	660	570	370	－	－	－	44	150	84	234	720	121	900以上	170	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520
				EB450-8 -42		8-M42	199	690	580	360				48	180	132	312	840	138	1100以上	180	890	24-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	670	890	20-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	670
		□450	9~36		GB450-4 -42	4-M42	199	650	540	－				75	48	153	73	226	840	143	1100以上	－	860	12-D25	D13@100	860	16-D25	D13@100	390	860	12-D25	D13@100	860	16-D25	D13@100	390
					GB450-4 -48	4-M48	236	690	560					85	58	192	116	308	960	165	1200以上	－	890	12-D25	D13@100	890	20-D25	D13@100	480	890	12-D25	D13@100	890	20-D25	D13@100	480
					GB450-8 -36	8-M36	296	660	570	370	－	458	360	60	32	130	84	214	720	112	900以上	－	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520	870	16-D25	D13@100	870	24-D25	D13@100	520
					GB450-8 -42	8-M42	348	690	580	360				65	40	158	132	290	840	135	1100以上	－	890	24-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	680	890	20-D25	D13@100	890	32-D25	D13@100	680
					GB450-8 -48	8-M48	413	730	600	350				75	49	196	213	409	960	156	1300以上	－	930	20-D29	D13@100	940	28-D29	D16@100	770	930	20-D29	D13@100	940	28-D29	D16@100	770
		□500	9~28	EB500-8 -36		8-M36	210	710	620	420	－	－	－	44	173	89	262	720	121	900以上	170	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510	950	12-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510
				EB500-8 -42		8-M42	238	740	630	410				48	207	133	340	840	138	1100以上	180	950	24-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660
				EB500-12-42		12-M42	396	740	630	600	350			60	258	197	455	840	150	1100以上	190	950	28-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600	950	20-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600
			9~40		GB500-4 -42	4-M42	244	700	590	－				80	47	183	74	257	840	142	1100以上	－	910	12-D25	D13@100	910	16-D25	D13@100	390	910	12-D25	D13@100	910	16-D25	D13@100	390
					GB500-4 -48	4-M48	290	740	610					90	57	226	127	353	960	164	1200以上	－	950	12-D25	D13@100	950	20-D25	D13@100	470	950	12-D25	D13@100	950	20-D25	D13@100	470
					GB500-8 -36	8-M36	354	710	620	420	－	508	400	65	30	154	89	243	720	110	900以上	－	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510	950	16-D25	D13@100	950	24-D25	D13@100	510
					GB500-8 -42	8-M42	421	740	630	410				70	37	181	133	314	840	132	1100以上	－	950	20-D25	D13@100	1000 ~~950~~	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	1000 ~~950~~	32-D25	D13@100	660
					GB500-8 -48	8-M48	489	780	650	400				80	46	225	215	440	960	153	1300以上	－	1000	20-D29	D13@100	1000	28-D29	D16@100	740	1000	20-D29	D13@100	1000	28-D29	D16@100	740
					GB500-8 -64	8-M64	659	850	690	390				105	68	346	464	810	1280	210	1600以上	－	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100
					GB500-12 -48	12-M48	695	780	650	610	320			90	57	265	304	569	960	164	1300以上	－	1000	24-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760	1000	16-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760
					GB500-12 -56	12-M56	771	810	670	630	300			105	72	342	455	797	1120	195	1450以上	－	1050	32-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980	1050	24-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980
		□550	9~28	EB550-8-42		8-M42	317	800	690	470	－	－	－	48	242	133	375	840	138	1100以上	180	1000	24-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650	1000	20-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650
				EB550-12-42		12-M42	475	790	680	650	400			60	294	198	492	840	150	1100以上	190	1000	28-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600	1000	20-D25	4-D16@100	1050	44-D25	4-D16@100	600
			9~40		GB550-4 -48	4-M48	339	790	660	－				90	56	257	129	386	960	163	1200以上	－	1000	12-D25	D16@150	1000	20-D25	D16@150	460	1000	12-D25	D16@150	1000	20-D25	D16@150	460
					GB550-4 -56	4-M56	408	820	680					100	69	308	187	495	1120	192	1350以上	－	1050	16-D25	D16@150	1050	28-D25	D16@150	580	1050	16-D25	D16@150	1050	28-D25	D16@150	580
					GB550-8 -36	8-M36	419	760	670	470	－	558	450	65	29	180	90	270	720	109	900以上	－	1000	16-D25	D13@100	1000	24-D25	D13@100	500	1000	16-D25	D13@100	1000	24-D25	D13@100	500
					GB550-8 -42	8-M42	498	790	680	460				70	36	207	133	340	840	131	1100以上	－	1000	24-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650	1000	20-D25	D13@100	1000	32-D25	D13@100	650
					GB550-8 -48	8-M48	580	830	700	450				75	45	250	217	467	960	152	1300以上	－	1050	20-D29	D16@150	1050	28-D29	D16@150	820	1050	20-D29	D16@150	1050	28-D29	D16@150	820
					GB550-8 -64	8-M64	806	900	740	440				95	65	367	467	834	1280	207	1600以上	－	1150	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100	1150	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@75	1100
					GB550-12 -48	12-M48	817	830	700	660	370			85	55	288	306	594	960	162	1300以上	－	1050	24-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760	1050	20-D29	4-D16@100	1100	40-D29	4-D16@100	760
					GB550-12 -56	12-M56	923	860	720	680	350			100	69	366	458	824	1120	192	1450以上	－	1100	32-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980	1100	24-D29	4-D16@100	1500	56-D29	4-D16@100	980

鉄筋はD13,D16はSD295,D19,D22,D25はSD345,D29はSD390をご採用ください。 表中に無いサイズについても対応可能です。センクシアに問い合わせ下さい。

注 1）Ⅰ、Ⅱゾーン分けについてはハイベースNE□工法設計ハンドブックの各型式の耐力線図を参照下さい。
注 2）上記表内の〈中柱用〉とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、〈側・隅柱用〉を御採用下さい。
注 3）表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合（基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNE□工法設計ハンドブックに従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。
注 4）〈中柱用〉の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋を□450以下はD10@250、□500以上はD13@250として算定しています。あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合は〈側・隅柱用〉の鉄筋量として下さい。
注 5）部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量です。

センクシア株式会社
本社　TEL 03-4214-1932　関東　TEL 027-322-9411　URL https://www.senqcia.co.jp/
札幌　TEL 011-708-1177　中部　TEL 052-582-3356　関西　TEL 06-6395-2133
東北　TEL 022-213-5595　北陸　TEL 076-233-5260　中四国TEL 082-240-1630
九州　TEL 092-452-0341

DRAWING
一級建築士事務　登録番号　第272032号 20HDS 第1121号 矢 倉 真 弘

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称
ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例（角形鋼管柱用）

SCALE A1：no scale A3：no scale

DATE 2026.01

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

図面番号 S-07

ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例 (Fc24の場合)
〈円形鋼管柱用 φ190.7～φ1016〉

（ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用）
（ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用）

大臣認定　MSTL-0566(Gタイプ用ベースプレート)
MBLT-0042～0044,0046,0228～0230(アンカーボルト)

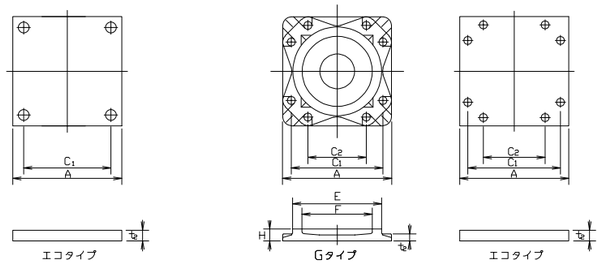
BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）　本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ６鉄骨工事、建築工事標準仕様書・
BCJ評定-ST0059（エコタイプ）　同解説ＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

2025/10

型式表示例

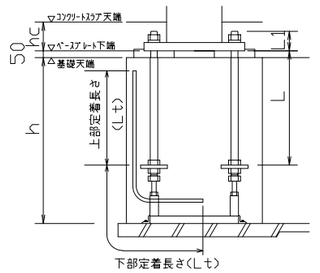
エコタイプ：EM350-8-36
Gタイプ　：GM500-8-48
- 48：アンカーボルト径
- 8：アンカーボルト本数
- 500：柱外径寸法
- GM：円形鋼管柱用

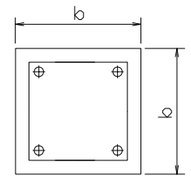
ベースプレート形状



アンカーボルト４本タイプ　アンカーボルト８本タイプ

L,L1,h,hc,b寸法、柱形主筋の定着長さ(Lt)





エコタイプはシングルナット仕様（コンクリートスラブに埋込）
Gタイプはダブルナット仕様(露出が標準)
注)表中のh寸法は杭がない場合です。
　杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
　Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(hc寸法)は
　"L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

Lt寸法は定着板上面より下表の定着長さを上下とも確保してください。

・ハイベースNEO工法（円形鋼管柱用φ190.7～φ1016）

採用		適用柱		ハイベースNEO型式		アンカーボルト	回転バネ定数 X10⁶kN・m/rad	寸法（mm）							質量（kg）			L (mm)	L1 (mm)	基礎天端～首下コンクリート天端	ベースプレート下端～スラブコンクリート天端	基礎柱形の設計例(Fc24)　〈 側・隅柱用 〉							基礎柱形の設計例(Fc24)　〈 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。）〉						
																						Ⅰゾーン			Ⅱゾーン			鉄筋の定着長さ	Ⅰゾーン			Ⅱゾーン			鉄筋の定着長さ
柱符号	数量	柱サイズ	最大板厚	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	E	F	H	t_2	ベースプレート	部品	セット質量			h(mm)	hc(mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt(mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt(mm)
		φ190.7	8.2	EM190-4-24		4-M24	13.8	290	210	-	-	-	-	32	22	14	36	400	87	600以上	130	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	210	500	8-D16	D13@150	500	16-D16	D13@150	210
C21		**φ216.3**	**12.7**	**EM216-4-24**		**4-M24**	**19.9**	**310**	**230**	**-**	**-**	**-**	**-**	**32**	**25**	**14**	**39**	**400**	**87**	**600以上**	**130**	**550** ~~520~~	**8-D16**	**D13@150**	520	16-D16	D13@150	**200**	**550** ~~520~~	**8-D16**	**D13@150**	520	16-D16	D13@150	**200**
		φ267.4	16	EM250-4-24		4-M24	28.4	370	290	-	-	-	-	32	35	14	49	400	87	600以上	130	570	8-D16	D13@150	570	16-D16	D13@150	190	570	8-D16	D13@150	570	16-D16	D13@150	190
		φ300 φ318.5	16	EM300-4 -24		4-M24	38.3	420	340					32	45	15	60	400	87	600以上	130	620	8-D19	D13@150	620	12-D19	D13@150	190	620	8-D19	D13@150	620	12-D19	D13@150	190
				-30		4-M30	61.0	430	340	-	-	-	-	40	59	23	82	400	110	600以上	150	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280
		φ350 φ355.6	19	EM350-4-30		4-M30	65.1	420	330	-				32	45	23	68	400	102	600以上	150	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280	620	12-D19	D13@150	620	16-D19	D13@150	280
				EM350-8-30		8-M30	86.3	500	410	240	-	-	-	40	79	50	129	600	110	800以上	150	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@150	490	700	16-D22	D13@150	700	20-D22	D13@150	490
		φ400 φ406.4	22	EM400-8 -30		8-M30	119	540	450	280				40	92	51	143	600	110	800以上	150	740	16-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470	740	12-D22	D13@150	740	20-D22	D13@150	470
				-36		8-M36	148	560	470	270	-	-	-	48	119	81	200	720	125	900以上	170	770	16-D25	D13@150	800	24-D25	D13@150	550	770	12-D25	D13@150	800	24-D25	D13@100	550
				-42		8-M42	194	610	500	280				60	176	127	303	840	150	1100以上	190	810	20-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700	810	20-D25	D13@100	850	32-D25	D13@100	700
		φ450 φ457.2	22	EM450-8 -30		8-M30	146	580	490	320				40	106	51	157	600	110	800以上	150	780	16-D22	D13@150	780	20-D22	D13@150	450	780	12-D22	D13@150	780	20-D22	D13@150	450
				-36		8-M36	182	600	510	310	-	-	-	48	136	81	217	720	125	900以上	170	810	16-D25	D13@100	810	24-D25	D13@100	550	810	12-D25	D13@100	810	24-D25	D13@100	550
				-42		8-M42	249	650	540	320				60	199	127	326	840	150	1100以上	190	850	20-D25	D13@100	1000~~850~~	32-D25	D13@100	700	850	16-D25	D13@100	1000~~850~~	32-D25	D13@100	700
		φ500 φ508	25	EM500-8 -36		8-M36	231	640	550	350	-	-	-	48	155	82	237	720	125	900以上	170	850	16-D25	D13@100	850	24-D25	D13@100	530	850	12-D25	D13@100	850	24-D25	D13@100	530
				-42		8-M42	301	700	590	370				60	231	128	359	840	150	1100以上	190	900	20-D25	D13@100	900	32-D25	D13@100	670	900	20-D25	D13@100	900	32-D25	D13@100	670
			40		GM500-8 -48	8-M48	405	710	580	330	518	390	90	57	229	207	436	960	164	1200以上	-	950	24-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730	950	20-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730
					-56	8-M56	470	740	600	320			100	69	282	308	590	1120	192	1350以上	-	950	32-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940	950	28-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940
		φ550 φ558.8	25	EM550-8 -36		8-M36	269	680	590	390	-	-	-	48	175	82	257	720	125	900以上	170	900	20-D25	D13@100	900	24-D25	D13@100	520	900	16-D25	D13@100	900	24-D25	D13@100	520
				-42		8-M42	350	740	630	410				60	258	128	386	840	150	1100以上	190	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660	950	20-D25	D13@100	950	32-D25	D13@100	660
			40		GM550-8 -48	8-M48	468	740	610	360	568	430	85	54	244	208	452	960	161	1200以上	-	950	28-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730	950	24-D25	D16@100	950	40-D25	D16@100	730
					-56	8-M56	543	770	630	350			100	65	301	310	611	1120	188	1350以上	-	1000	32-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940	1000	28-D25	D16@100	1100	52-D25	D16@100	940
		φ600 φ609.6	40		GM600-8 -36	8-M36	421	700	610	410	620	480	70	36	192	85	277	720	116	900以上	-	950	20-D25	D16@100	950	24-D25	D16@100	450	950	16-D25	D16@100	950	24-D25	D16@100	450
					-48	8-M48	563	780	650	400			85	52	273	210	483	960	159	1200以上	-	1000	28-D25	D16@100	1000	40-D25	D16@100	720	1000	24-D25	D16@100	1000	40-D25	D16@100	720
					-64	8-M64	747	850	690	390			110	75	408	449	857	1280	217	1600以上	-	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120
		φ650 φ660.4	40		GM650-8 -48	8-M48	661	820	690	440	670	530	90	52	316	211	527	960	159	1200以上	-	1050	28-D25	D16@100	1050	40-D25	D16@100	720	1050	24-D25	D16@100	1050	40-D25	D16@100	720
					-64	8-M64	846	880	720	420			110	71	432	451	883	1280	213	1600以上	-	1100	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	1100	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120
		φ700 φ711.2	40		GM700-8 -48	8-M48	750	850	720	470	720	570	80	48	330	212	542	960	155	1200以上	-	1050	32-D25	D16@100	1050	40-D25	D16@100	720	1050	28-D25	D16@100	1050	40-D25	D16@100	720
					-64	8-M64	958	920	760	460			105	70	471	453	924	1280	212	1600以上	-	1150	32-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120	1150	28-D29	D16@100	1150	48-D29	D16@80	1120
		φ750 φ762	40		GM750-8 -48	8-M48	865	890	760	510	770	620	85	48	381	214	595	960	155	1300以上	-	1100	24-D29	D16@100	1100	28-D29	D16@100	730	1100	20-D29	D16@100	1100	28-D29	D16@100	730
					-64	8-M64	1100	960	800	500			110	69	527	455	982	1280	211	1600以上	-	1200	32-D29	D16@100	1200	48-D29	D16@80	1110	1200	28-D29	D16@100	1200	48-D29	D16@80	1110
		φ800 φ812.8	40		GM800-8 -48	8-M48	961	920	790	540	820	660	90	45	426	215	641	960	152	1300以上	-	1150	24-D29	D16@100	1150	28-D29	D16@100	720	1150	20-D29	D16@100	1150	28-D29	D16@100	720
					-64	8-M64	1240	990	830	530			100	66	550	456	1006	1280	208	1600以上	-	1200	32-D29	D16@100	1200	48-D29	D16@80	1110	1200	28-D29	D16@100	1200	48-D29	D16@80	1110
		φ850	40		GM850-8-64	8-M64	1410	1030	870	570	870	710	105	65	616	459	1075	1280	207	1600以上	-	1250	32-D29	D16@100	1300	48-D29	D16@80	1090	1250	28-D29	D16@100	1300	48-D29	D16@80	1090
		φ900 φ914.4	40		GM900-8-64	8-M64	1660	1100	940	640	920	760	105	70	734	462	1196	1280	212	1600以上	-	1350	36-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070	1350	32-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070
		φ950	40		GM950-8-64	8-M64	1750	1100	940	640	970	810	105	61	735	462	1197	1280	203	1600以上	-	1350	36-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070	1350	32-D29	D16@100	1350	48-D29	D16@80	1070
		φ1000 φ1016	40		GM1000-8-64	8-M64	1970	1140	980	680	1030	870	110	59	827	465	1292	1280	201	1600以上	-	1400	36-D29	D16@100	1400	48-D29	D16@100	1120	1400	32-D29	D16@100	1400	48-D29	D16@100	1120

鉄筋はD13,D16はSD295,D19,D22,D25はSD345,D29はSD390をご採用ください。　表中に無いサイズについても対応可能です。センクシアに問い合わせ下さい。

注 1）Ⅰ,Ⅱゾーン分けについてはハイベースNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力線図を参照下さい。
注 2）上記表内の〈中柱用〉とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、〈側・隅柱用〉を御採用下さい。
注 3）表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合（基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、
　　ハイベースNEO工法設計ハンドブックに従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。
注 4）〈中柱用〉の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋をφ406.4以下はD10@250、φ450以上はD13@250として算定しています。
　　あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合は〈側・隅柱用〉の鉄筋量として下さい。
注 5）部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量です。

センクシア株式会社
URL　https://www.senqcia.co.jp/
本社　TEL　03-4214-1932　　関東　TEL　027-322-9411　　関西　TEL　06-6395-2133
札幌　TEL　011-708-1177　　中部　TEL　052-582-3356　　中四国TEL　082-240-1630
東北　TEL　022-213-5595　　北陸　TEL　076-233-5260　　九州　TEL　092-452-0341

DRAWING
一級建築士事務　構造設計一級建築士
第273032号 矢持信号 第8121号
矢 持 信 也

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称
ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例 (円形鋼管柱用)

倉橋・県建築設計共同企業体

SCALE　A1 : no scale　A3 : no scale
DATE　2026.01

長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

図面番号
S-08

ＪＦ７５　設計・施工標準

JFE 建材 株式会社

ＪＦ７５の設計・施工は、(社)公共建築協会「平成18年版 床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)設計施工指針・同解説」による。 ＪＦ７５評価番号［評価 第911-01009003号］

1 型式・質量および断面性能

	型式	板厚 [mm]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/枚/m]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/m²]	断面性能 I [x10⁴mm⁴/m]	断面性能 Z [x10³mm³/m]
□	ＪＦ75－08	0.8	7.95	12.6	120	18.7
■	ＪＦ75－10	1.0	9.88	15.7	150	24.4
□	ＪＦ75－12	1.2	11.8	18.7	180	29.4
□	ＪＦ75－14	1.4	13.7	21.8	206	34.4
□	ＪＦ75－16	1.6	15.7	24.9	232	39.3

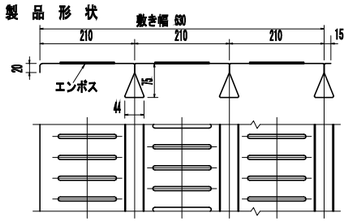
種類の記号および材料

種類記号	付着量記号	最小付着量(両面) [g/m²]	使用材料
SGCC SGHC	■ Z12	120	JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
	□ Z27	275	
SZACC SZAHC	□ Y18	180	JIS G 3317「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
□ その他（　　）			

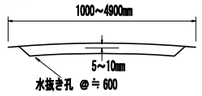
(注) 断面性能のＩは、断面2次モーメント(全断面有効)、Ｚは断面係数(有効幅考慮50t)を示します
Z27、Y18及びその他製品については、事前にご相談下さい

2 製品仕様

製品形状



キャンバー

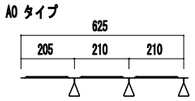


接合部詳細図

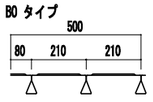


役物デッキプレート

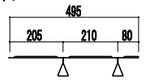
A0 タイプ



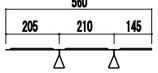
B0 タイプ



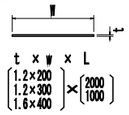
C0 タイプ



D0 タイプ

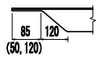


調整プレート



(注)
RC梁型枠用調整プレートには
釘孔加工(@600mm)有り

エンドクローズ形状

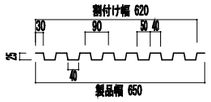


製品長さ

エンドクローズ長さ	製品長さ
85 ㎜	1000~4900 ㎜
50、120 ㎜	1000~4900 ㎜

キーストンプレート

板厚 mm	有効幅考慮断面係数 Zx10³mm²/m	全断面有効断面2次モーメント Ix10⁴mm⁴/m	製品質量 亜鉛めっき(Z12) kg/m	製品質量 亜鉛めっき(Z27) kg/m
0.8	9.80	12.2	5.89	6.07



キーストンプレート

原則として、デッキ長さが1,000mm未満の場合に使用。(L=350~1,200mm)
※板厚：0.8mm

3 断面応力・たわみの計算

断面応力・たわみの計算は、一般に単純支持梁モデルを用いて計算する
算定式および許容値は、下表とする

項目		算定式
曲げ応力 (N/mm²)	[S 造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq f_b$
	[RC・SRC造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq \frac{f_b}{\alpha}$
たわみ (mm)		$\delta = \frac{5WL^4}{384EI} \times 10^4 \leqq \frac{Lx10^3}{180} + 5$
支圧耐力 (N/m)		P= WL ≦ Pa

記号説明
σ：曲げ応力度 (N/mm²)
fb：許容曲げ応力度 fb= 205 (N/mm²)
M：最大曲げモーメント (N・mm/m)
Z：断面係数（有効幅50t考慮） (mm³/m)
δ：最大たわみ (mm)
α：たわみ算定用係数 (C=1.6)
W：設計（上載）荷重 (N/m²)
L：スパン (mm)
E：鋼材のヤング係数 E=2.05x10⁵ N/mm² (N/mm²)
I：断面2次モーメント(全断面有効) (mm⁴/m)
α：施工割増係数［別表参照］
P：ＪＦデッキ1ﾘﾌﾞ支圧荷重 (N/m)
Pa：許容支圧荷重［別表参照］ (N/m)

設計荷重 W

W=W1＋ W2＋ W3　　W1：スラブ自重=（スラブ厚）×（鉄筋コンクリート単重）
W2：フラットデッキ自重　　W3：作業荷重(下記)

施工時作業荷重	□ 1,470N/m²［ポンプ工法］ □（　　N/m²）［　　］	□ 2,450N/m²［ホッパー・バケット工法］
コンクリート［鉄筋コンクリート単重］	□ 普通コンクリート［24kN/m³］ □（　　）［　　kN/m³］	□ 軽量コンクリート［20kN/m³］

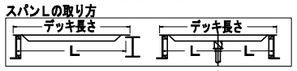
施工割増係数（支持梁がＲＣ造またはＳＲＣ造の場合）

施工状況の種類	施工割増係数(α)	施工条件など
□ Ⅰ類	1.0	RC造またはSRC造の場合で、荷重条件、施工条件等の適切な設定、管理により施工上の安全性が確実に確保される場合
□ Ⅱ類	1.25	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚1.0mmまたは板厚1.2mmのフラットデッキを使用する場合
□ Ⅲ類	1.5	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚0.8mmのフラットデッキを使用する場合

ＪＦ７５（幅1m当たり）

ＪＦ75板厚 (mm)	0.8	1.0	1.2
許容支圧荷重 (N/m)	9,800	14,700	19,600

スパンLの取り方



スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］

建物の構造		S造、RC・SRC造					RC・SRC造		
RC・SRC造 施工状況の種類		Ⅰ類[施工割増係数：α=1.0]					Ⅱ類[α=1.25]		Ⅲ類[α=1.5]
スラブ厚S(mm)	板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m²	120	2,610	2,870	3,040	3,160	3,270	2,660	2,910	2,130
	125	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	130	2,540	2,830	2,980	3,110	3,220	2,590	2,840	2,080
	135	2,510	2,810	2,960	3,090	3,200	2,560	2,800	2,050
	140	2,480	2,790	2,940	3,060	3,170	2,530	2,770	2,030
	145	2,450	2,770	2,920	3,040	3,150	2,500	2,740	2,000
	150	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	155	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,440	2,670	1,960
	160	2,370	2,700	2,860	2,980	3,080	2,410	2,640	1,930
	170	2,320	2,640	2,820	2,940	3,040	2,360	2,590	1,890
	180	2,270	2,590	2,790	2,900	3,010	2,320	2,540	1,850
	190	2,230	2,540	2,750	2,870	2,970	2,270	2,490	1,820
	200	2,180	2,490	2,720	2,830	2,940	2,230	2,440	1,780
	250	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640
	300	1,860	2,120	2,330	2,510	2,660	1,900	2,080	1,520
軽量コンクリート 20 kN/m²	120	2,760	2,980	3,140	3,270	3,390	2,810	3,080	2,260
	125	2,730	2,950	3,120	3,250	3,360	2,780	3,040	2,230
	130	2,700	2,930	3,100	3,220	3,340	2,750	3,010	2,200
	135	2,670	2,910	3,070	3,200	3,310	2,710	2,970	2,180
	140	2,640	2,890	3,050	3,180	3,280	2,680	2,940	2,150
	145	2,610	2,870	3,030	3,150	3,270	2,650	2,900	2,130
	150	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	155	2,550	2,830	2,990	3,110	3,220	2,600	2,840	2,080
	160	2,520	2,810	2,970	3,090	3,200	2,570	2,810	2,060
	170	2,470	2,780	2,940	3,060	3,160	2,520	2,760	2,020
	180	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	190	2,380	2,710	2,870	2,980	3,080	2,420	2,650	1,940
	200	2,340	2,660	2,840	2,950	3,060	2,380	2,610	1,910
	250	2,150	2,450	2,690	2,810	2,910	2,190	2,400	1,760
	300	2,000	2,290	2,500	2,690	2,760	2,040	2,240	1,640

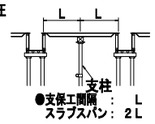
1) ▨ 部は、たわみで決定する範囲を示す。　　(単位：mm)

中間支保工を設ける場合の許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²］

施工状況の種類		Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数		α=1.0			α=1.25		α=1.5
スラブ厚S(mm)	板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m²	120	4,370	4,900	4,900	4,900	4,900	4,270
	130	4,150	4,900	4,900	4,900	4,900	4,150
	140	3,950	4,900	4,900	4,900	4,900	3,950
	150	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	160	3,600	4,900	4,900	4,830	4,900	3,600
	170	3,450	4,900	4,900	4,730	4,900	3,450
	180	3,310	4,900	4,900	4,640	4,900	3,310
	190	3,180	4,750	4,900	4,540	4,900	3,180
	200	3,060	4,570	4,900	4,460	4,880	3,060
	250	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570
	300	2,220	3,330	4,420	3,330	4,170	2,220
軽量コンクリート 20 kN/m²	120	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,520
	130	4,670	4,900	4,900	4,900	4,900	4,410
	140	4,450	4,900	4,900	4,900	4,900	4,310
	150	4,260	4,900	4,900	4,900	4,900	4,210
	160	4,080	4,900	4,900	4,900	4,900	4,080
	170	3,920	4,900	4,900	4,900	4,900	3,920
	180	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	190	3,630	4,900	4,900	4,850	4,900	3,630
	200	3,500	4,900	4,900	4,770	4,900	3,500
	250	2,970	4,430	4,900	4,390	4,810	2,970
	300	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570

(単位：mm)

1) 上表の数値は、中間支保工を設ける場合のＪＦ７５リブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパン２Ｌを示す
2) ＲＣ造またはＳＲＣ造において梁側板型枠でＪＦ７５を支持する場合、スラブスパンが３.０mを超えるときは中間支保工を設けることを原則とする
3) ＪＦ７５製品仕様の最大長さは４.９m

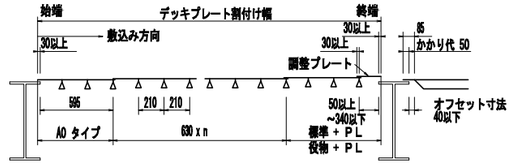


4 納まり例

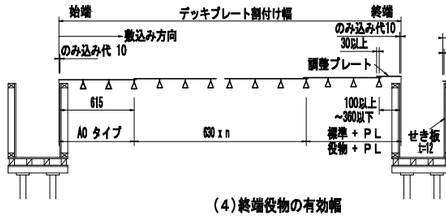
4-1 割付け

幅方向の割付けは、標準品（６３０幅）をベースに割付ける
始端・終端調整には役物、調整プレートを使用する

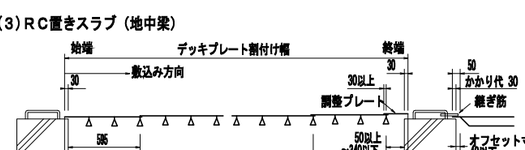
(1)鉄骨造（S造）



(2)鉄筋コンクリート造（RC造） 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）

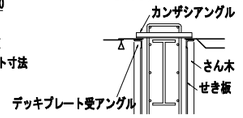


(3)ＲＣ置きスラブ（地中梁）

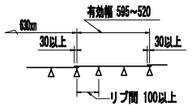


(4)終端役物の有効幅

SRC造 先行敷きの場合



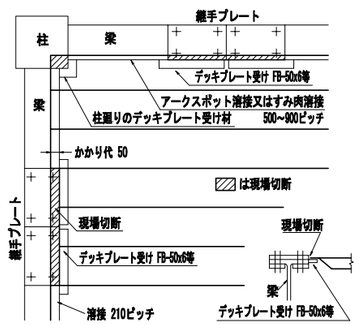
A0タイプ



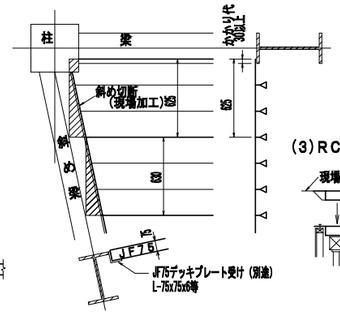
4-2 各所の納まり

デッキプレート受けは、設計荷重を十分支持可能な部材及び取付方法とする
デッキプレート受けのサイズは監理者の承認を得て決定すること

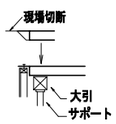
(1)S造継手プレート部の納まり
※柱コーナーおよび継手プレート部の切断は現場加工



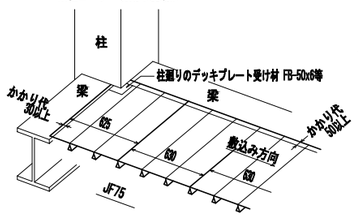
(2)S造斜め梁の納まり



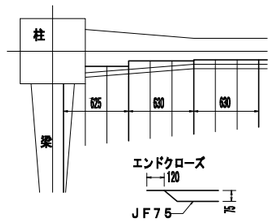
(3)RC、SRC造斜め梁



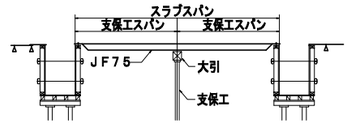
(4)S造柱廻りの納まり
※柱コーナー切断は現場加工



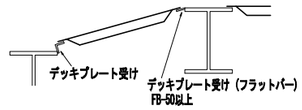
(5)S造水平ハンチの納まり



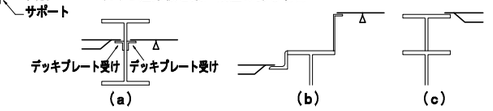
4-3 中間支保工設置



(6)S造梁の段差（レベル差）がある場合



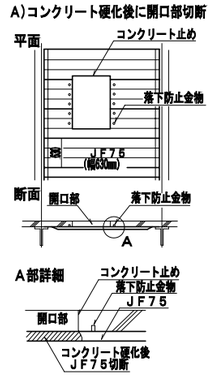
(7)S造床板と梁に段差のある場合



4-4 開口部納まり例

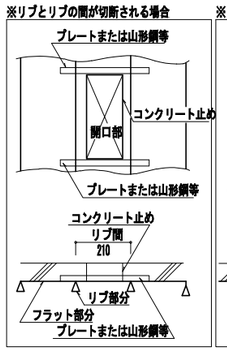
配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、原則として下Ａ図のようにあらかじめ型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。開口部の大きさにより、デッキプレートとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける

A)コンクリート硬化後に開口部切断

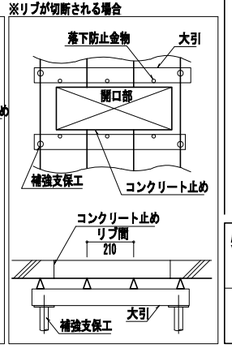


B)コンクリート打設前に開口部切断

※リブとリブの間が切断される場合



※リブが切断される場合



5 施工の要点

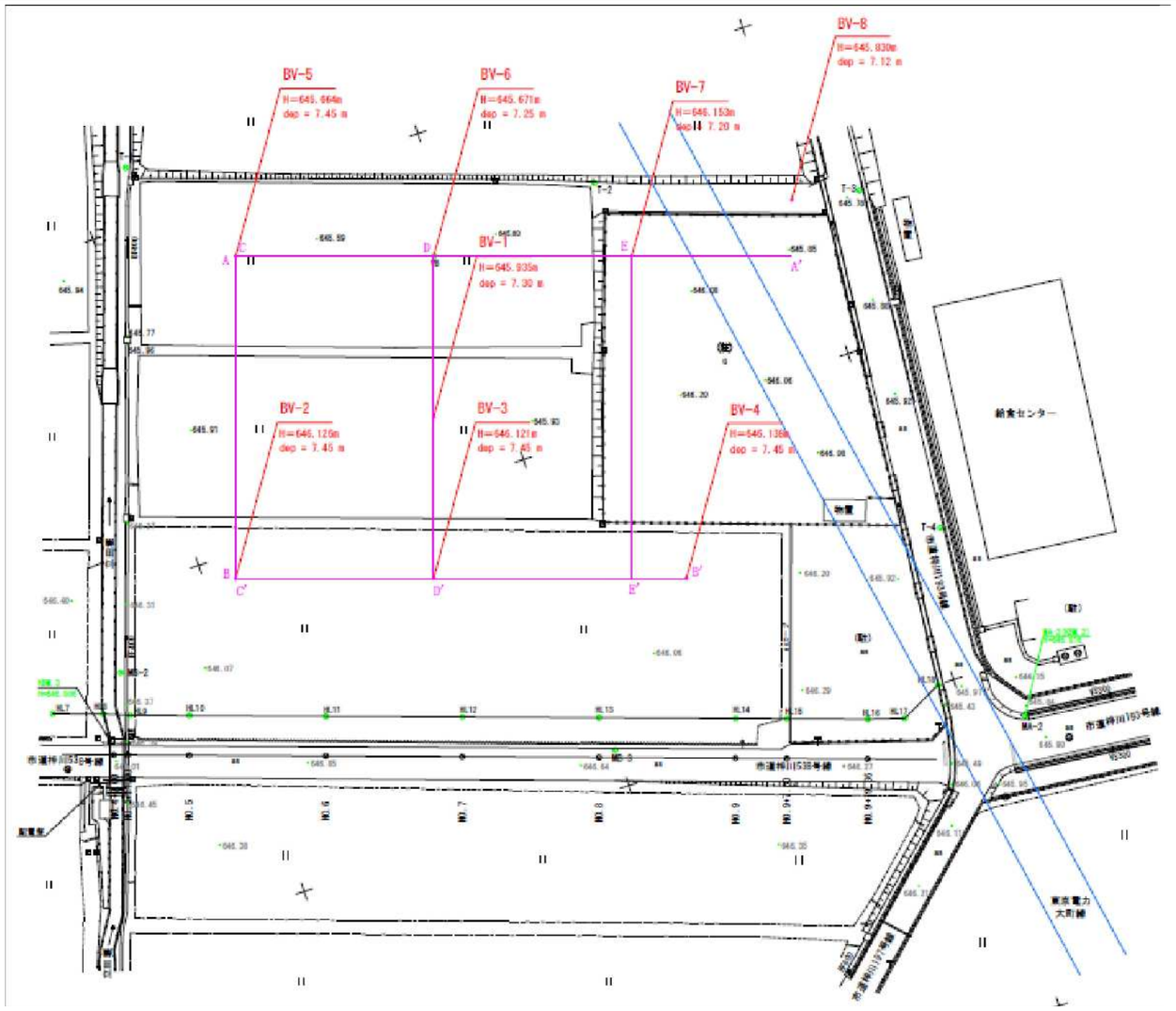
施工の要点は、下表のとおりとする
特殊なケースの場合は、その都度施工法を十分に検討し施工すること

項目	内容
1 保管	(1)敷込みとの関連を考えて保管場所を決める (2)薄板製品であることを十分認識し変形に注意する
2 吊り込み	(1)骨組の組立順序との関連を十分検討する (2)壁、パネル等の取り付け作業との関連を十分検討する (3)クレーンの揚重能力の検討、パレットを用いる等安全対策を検討する (4)揚重枚数と敷込み順序の関係等検討する
3 敷込み	(1)始端かかり位置、中間位置(JF75、５枚位の位置)終端位置をマーキングする (2)割付方向は図面に従い、間違いの無いようにする (3)２枚目以降は最初のデッキプレートに倣うので最初の位置決めを正確に行い、確実に梁に固定する(落下防止等安全対策) (4)かかり寸法は厳守する (5)敷込み後は速やかに溶接等で固定する
4 作業床	(1)一時的な作業床で使用することも考えられるが、板厚が0.8~1.0mmのデッキプレートの場合は、接合部分の変形、破損しやすいので避ける (2)受圧面積が極端に小さい集中荷重は避ける。集中荷重がかかる場合は、厚板等を敷く等の措置により受圧面積を大きくする (3)油等コンクリートに有害なものは、コンクリート打設前までに取り除く (4)資材等の仮置は避ける。止むを得ず仮置する場合は、デッキプレートに負担がかからないよう十分配慮する。特に0.8~1.0mmは注意する
5 コンクリート打設	(1)打設は打設荷重等の施工荷重を極力低減するようにし、過荷重には十分注意する (2)打設は、コンクリートの山（集中荷重）をつくらないようにする

特記(施工)

DRAWING
一級建築士事務　登録番号　一級第
第2730326 20H09 第8121号
矢 宮 真 告

■備考	工事名	図面名称	SCALE / DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	ＪＦ７５　設計・施工標準	A1：no scale A3：no scale 2026.01	S－09
		倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	



ボーリング調査位置図

設計GL＝KBM+650［標高 H= 646.466m］

ボーリング柱状図

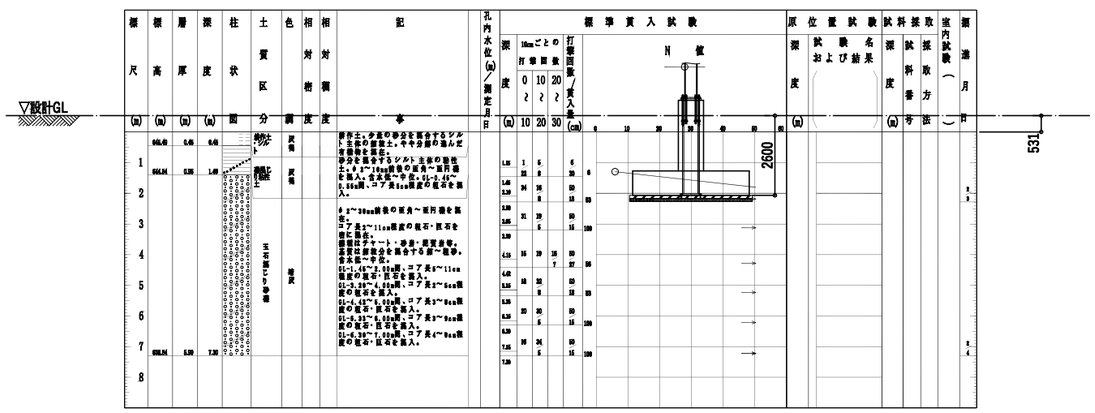
調査名　令和6年度(仮称) 松本市第1学校給食センター整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シート No

ボーリング名	BV-1	調査位置	松本市梓川713-1　他7筆			北緯	36° 13' 43.55"
発注機関	松本市役所			調査期間	令和 7年 2月 3日 ～ 7年 2月 5日	東経	137° 52' 11.07"
調査業者名	株式会社 土木管理総合試験所 (0263-40-6331)	主任技師	垣内 彰悟	現代理人	神内 幸司	コア鑑定者	佐野 絢香	ボーリング責任者	酒井 慎治
孔口標高	H=646.936m	角度	90°上 0° 下 0°	方向	北 0° 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	水平 0° 垂直 90°	使用機械	試錐機 YBM YBM-05	ハンマー落下用具	半自動型落下装置
総掘進長	7.30m								エンジン ヤンマー TF90V-E	ポンプ	有光工業 CSE-316CK2



ボーリング柱状図

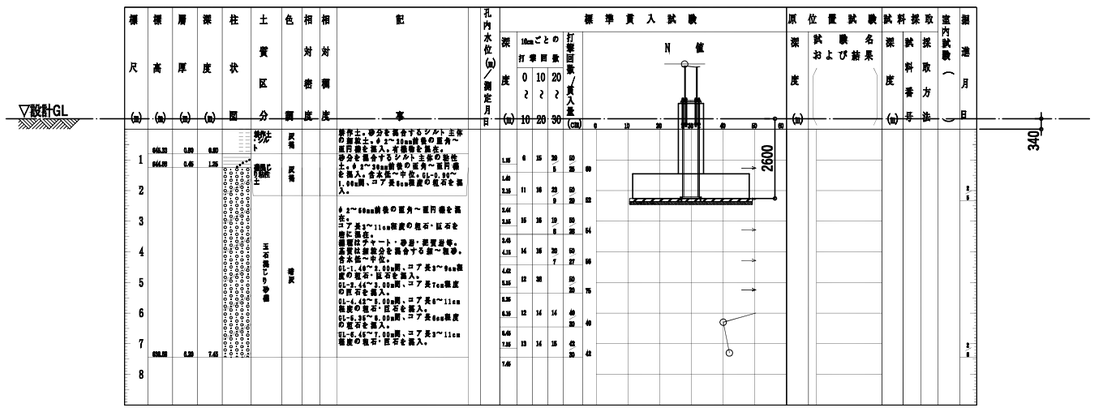
調査名　令和6年度(仮称) 松本市第1学校給食センター整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シート No

ボーリング名	BV-2	調査位置	松本市梓川713-1　他7筆			北緯	36° 13' 43.05"
発注機関	松本市役所			調査期間	令和 7年 2月 5日 ～ 7年 2月 7日	東経	137° 52' 9.66"
調査業者名	株式会社 土木管理総合試験所 (0263-40-6331)	主任技師	垣内 彰悟	現代理人	神内 幸司	コア鑑定者	佐野 絢香	ボーリング責任者	酒井 慎治
孔口標高	H=646.126m	角度	90°上 0° 下 0°	方向	北 0° 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	水平 0° 垂直 90°	使用機械	試錐機 YBM YBM-05	ハンマー落下用具	半自動型落下装置
総掘進長	7.45m								エンジン ヤンマー TF90V-E	ポンプ	有光工業 CSE-316CK2



■備考	工事名 (仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称 地盤調査資料(1)	SCALE A1：no scale A3：no scale / DATE 2026.01 / 図面番号 S-10
		倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

ボーリング柱状図

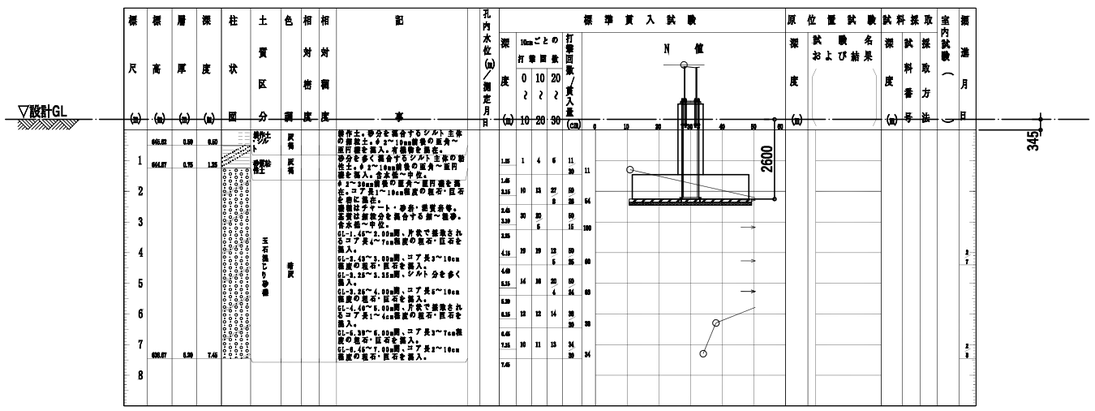
調査名　令和6年度(仮称)松本市第1学校給食センター整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	BV-3	調査位置	松本市梓川713-1　他7筆	北緯	36° 13′ 42.75″
発注機関	松本市役所	調査期間	令和 7年 2月 7日 ～ 7年 2月 10日	東経	137° 52′ 10.70″
調査業者名	株式会社 土木管理総合試験所 (0363-40-6331)	主任技師	坂内 彰悟	現代理人	神内 幸司
				コア鑑定者	佐野 絢香
				ボーリング責任者	酒井 慎治
孔口標高	H=646.12m	角度	90°上 0° 90°下	方向	北 0° 90°東 180°南 270°西
総掘進長	7.45m			地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
				使用機械	
		試錐機	YBM YBM-05	ハンマー落下用具	半自動型落下装置
		エンジン	ヤンマー TF90Y-E	ポンプ	有光工業 CSE-316CK2



標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	646.62	0.50	0.50		舗装コンクリート				
1	646.12	0.75	1.25		礫混じり砂質土	灰褐			径3~30mm最後の混合～並円礫を基性土、4.5~10cm最後の混合～並円礫を混入、砂分を多く混合するシルト主体の混

ボーリング柱状図

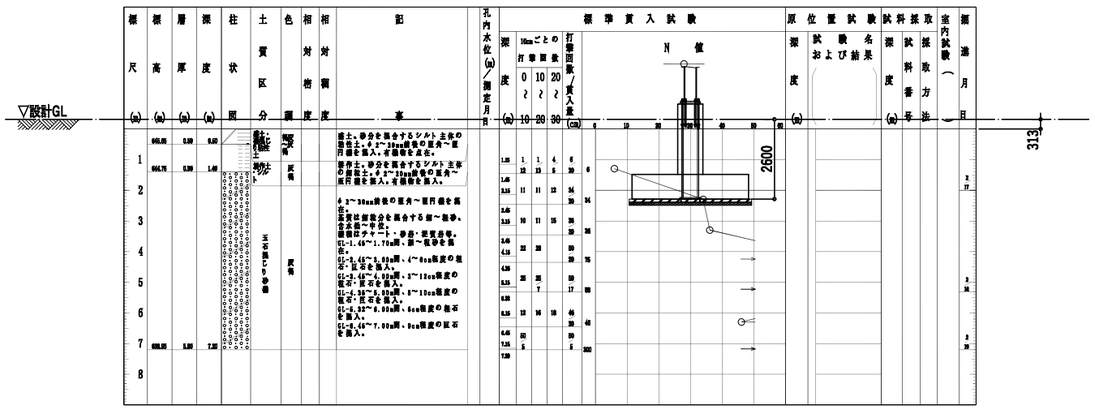
調査名　令和6年度(仮称)松本市第1学校給食センター整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	BV-7	調査位置	松本市梓川713-1　他7筆			北緯	36° 13′ 43.96″
発注機関	松本市役所	調査期間	令和 7年 2月 17日 ～ 7年 2月 19日			東経	137° 52′ 12.37″
調査業者名	株式会社 土木管理総合試験所 (0263-40-5331)	主任技師	坂内 彰悟	現代理人	陣内 幸司	コア鑑定者	佐野 絢香	ボーリング責任者	酒井 慎治
孔口標高	H=646.153m	角度	90° 上 0° 下	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 角度 90°	使用機械	半自動型落下装置
掘進長	7.20m				試錐機	YBM YBM-05	ハンマー落下用具	有光工業 CSE-316CK2
					エンジン	ヤンマー TF90Y-E	ポンプ	



標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	644.78	0.50	0.50		盛土	茶褐			盛土、砂分を混合するシルト主体の粘性土、φ2～20mm礫径の亜角～亜円礫を混入、木根散在と点在。
2	644.78	0.50	1.40		盛土	茶褐			盛土、砂分を混合するシルト主体の粘性土、φ2～20mm礫径の亜角～亜円礫を混入、木根散在と点在。
3					玉石混じり砂礫	茶褐	密		φ2～30mm礫径の亜角～亜円礫を混在、基質は細粒分を混合する細～粗砂、含水量0～中位。 礫種はチャート・砂岩・泥質岩等。 GL-1.40～1.70m間、細～粗砂を混在。 GL-1.45～3.05m間、4～8cm径度の亜円・亜角石を混入。 GL-3.45～4.05m間、5～12cm径度の亜円・亜石を混入。 GL-4.55～5.05m間、5～10cm径度の亜円・亜石を混入。 GL-5.95～6.05m間、6cm径度の亜石を混入。 GL-6.45～7.05m間、8cm径度の亜石を混入。
4									
5									
6									
7	638.05	5.80	7.20						
8									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
	1.00	1	1	4	6/30	6
	1.45	12	13	6		
	2.00	11	12	14	14/30	14
	2.45	10	11	15	26/30	26
	3.00	11	15	19	30/30	34
	3.45	22	28	31	59/30	59
	4.00	25	25	7	57/30	57
	4.45	13	16	16	45/30	45
	5.00	50/5			50/5	300

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験( )	掘進月日
	2/17
	3/10
	3/10

ボーリング柱状図

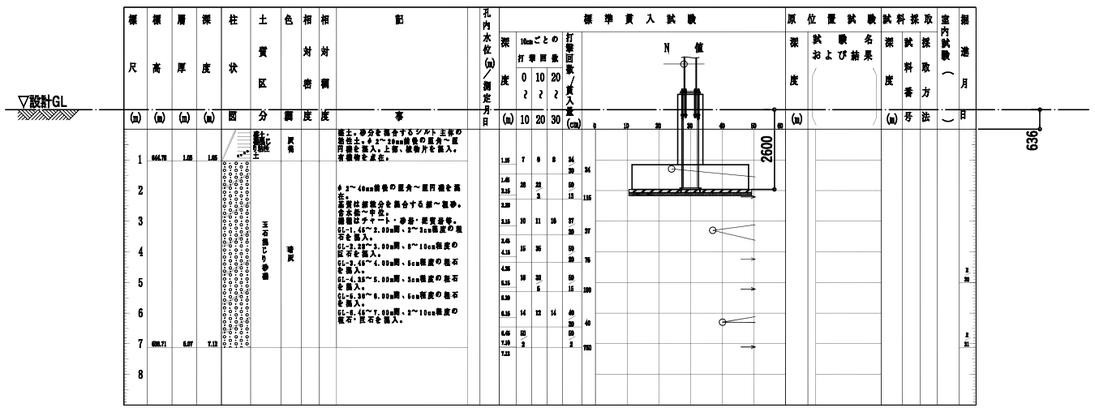
調査名　令和6年度(仮称)松本市第1学校給食センター整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	BV-8	調査位置	松本市梓川713-1　他7筆			北緯	36° 13′ 44.04″
発注機関	松本市役所	調査期間	令和 7年 2月 19日 ～ 7年 2月 22日			東経	137° 52′ 13.48″
調査業者名	株式会社 土木管理総合試験所 (0263-40-5331)	主任技師	坂内 彰悟	現代理人	陣内 幸司	コア鑑定者	佐野 絢香	ボーリング責任者	酒井 慎治
孔口標高	H=645.830m	角度	90° 上 0° 下	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 角度 90°	使用機械	半自動型落下装置
掘進長	7.12m				試錐機	YBM YBM-05	ハンマー落下用具	有光工業 CSE-316CK2	
					エンジン	ヤンマー TF90Y-E	ポンプ		



標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	644.78	1.05	1.05		盛土	茶褐			盛土、砂分を混合するシルト主体の粘性土、φ2～20mm礫径の亜角～亜円礫を混入、上部、植物片を混入、有機質を点在。
2									
3					玉石混じり砂礫	茶褐	密		φ2～40mm礫径の亜角～亜円礫を混在、基質は細粒分を混合する細～粗砂、含水量0～中位。 礫種はチャート・砂岩・泥質岩等。 GL-1.45～2.05m間、2～3cm径度の亜石を混入。 GL-2.55～3.05m間、5～10cm径度の玉石を混入。 GL-3.45～4.05m間、5cm径度の亜石を混入。 GL-4.55～5.05m間、3cm径度の亜石を混入。 GL-5.95～6.05m間、10cm径度の亜石を混入。 GL-7.45～7.55m間、2～10cm径度の亜石・玉石を混入。
4									
5									
6									
7	638.71	6.87	7.12						
8									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
	1.00	7	8	8	34/30	34
	1.45	28	33	3	50/13	155
	2.00	10	11	16	37/30	37
	2.45	15	35		50/20	70
	3.00	10	33	5	50/15	100
	3.45	14	13	14	46/30	40
	4.00	50/5			50/5	700

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験( )	掘進月日
	3/10
	3/10

施工令第129条の2の3の事項

令第129条の2の3の事項 ※ 設計が該当する場合には、■ にチェックを記入する

・建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

■ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

■ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの(以下「屋外水槽等」という。）は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90 cm以下とすること。

□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5 cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25 cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備*を除く。）は、

- ■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
- ■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
- ■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
- ■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

■ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあっては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

■ 給湯設備※は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15Kgを超える給湯設備については、地震時に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

※「給水設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

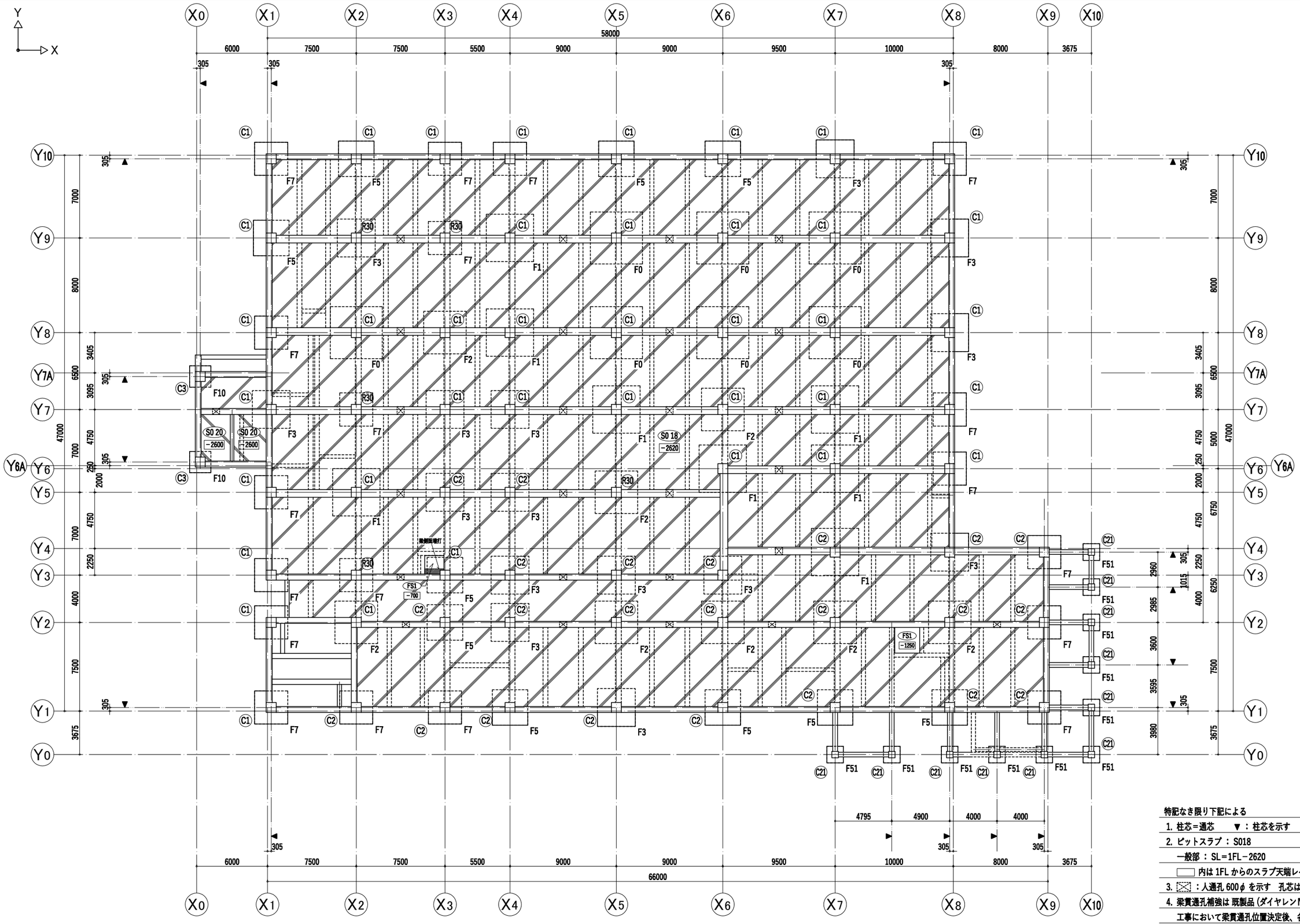
■ 昇降機の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

■ 昇降機は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

■ 昇降機の荷重は、建築物本体へ考慮すること。昇降機の受け材が直接取り付く梁・小梁等は安全なものとすること。

■備考	工事名	図面名称	地盤調査資料（3）	SCALE A1：no scale A3：no scale	DATE 2026.01
	（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	図面番号	S－12

DRAWING
一級建築士事務所　建築物調査一級建築士
第278332号 知事登録 第2121号
矢 省 吉 登

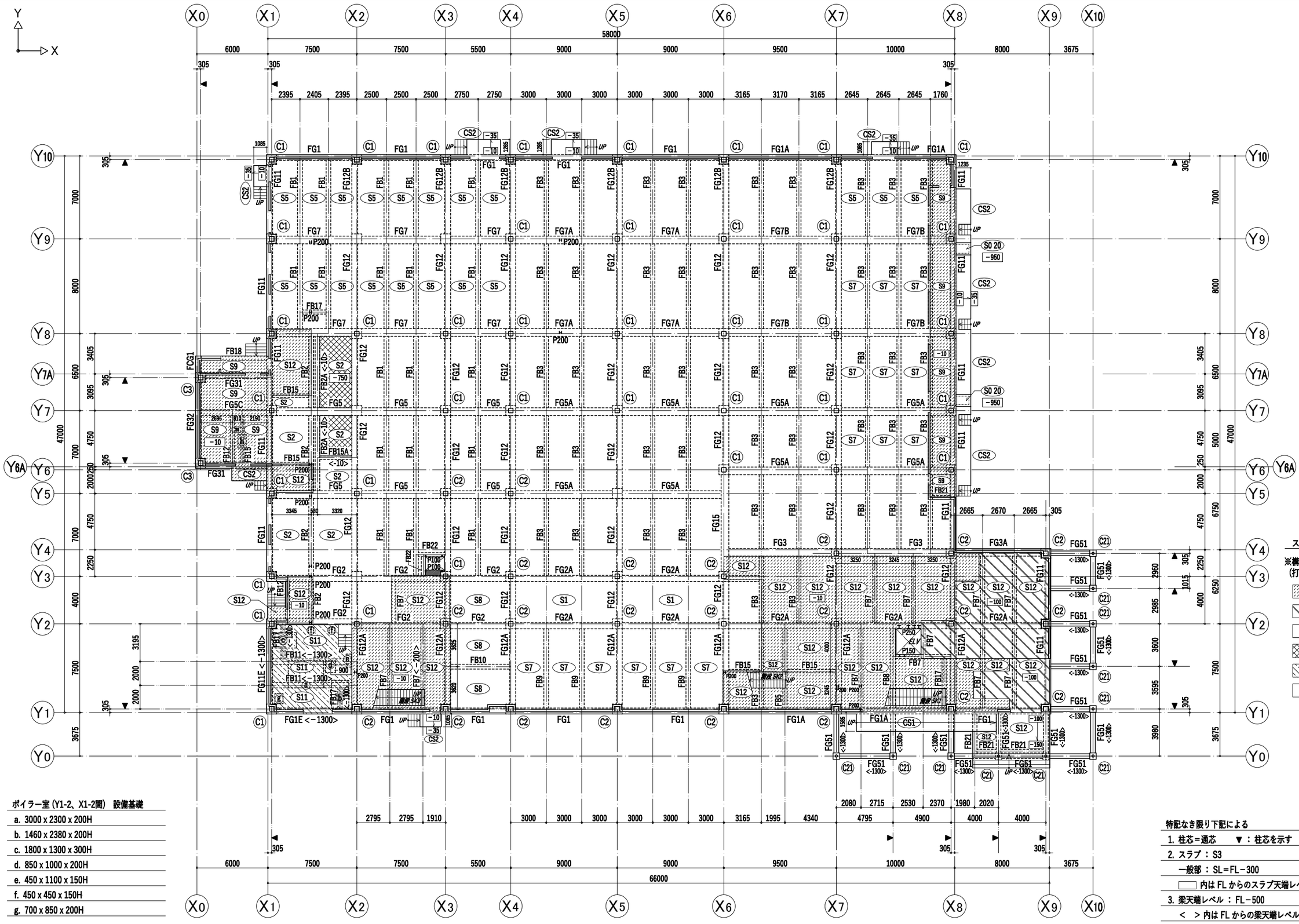


基礎　伏図

特記なき限り下記による

1. 柱芯＝通芯　　▼：柱芯を示す
2. ピットスラブ：S018
   一般部：SL＝1FL－2620
   □ 内は 1FL からのスラブ天端レベルを示す(詳細は意匠図参照)
3. ⊠：人通孔 600φ を示す　孔芯は 基礎梁成/2 位置とする
4. 梁貫通孔補強は 既製品 (ダイヤレンＮＳ工法) とする
   工事において梁貫通孔位置決定後、各梁の貫通補強設計を行う
   貫通孔の位置・補強方法等は、補強工法の仕様を準拠する

■備考	工事名	図面名称	SCALE / DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	基礎　伏図	A1：1/150　A3：1/300 / 2026.01	S－13
		倉橋･県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	



スラブレベル 凡例

※構造スラブ天端を示す
(打増等を含む仕上天端詳細は意匠図参照)

- SL= FL－10
- SL= FL－100
- SL= FL－300 (調理室 一般部)
- SL= FL－750
- SL= FL－900
- その他 (ﾚﾍﾞﾙ記載、意匠図参照)

ボイラー室 (Y1-2、X1-2間) 設備基礎

a. 3000 x 2300 x 200H
b. 1460 x 2380 x 200H
c. 1800 x 1300 x 300H
d. 850 x 1000 x 200H
e. 450 x 1100 x 150H
f. 450 x 450 x 150H
g. 700 x 850 x 200H

消火栓ポンプ室 (Y6-7、X0-1間) 設備基礎

h. 700 x 1150 x 300H

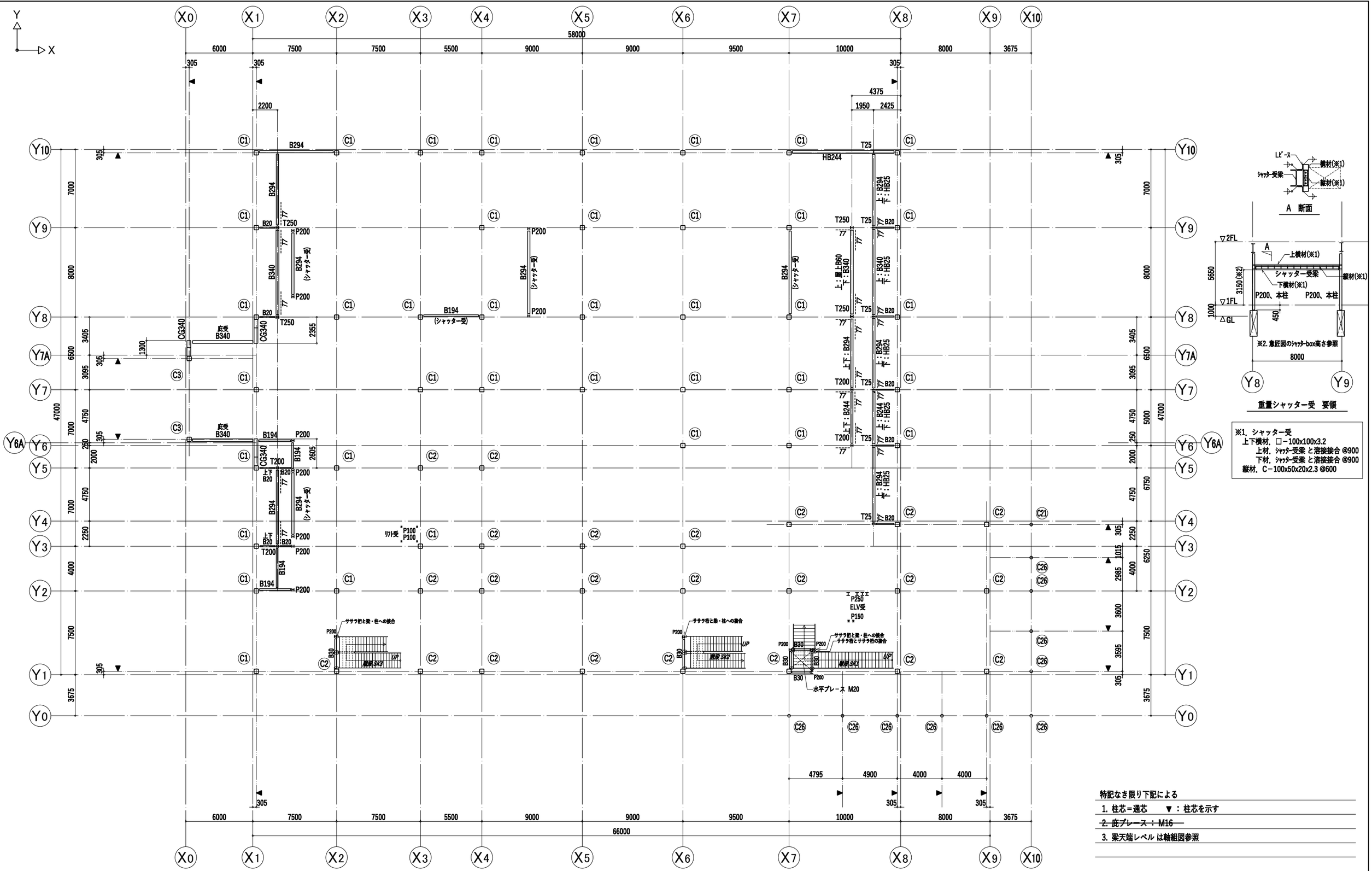
特記なき限り下記による

1. 柱芯＝通芯　▼：柱芯を示す
2. スラブ：S3
   一般部：SL＝FL－300
   □ 内は FL からのスラブ天端レベルを示す(詳細は意匠図参照)
3. 梁天端レベル：FL－500
   ＜　＞内は FL からの梁天端レベルを示す
4. 腰壁：W15 (建屋内部の腰壁の配置は意匠図参照)

1階　伏図

■備考	工事名 (仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称 1階　伏図	SCALE A1：1/150 A3：1/300	図面番号 S-14
		倉橋･県建築設計共同企業体	DATE 2026. 01	

長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登


X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10
58000
6000 7500 7500 5500 9000 9000 9500 10000 8000 3675
Y10 Y9 Y8 Y7A Y7 Y6A Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1 Y0
47000
7000 8000 6500 3405 3095 4750 7000 2000 250 4750 7000 2250 4000 7500 305 3675
B294
B340
B194
T250
T200
T25
HB244
B20
P200
P250
P150
P100
CG340
庇受
B340
1300
2355
2605
B194
(シャッター受)
リフト受
ELV受
ササラ桁と梁・柱への接合
踊場 SK2
踊場 SK1
UP
水平ブレース M20
4375
1950
2425
2200
上：B294
下：HB25
上：B340
下：HB25
上：B244
下：HB25
上：B294
下：B340
上：B294
下：B244
C1 C2 C3 C21 C26
4795 4900 4000 4000
66000

重量シャッター受 要領

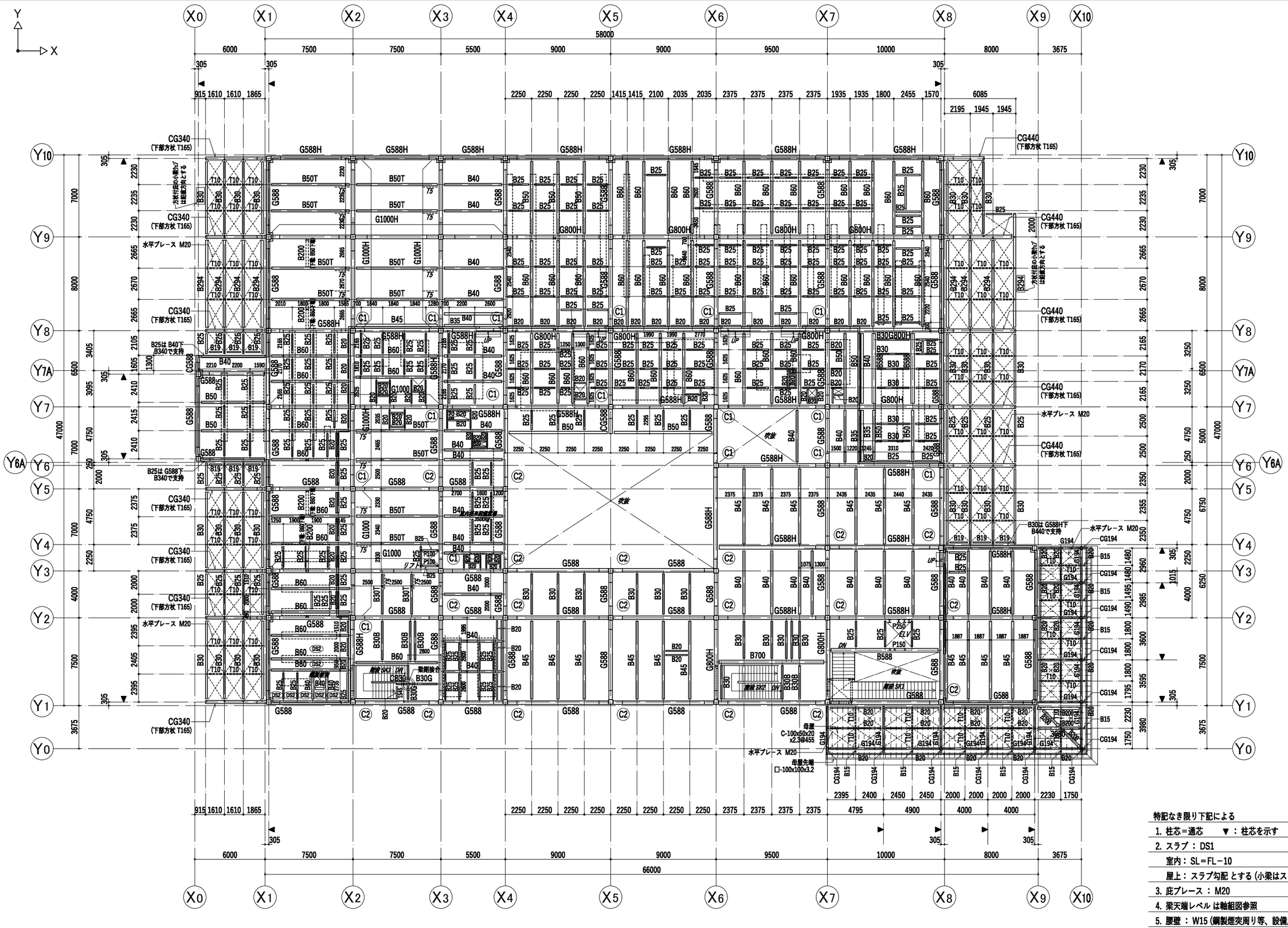
※1. シャッター受
上下横材、□－100x100x3.2
上材、ｼｬｯﾀｰ受梁 と溶接接合 @900
下材、ｼｬｯﾀｰ受梁 と溶接接合 @900
縦材、C－100x50x20x2.3 @600

特記なき限り下記による

1. 柱芯＝通芯　▼：柱芯を示す
2. ~~庇ブレース：M16~~
3. 梁天端レベル は軸組図参照

M１階 (2階下部) 伏図

■備考	工事名	図面名称	SCALE / DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	M１階 (2階下部) 伏図	A1：1/150 A3：1/300 / 2026.01	S－15
		倉橋･県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号 一級建築士大臣登録第225810号 小宮山吉登	



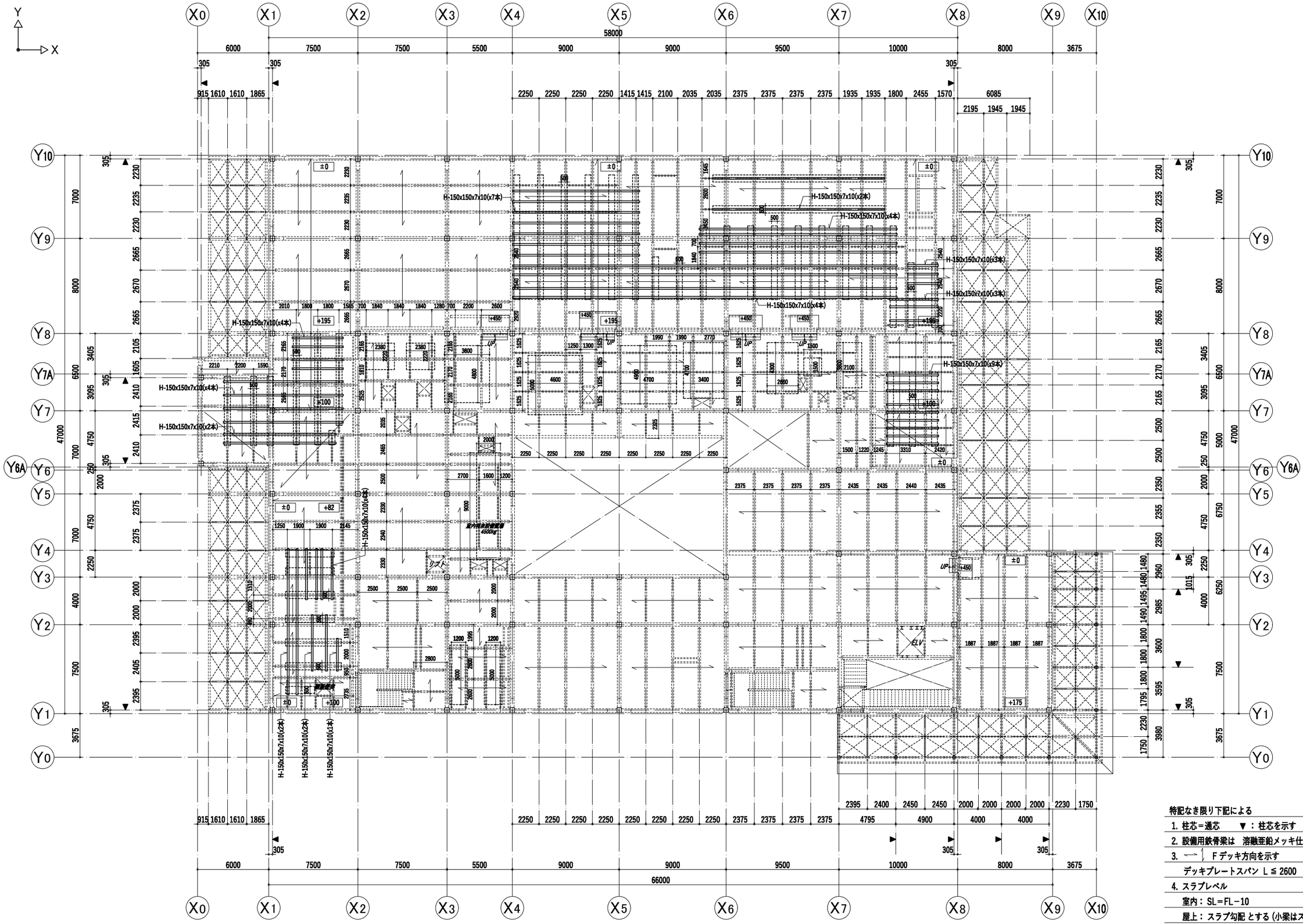
特記なき限り下記による

1. 柱芯＝通芯　　▼：柱芯を示す
2. スラブ ： DS1
   室内： SL＝FL－10
   屋上： スラブ勾配 とする (小梁はスラブ勾配の勾配とする)
3. 庇ブレース ： M20
4. 梁天端レベル は軸組図参照
5. 腰壁 ： W15 (鋼製煙突周り等、設備周りは部分詳細図参照)

2階　伏図

■備考	工事名	図面名称	SCALE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	2階　伏図	A1：1/150 A3：1/300	S－16
		倉橋・県建築設計共同企業体	DATE 2026. 01	

長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



特記なき限り下記による

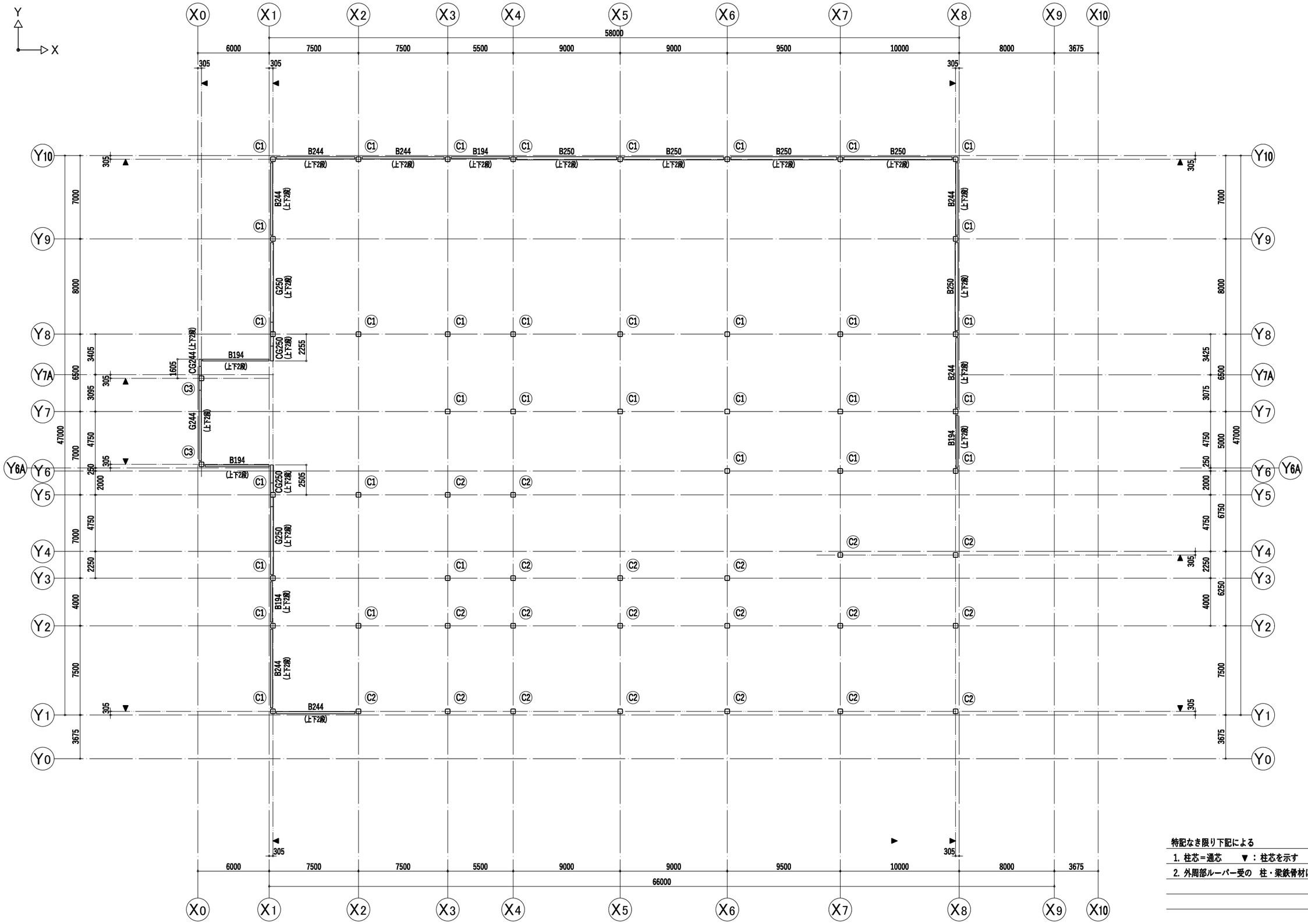
1. 柱芯＝通芯　　▼：柱芯を示す
2. 設備用鉄骨梁は　溶融亜鉛メッキ仕様　とする
3. ⟿ Fデッキ方向を示す
   デッキプレートスパン L ≦ 2600
4. スラブレベル
   室内： SL＝FL－10
   屋上： スラブ勾配 とする (小梁はスラブ勾配の勾配とする)
   ▭ 内は FL からのスラブ天端レベルを示す(詳細は意匠図参照)

2階 スラブレベル、設備用鉄骨梁　伏図

DRAWING
一級建築士事務　登録番号　一級建築士
第2730329号 2019年9月 第1121号
矢 吹 直 弘

■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	2階 スラブレベル、設備用鉄骨梁　伏図	A1：1/150 A3：1/300	2026. 01	S－17

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

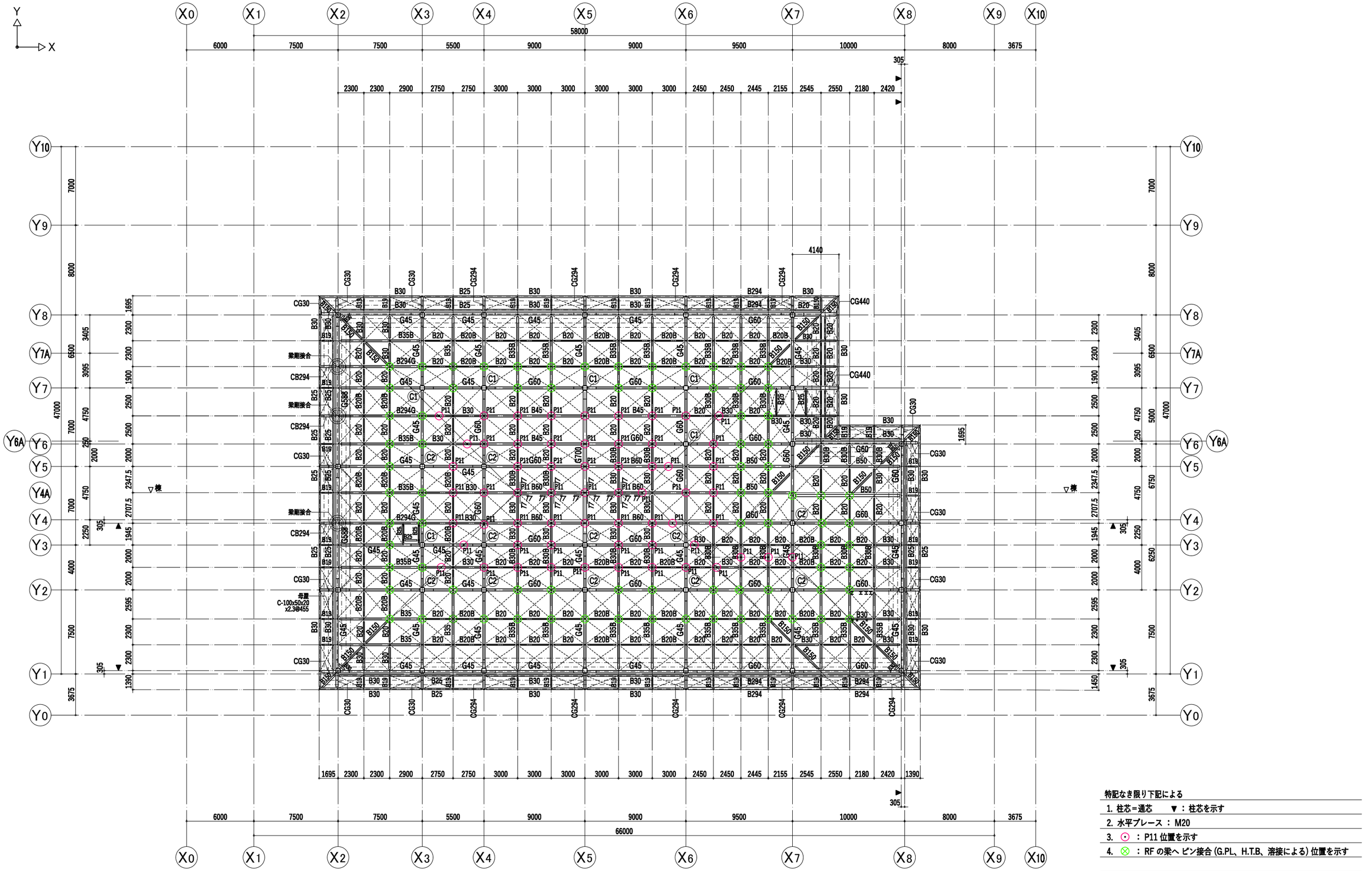


特記なき限り下記による

1. 柱芯＝通芯　　▼：柱芯を示す
2. 外周部ルーバー受の　柱・梁鉄骨材は、溶融亜鉛メッキ塗装を施す

M２階（2階上部）　伏図

■備考	工事名 (仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称 M２階（2階上部）　伏図	SCALE A1：1/150 A3：1/300	DATE 2026.01
		倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	図面番号 S−18



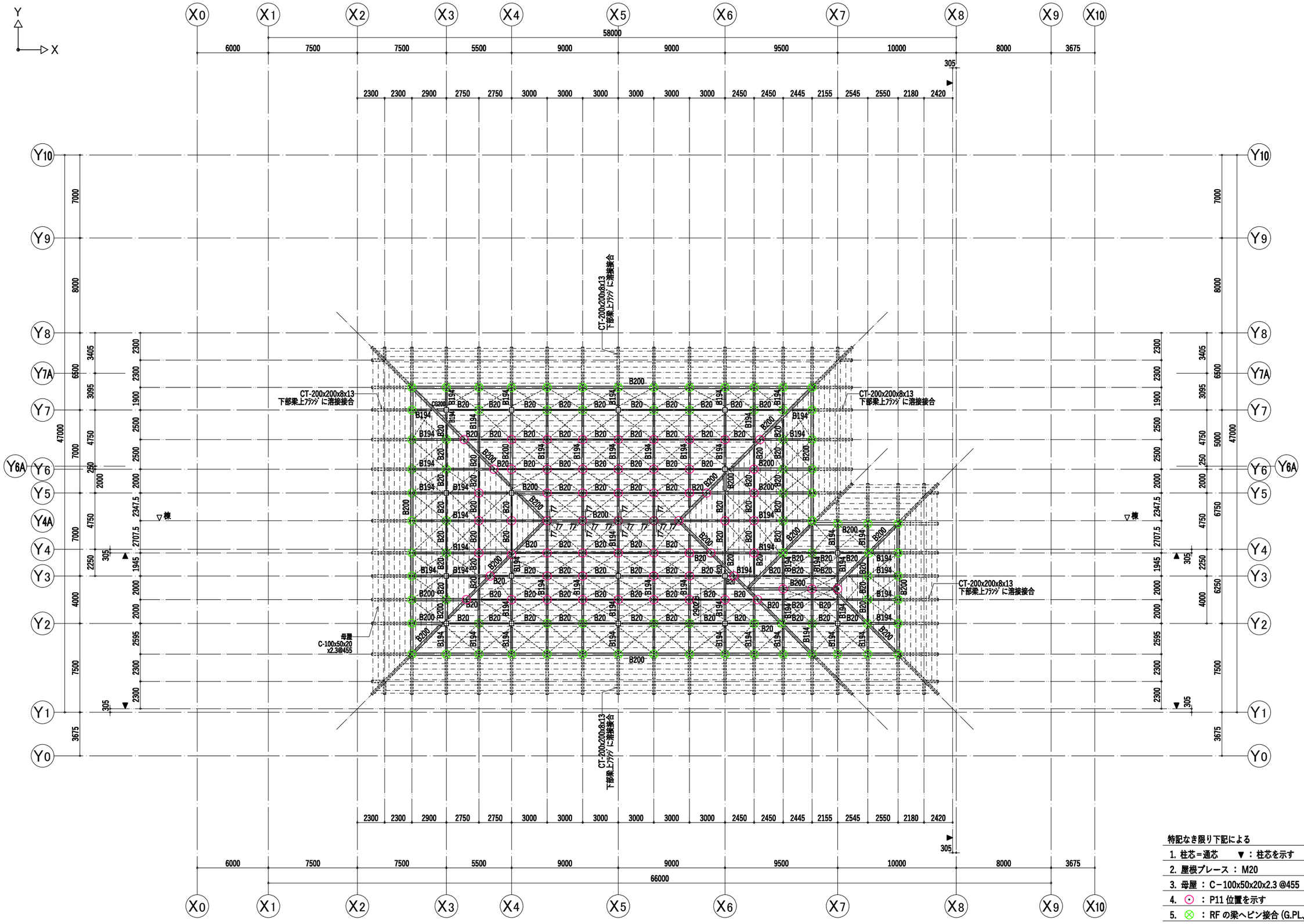
屋根 (RF)　伏図

特記なき限り下記による

1. 柱芯＝通芯　　▼：柱芯を示す
2. 水平ブレース ： M20
3. ⊙ ： P11 位置を示す
4. ⊗ ： RF の梁へ ピン接合 (G.PL、H.T.B、溶接による) 位置を示す

■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	屋根 (RF)　伏図	A1 : 1/150 A3 : 1/300	2026. 01	S－19

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



特記なき限り下記による

1. 柱芯＝通芯　　▼：柱芯を示す
2. 屋根ブレース ： M20
3. 母屋 ： C－100x50x20x2.3 @455
4. ⊙ ： P11 位置を示す
5. ⊗ ： RF の梁ヘピン接合 (G.PL、H.T.B、溶接による) 位置を示す

置屋根 (R2F)　伏図

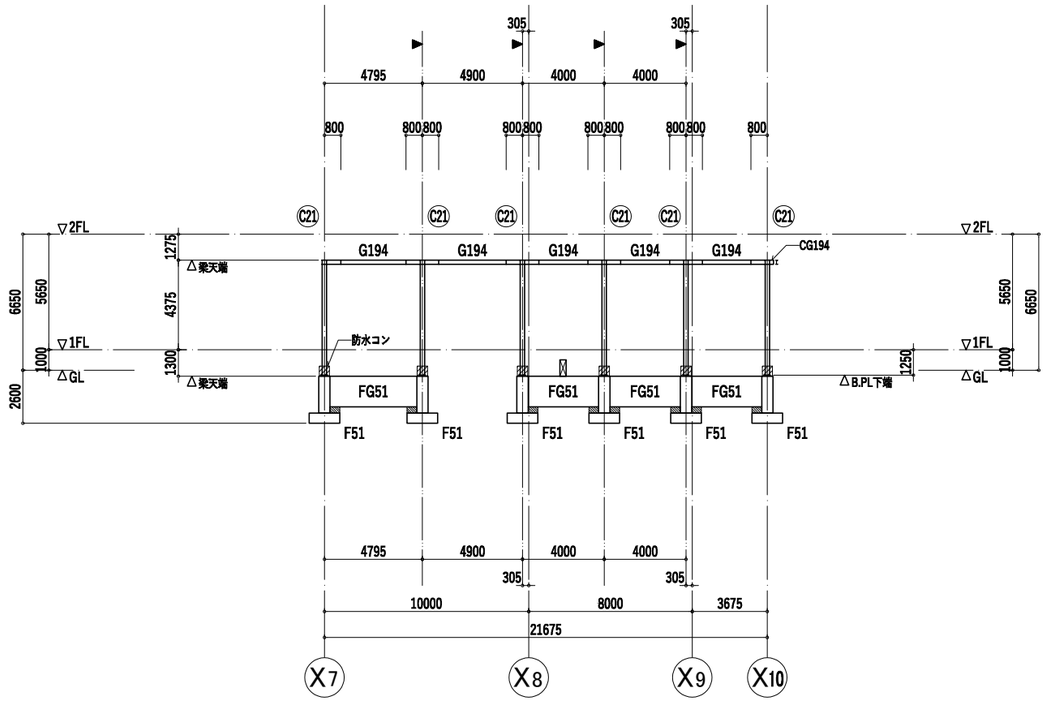
■備考	工事名	図面名称	SCALE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	置屋根 (R2F)　伏図	A1 : 1/150 A3 : 1/300	S－20
		倉橋・県建築設計共同企業体	DATE 2026. 01	

長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) 村第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

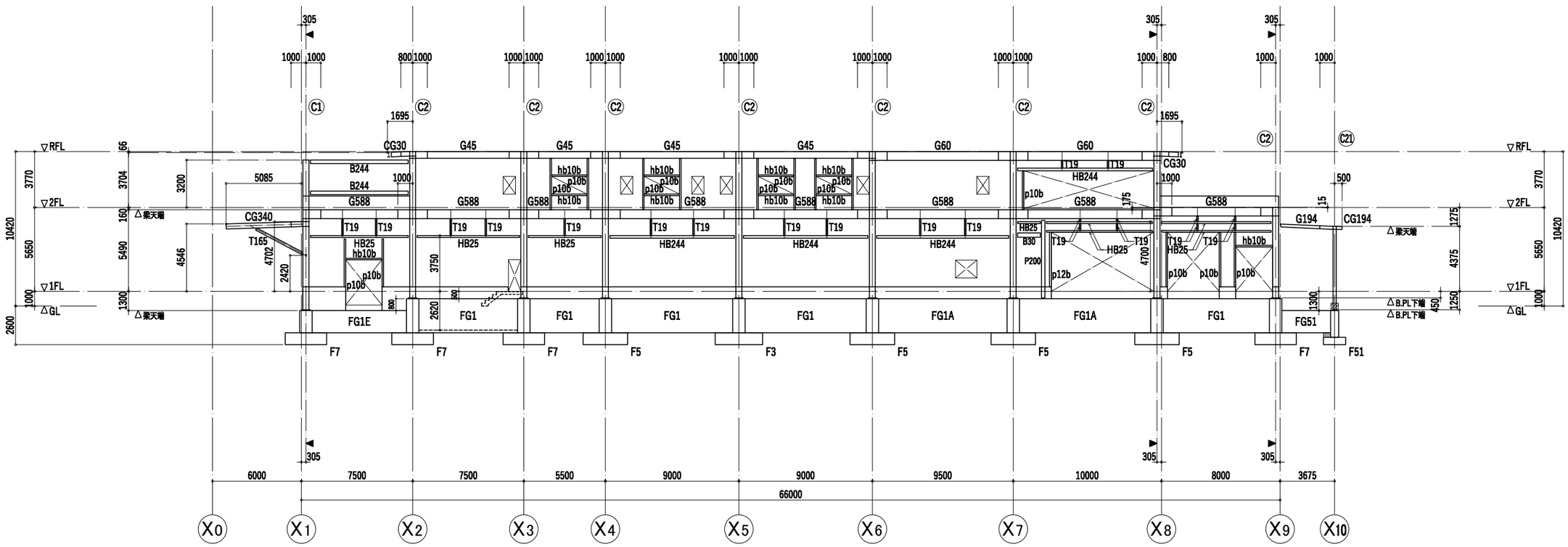
X方向 フレーム

特記なき限り下記による （軸組図共通）

1. 柱芯＝通芯　　▼：柱芯を示す
2. 腰壁：　W15
3. ▨ は打増を示す
4. 外壁アスロックの開口補強
   開口スパン長 L≦1800mm の開口は、施工時において
   開口位置確定後、補強設計を行い、補強を行う

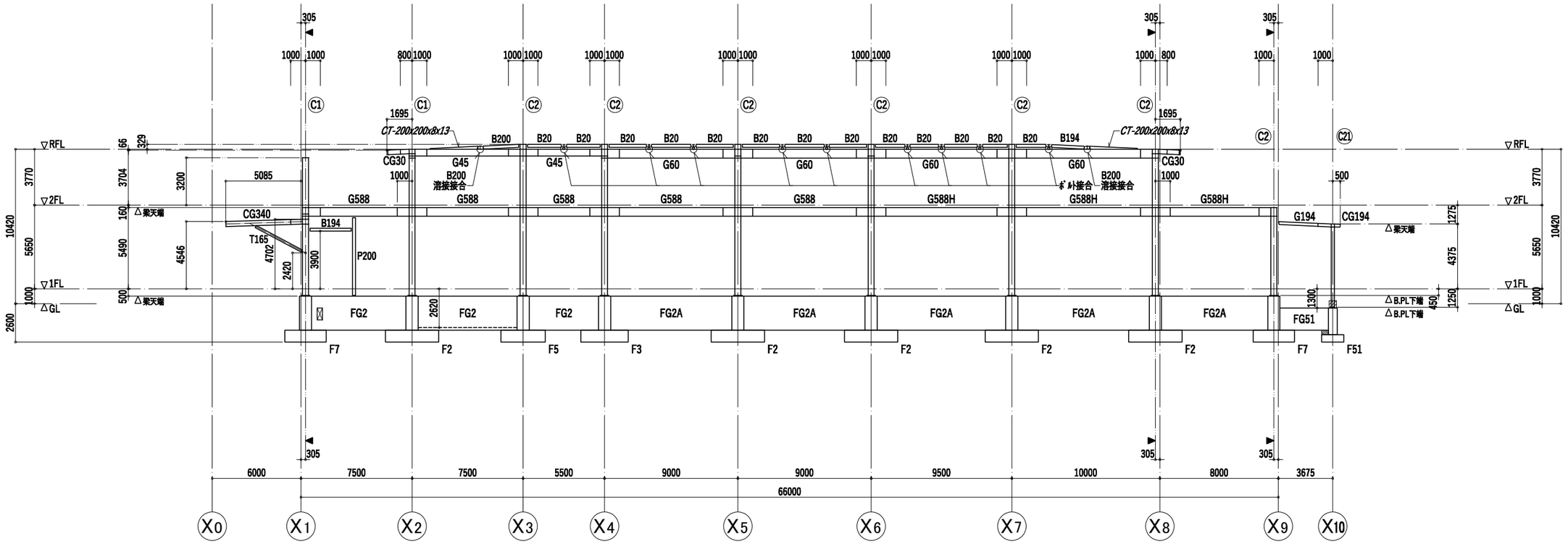


Y0 通　軸組図

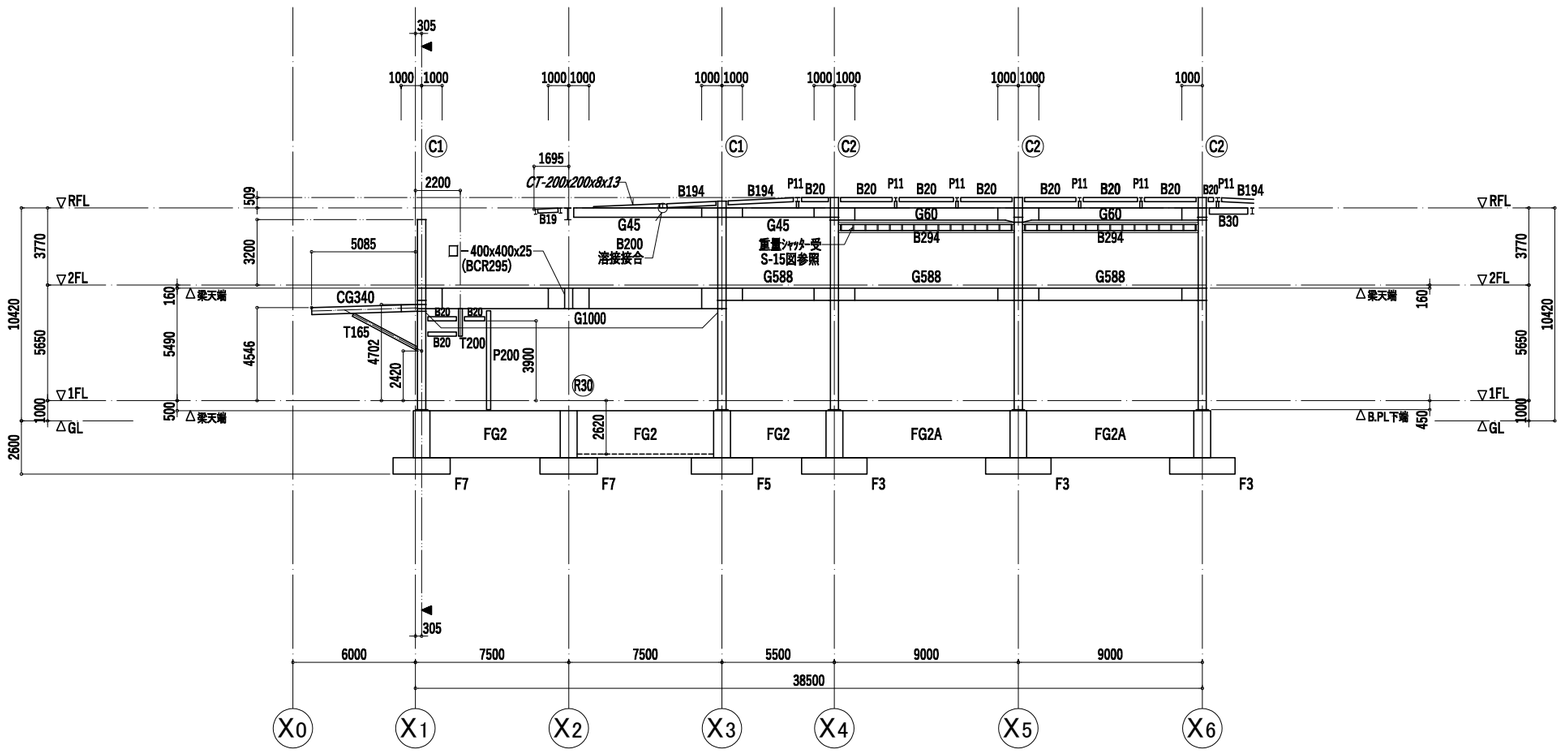


Y1 通　軸組図

■備考	工事名	図面名称	軸組図（1）	SCALE A1：1/150 A3：1/300	DATE 2026.01
	（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	倉橋・県建築設計共同企業体		長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	図面番号 S－21

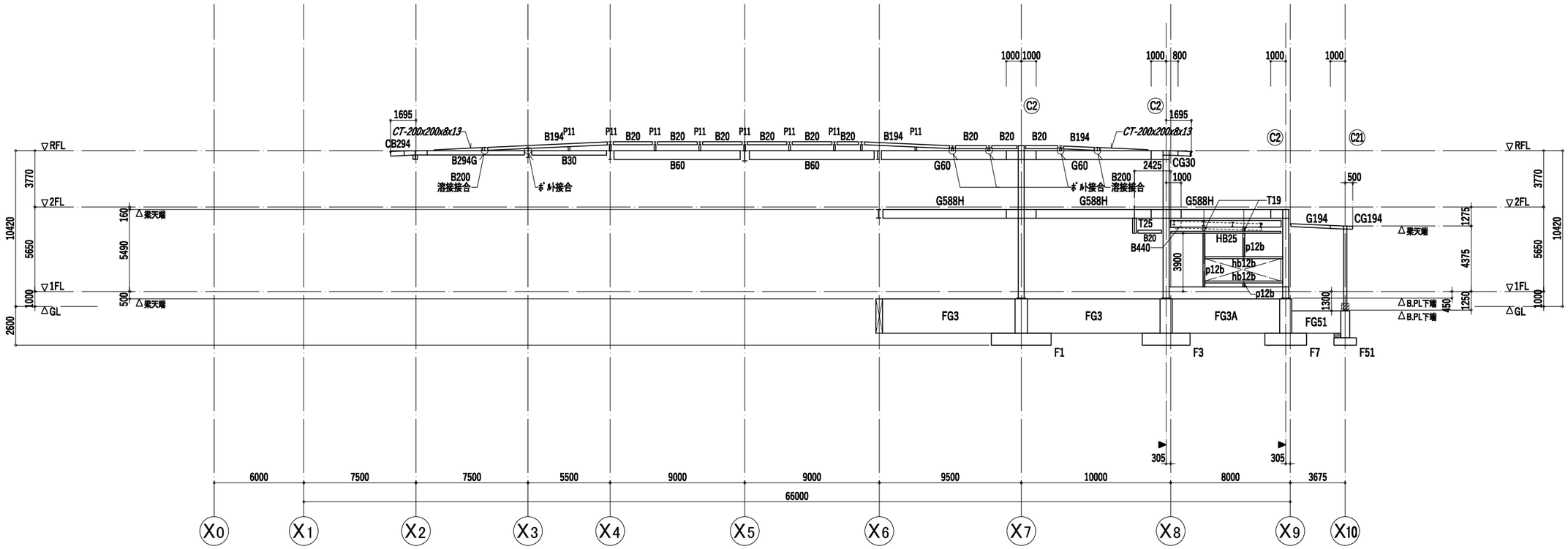


Y2 通　軸組図

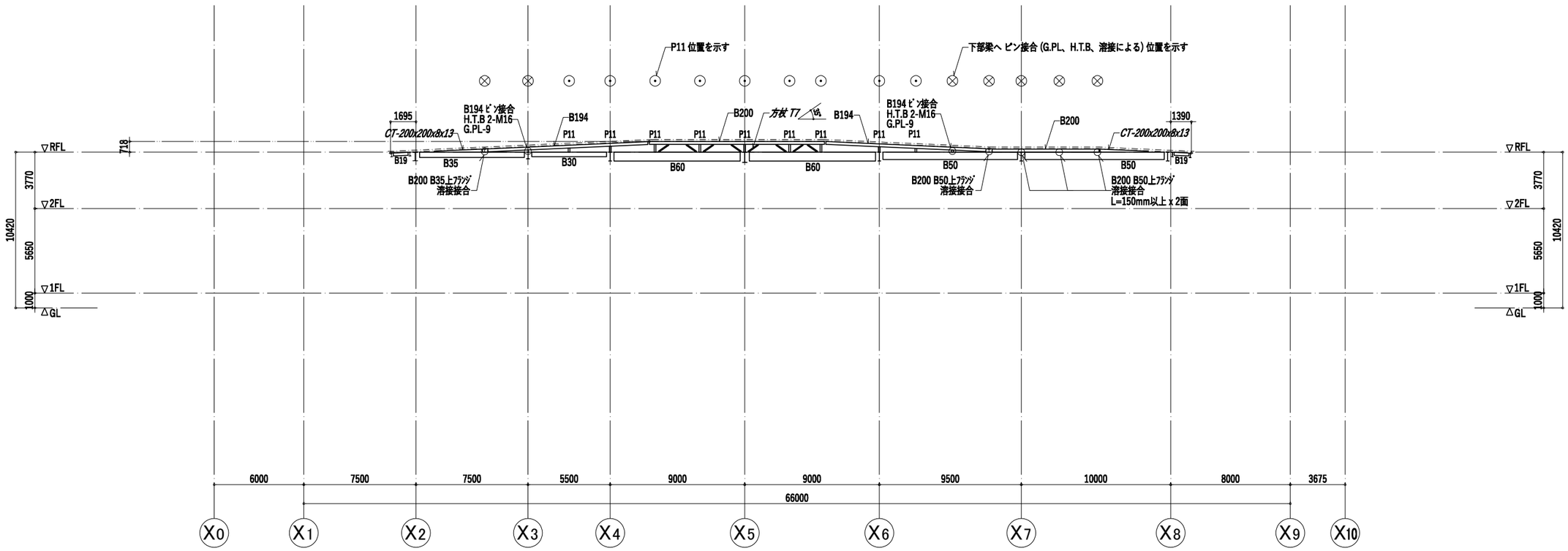


Y3 通　軸組図

■備考	工事名 (仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称 軸組図 (2)	SCALE A1：1/150 A3：1/300	DATE 2026.01	図面番号 S-22
		倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登		

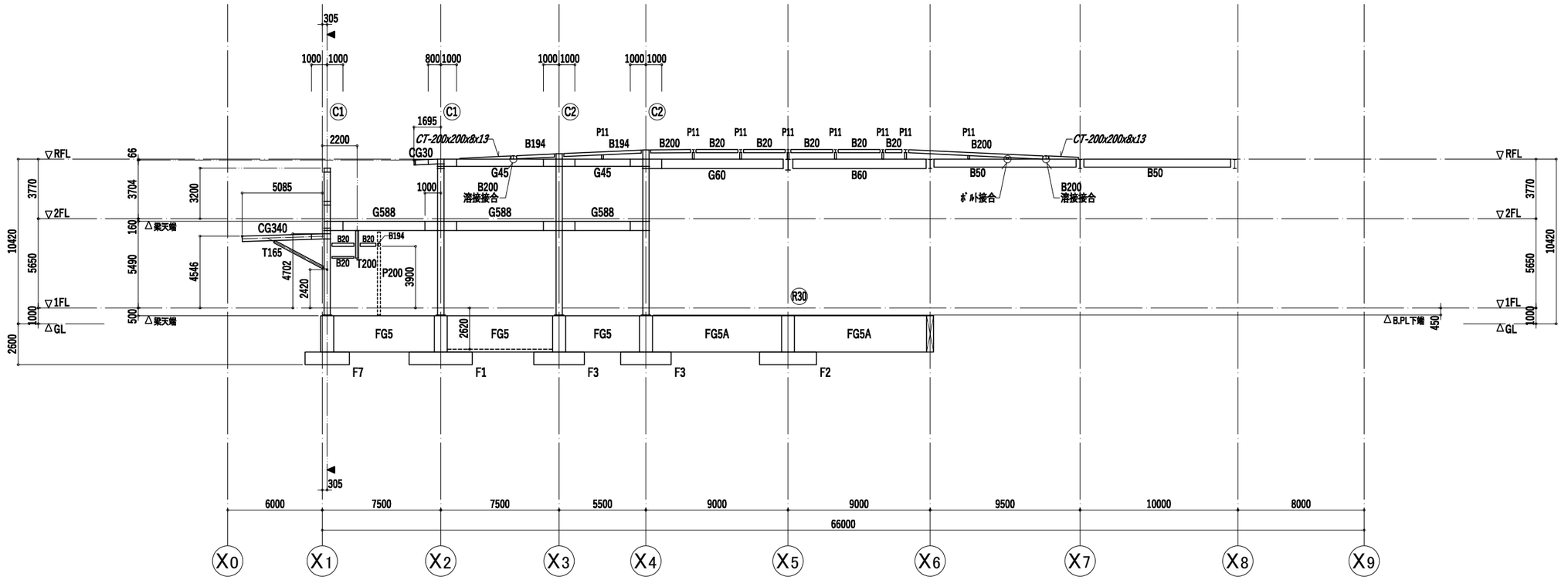


Y4 通　軸組図

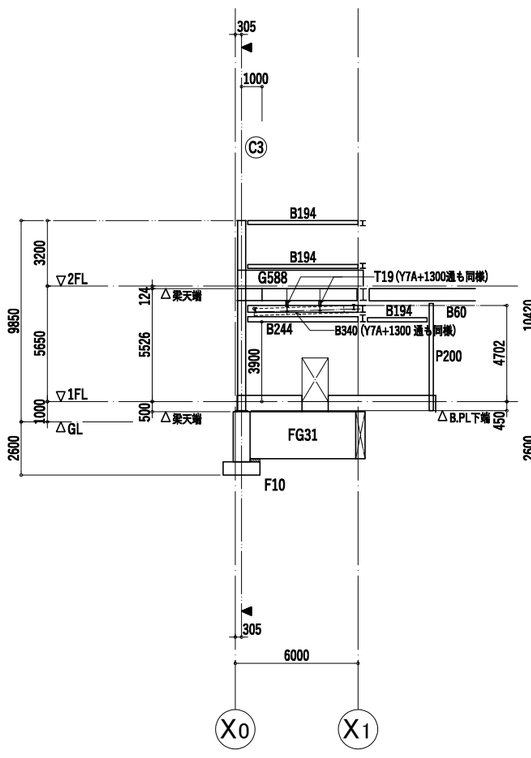


Y4A 通 (置屋根 棟 位置)　軸組図

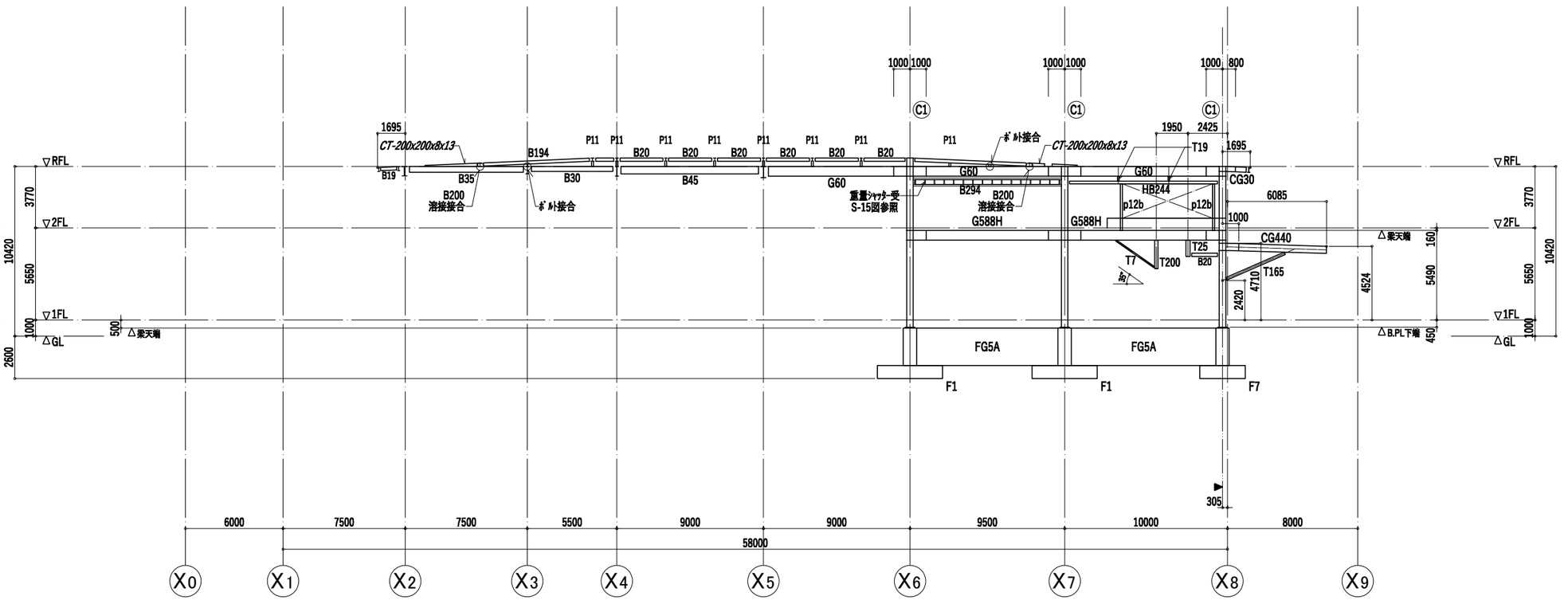
■備考	工事名 (仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称 軸組図 (3)	SCALE A1 : 1/150 A3 : 1/300	DATE 2026. 01
		倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL (0263) 26-6765 FAX (0263) 28-6765 知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	図面番号 S－23



Y5 通　軸組図

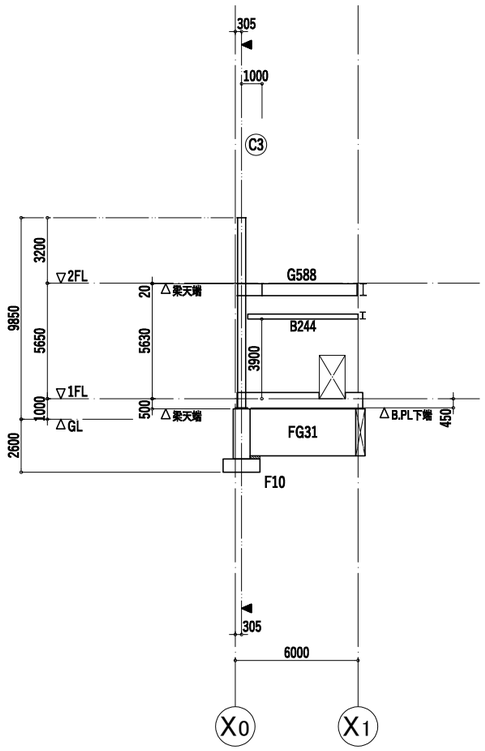


Y6A 通　軸組図

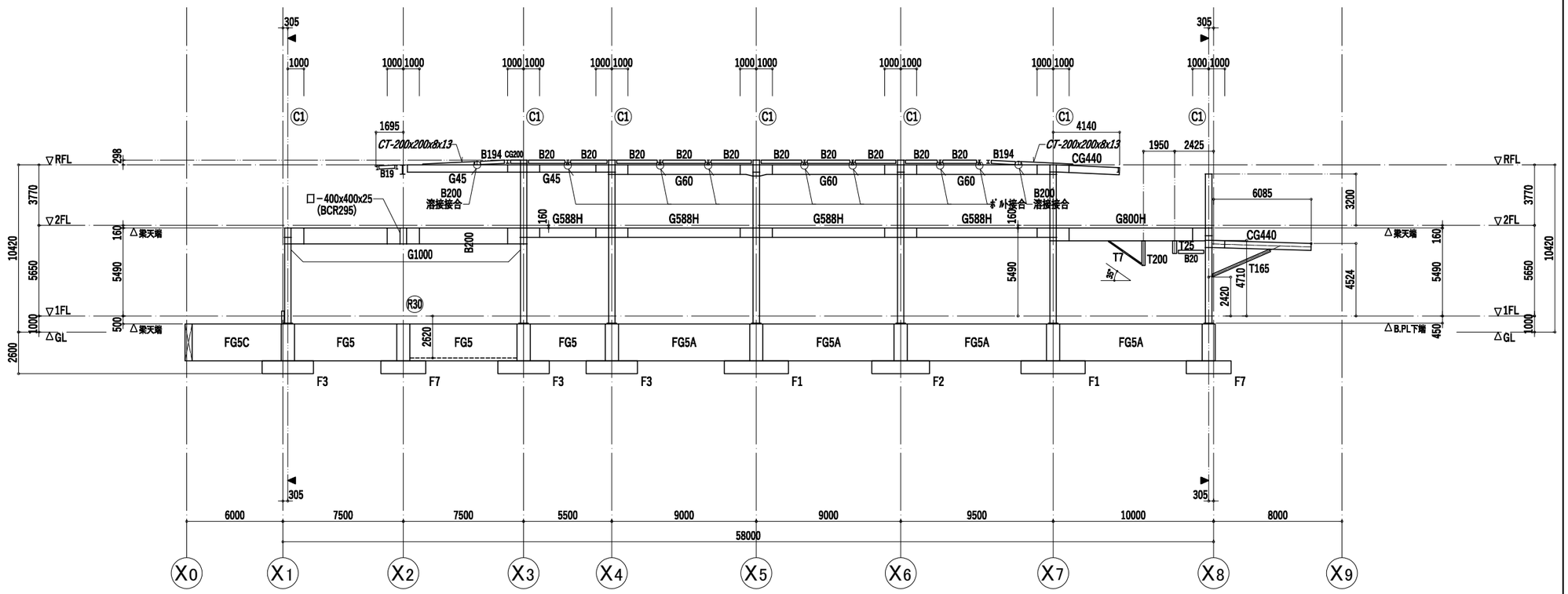


Y6 通　軸組図

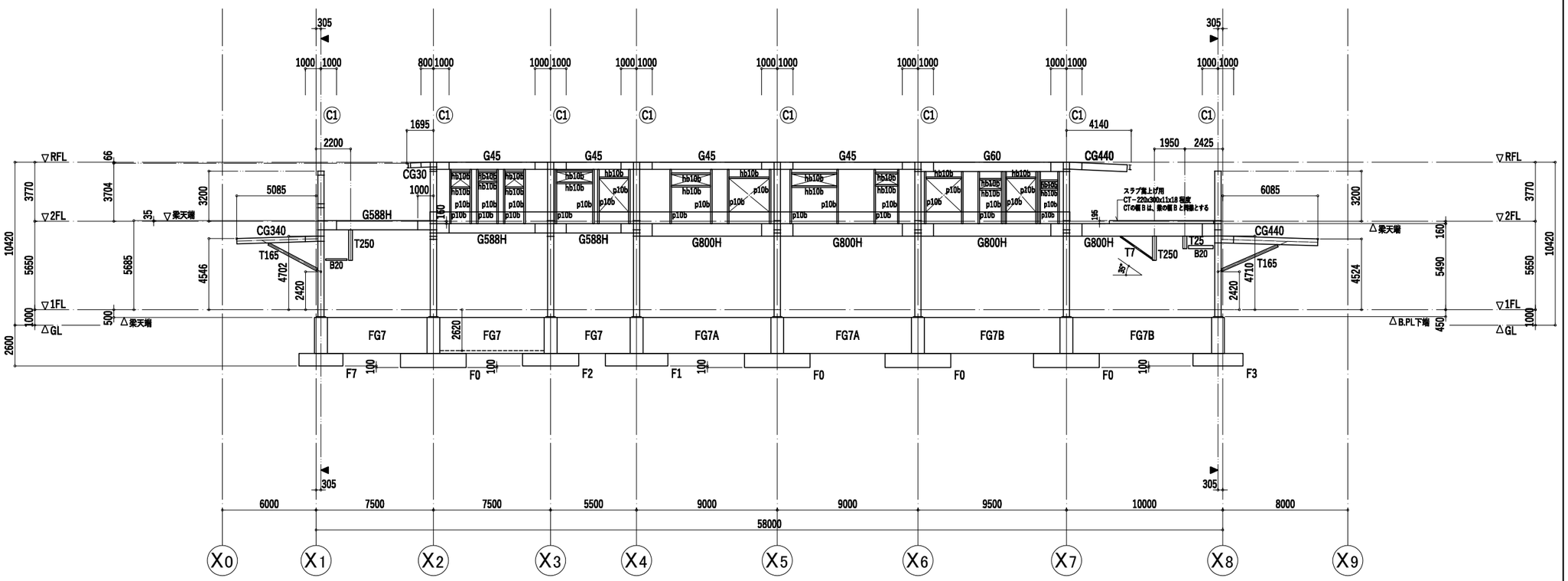
■備考	工事名 (仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称 軸組図 (4)	SCALE A1：1/150 A3：1/300	DATE 2026.01	図面番号 S-24
		倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL (0263) 26-6765 FAX (0263) 28-6765 知事登録番号 (松本) 付第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登		



Y7A 通　軸組図



Y7 通　軸組図



Y8 通　軸組図

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

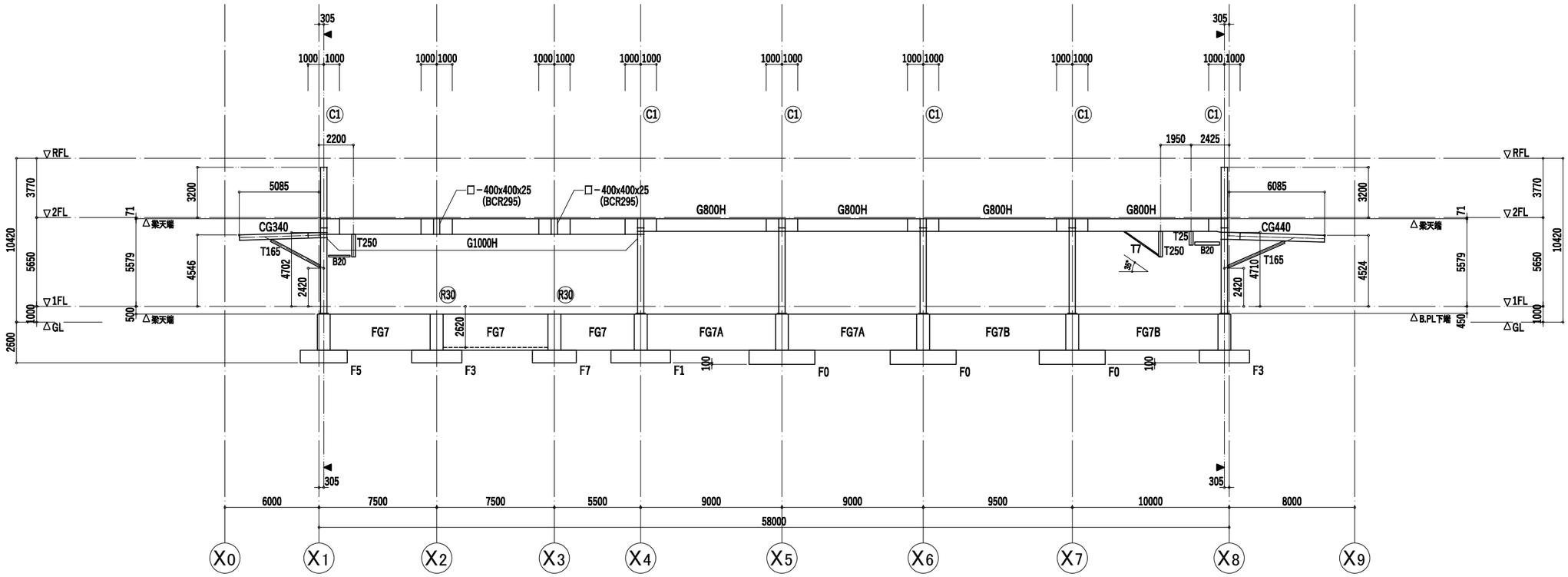
図面名称
軸組図 (5)

SCALE
A1 : 1/150
A3 : 1/300

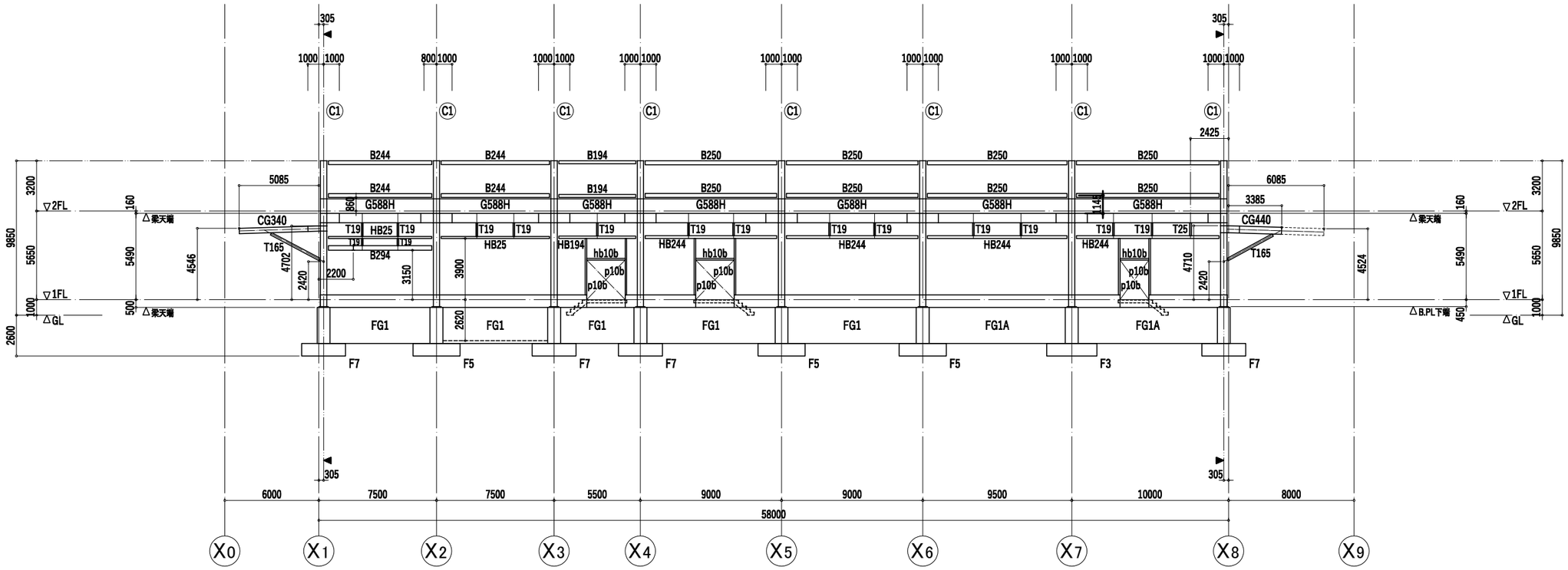
DATE
2026. 01

図面番号
S−25

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1−1−30　TEL (0263) 26−6765　FAX (0263) 28−6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



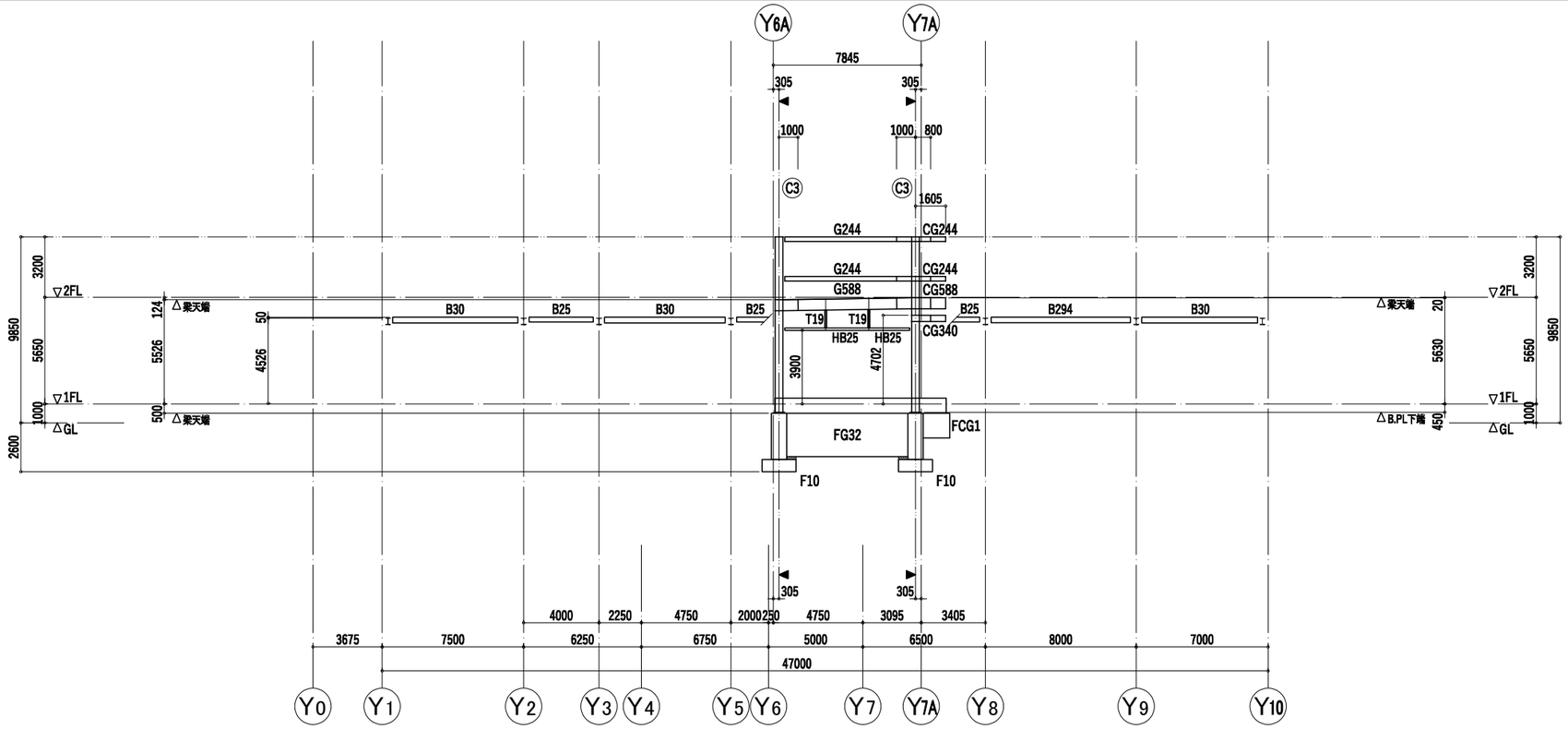
Y9 通　軸組図



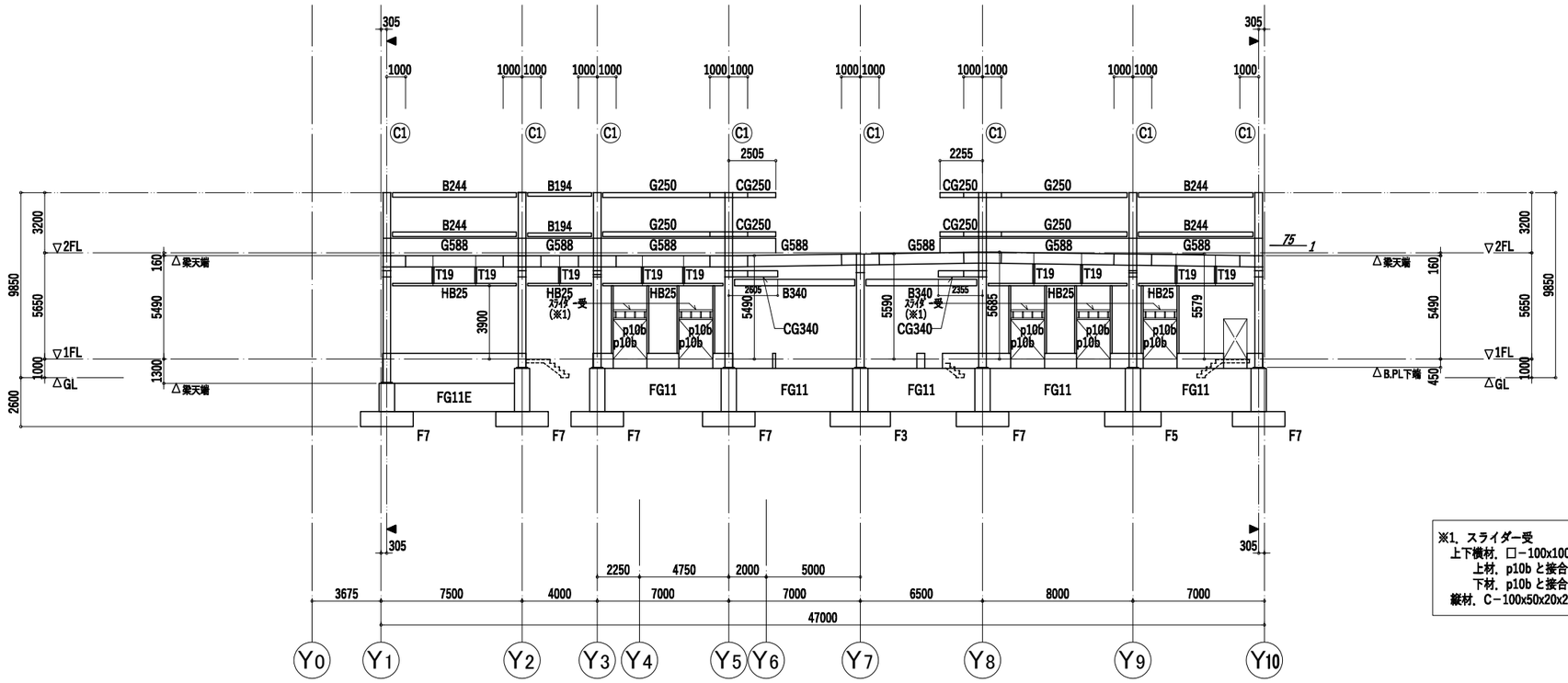
Y10 通　軸組図

■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	軸組図 (6)	A1 : 1/150 A3 : 1/300	2026. 01	S-26
		倉橋・県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765 知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登		

Y方向 フレーム



X0 通　軸組図



※1. スライダー受
上下横材. □−100x100x3.2
上材. p10b と接合
下材. p10b と接合
縦材. C−100x50x20x2.3 @600

X1 通　軸組図

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

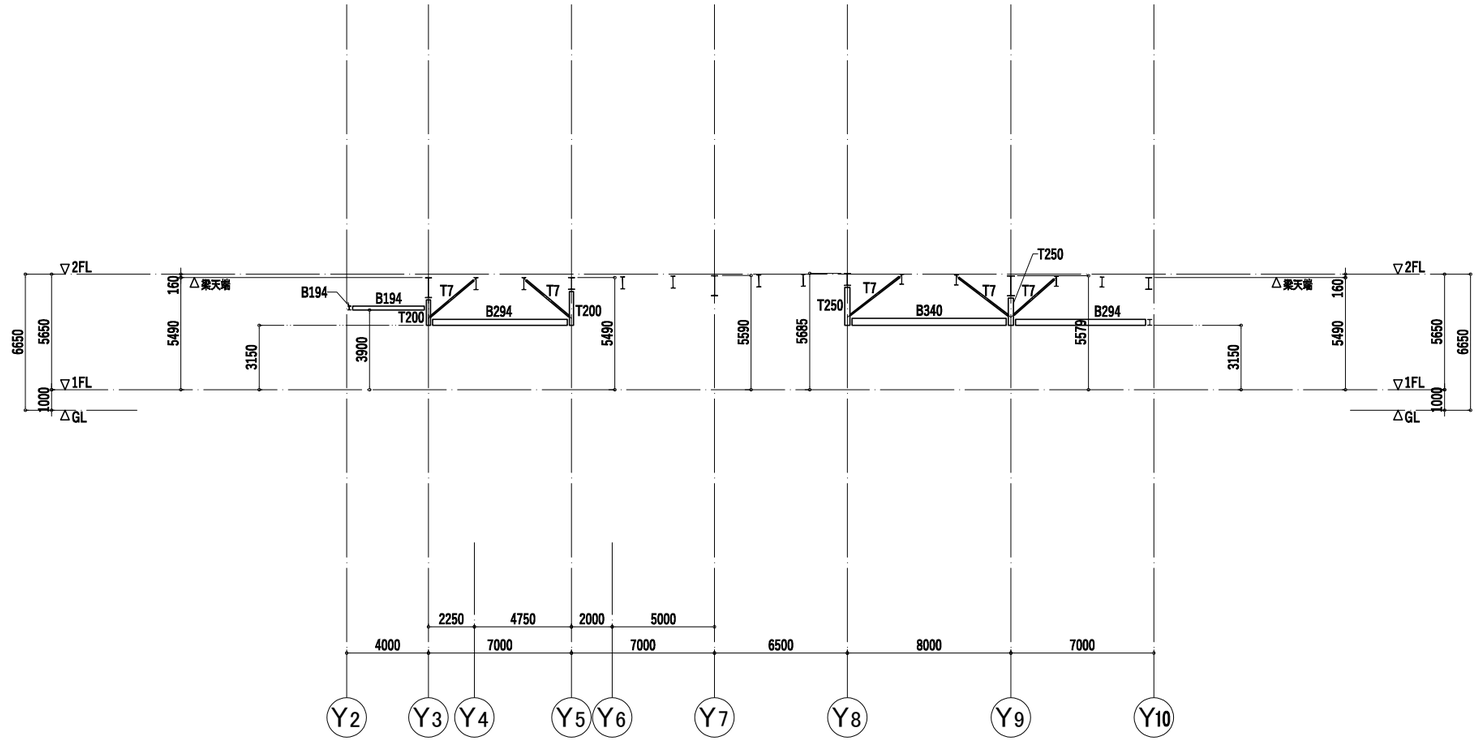
図面名称
軸組図 (7)

SCALE
A1 : 1/150
A3 : 1/300

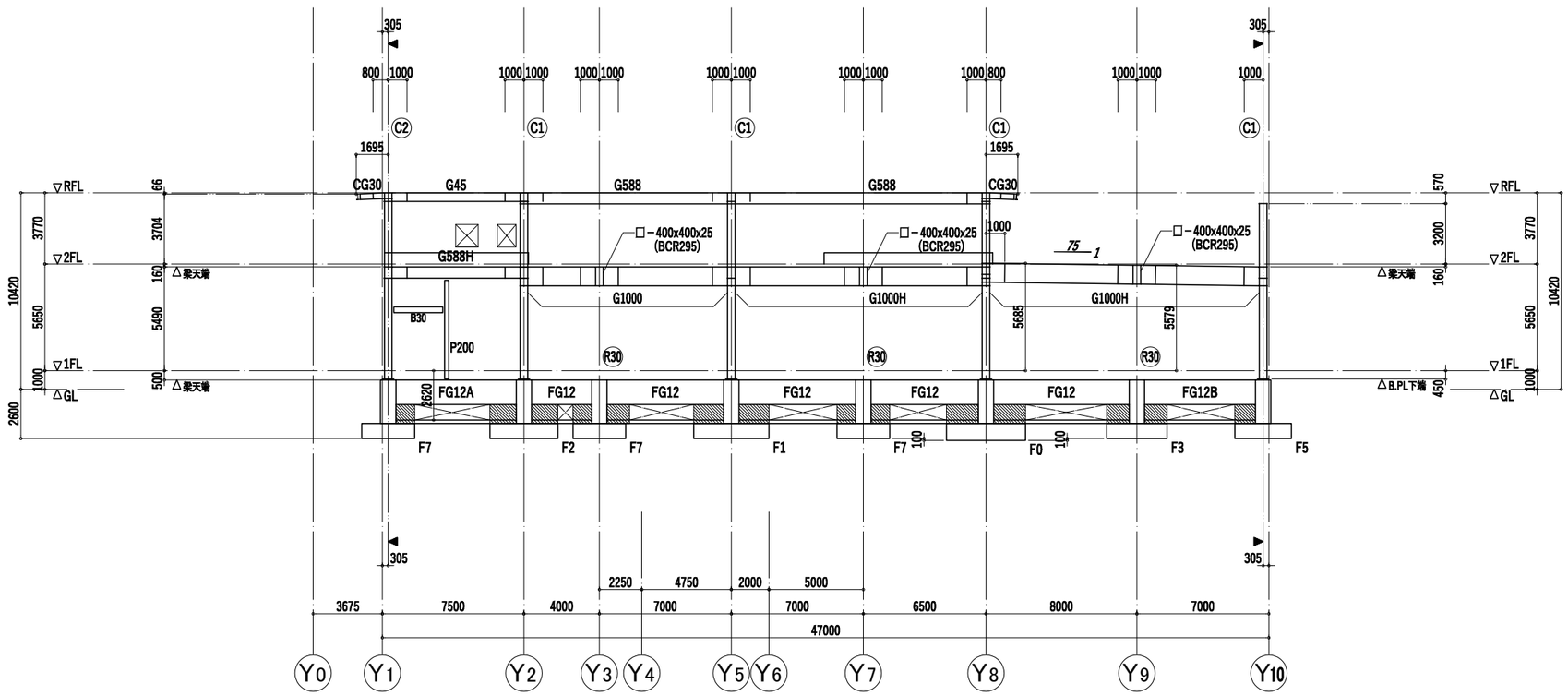
DATE
2026. 01

図面番号
S−27

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1−1−30　TEL (0263) 26−6765　FAX (0263) 28−6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



X1+2200 通　軸組図



X2 通　軸組図

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

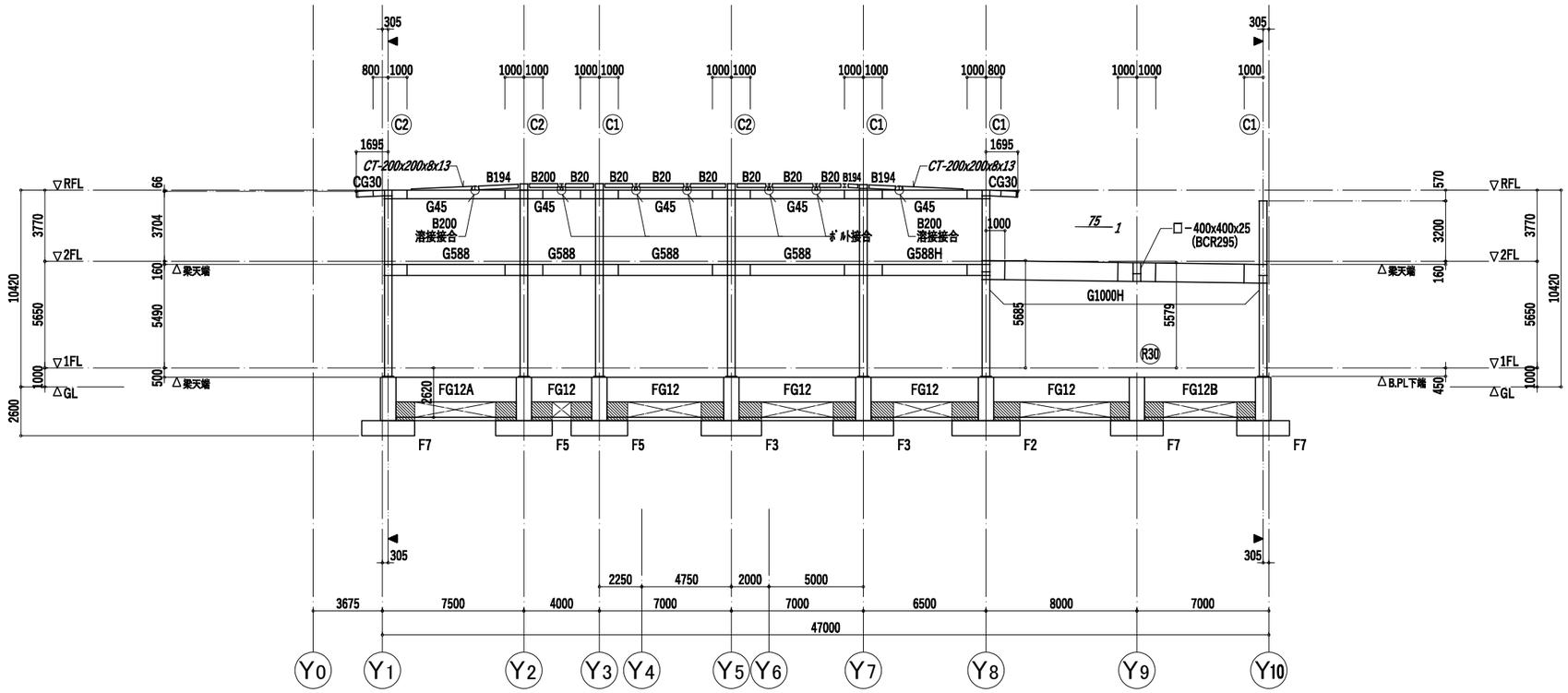
図面名称
軸組図 (8)

SCALE
A1 : 1/150
A3 : 1/300

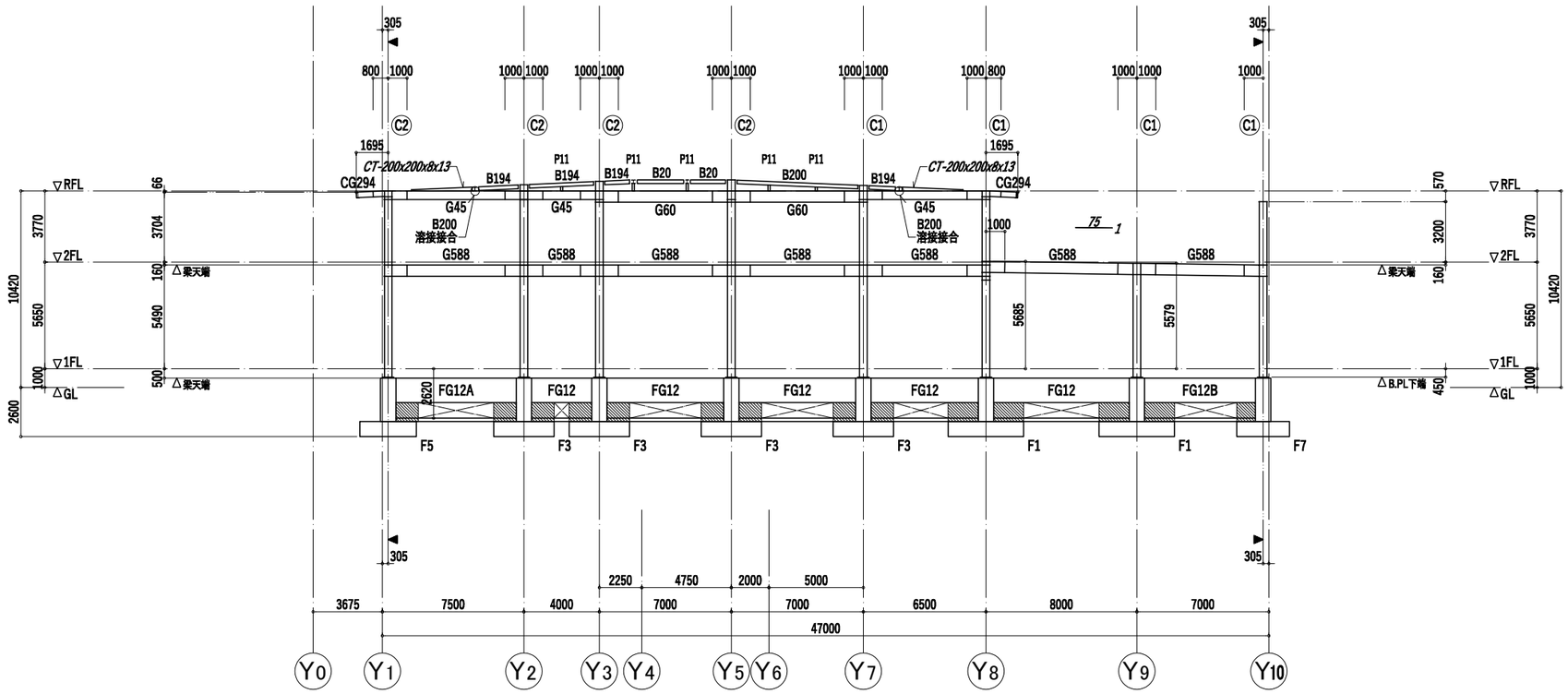
DATE
2026. 01

図面番号
S-28

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



X3 通　軸組図



X4 通　軸組図

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

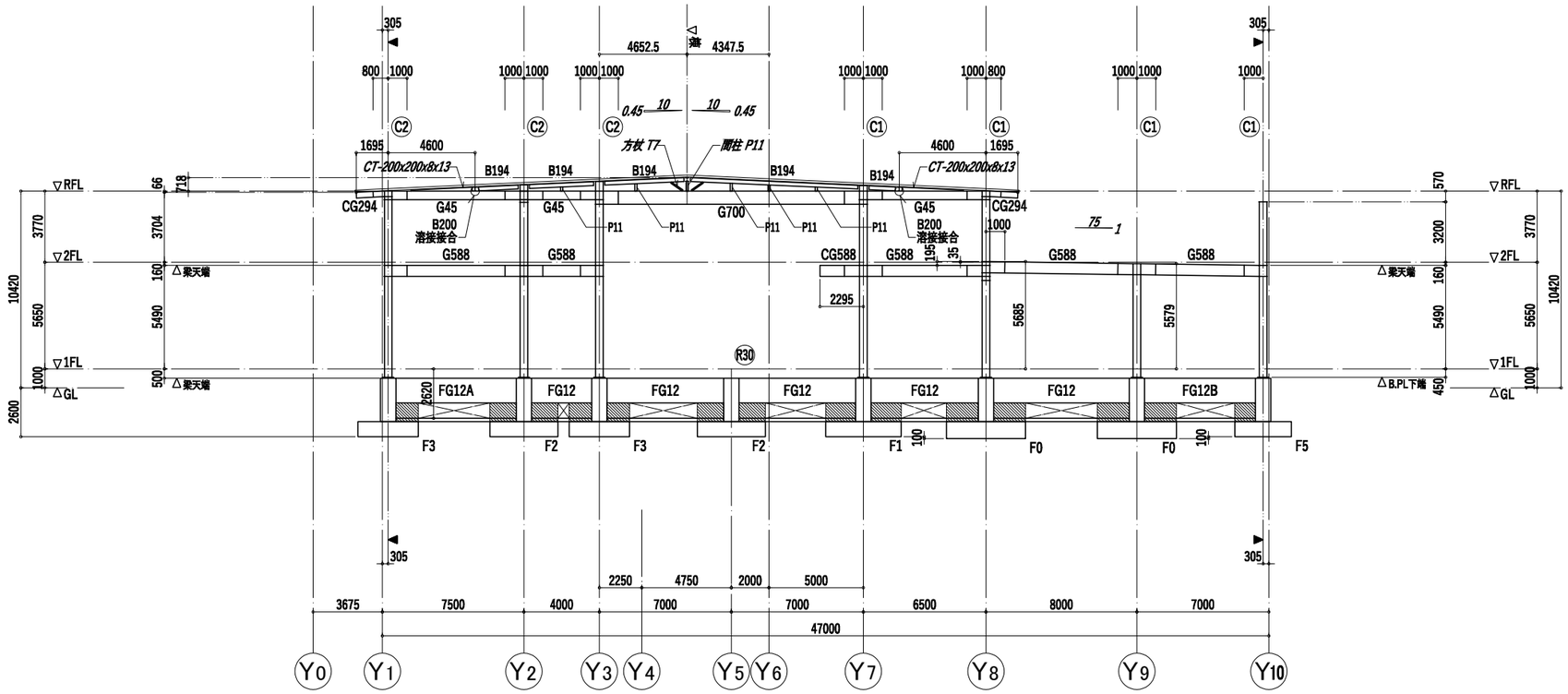
図面名称
軸組図 (9)

SCALE
A1 : 1/150
A3 : 1/300

DATE
2026.01

図面番号
S-29

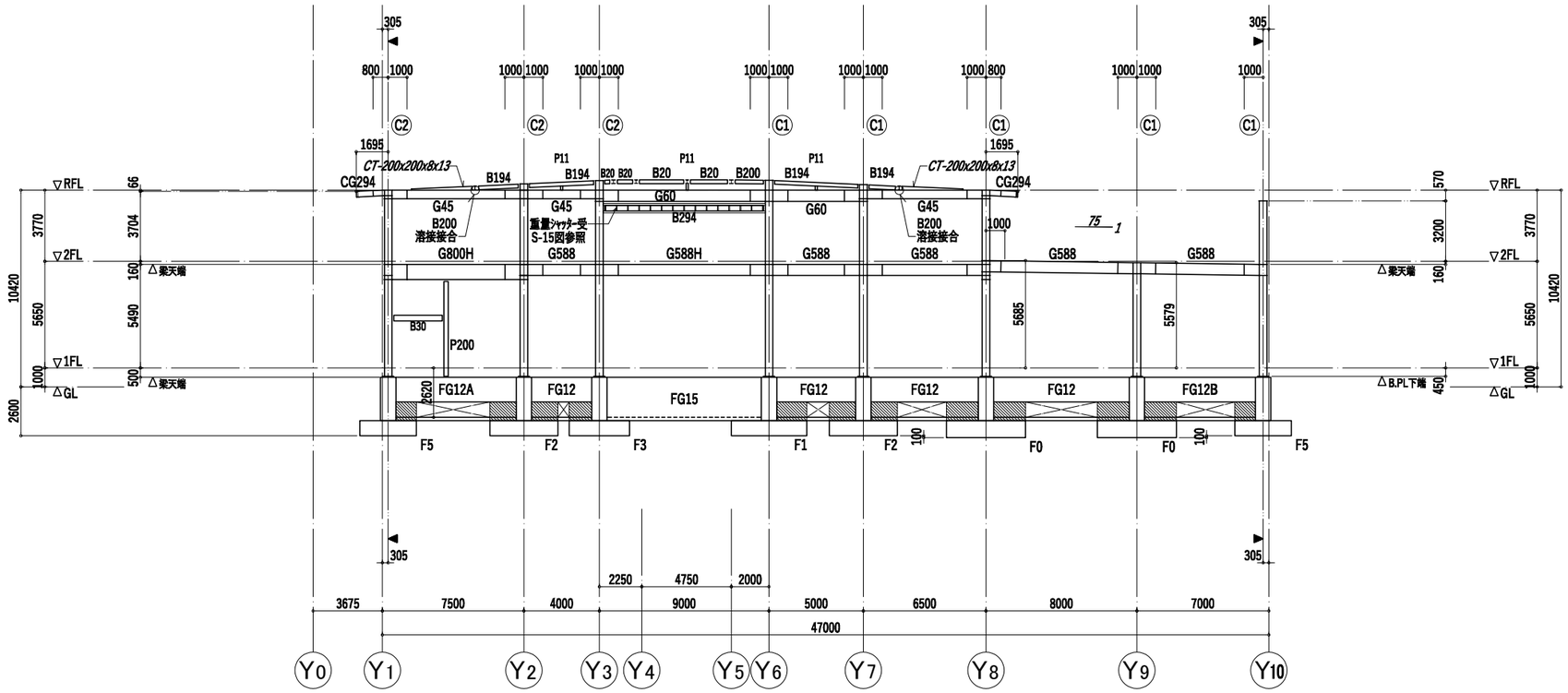
倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登



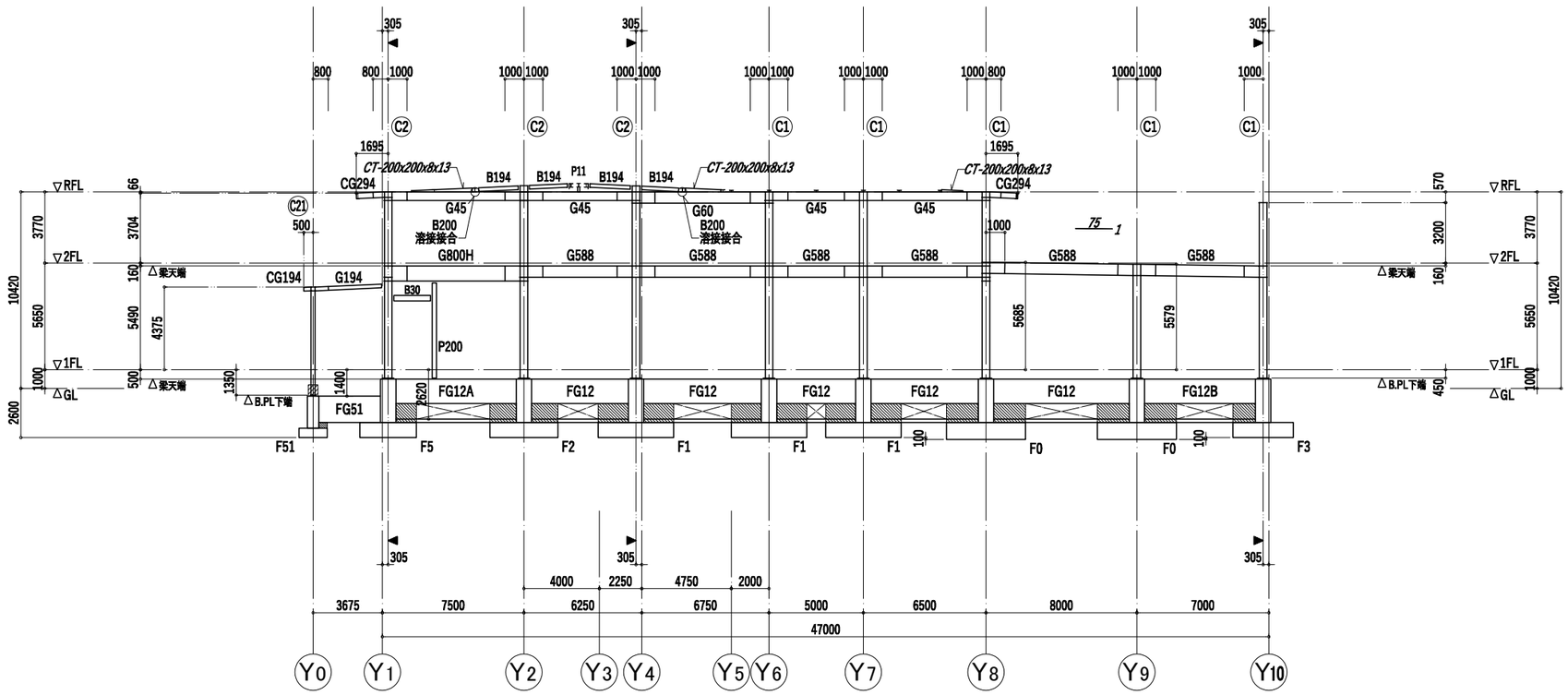
X5通　軸組図

■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	軸組図（１０）	A1：1/150 A3：1/300	2026.01	S−30
		倉橋･県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登		

DRAWING
一級建築士登録　構造設計一級建築士
第273032号 矢作信明 第8121号
氏 名 印 登

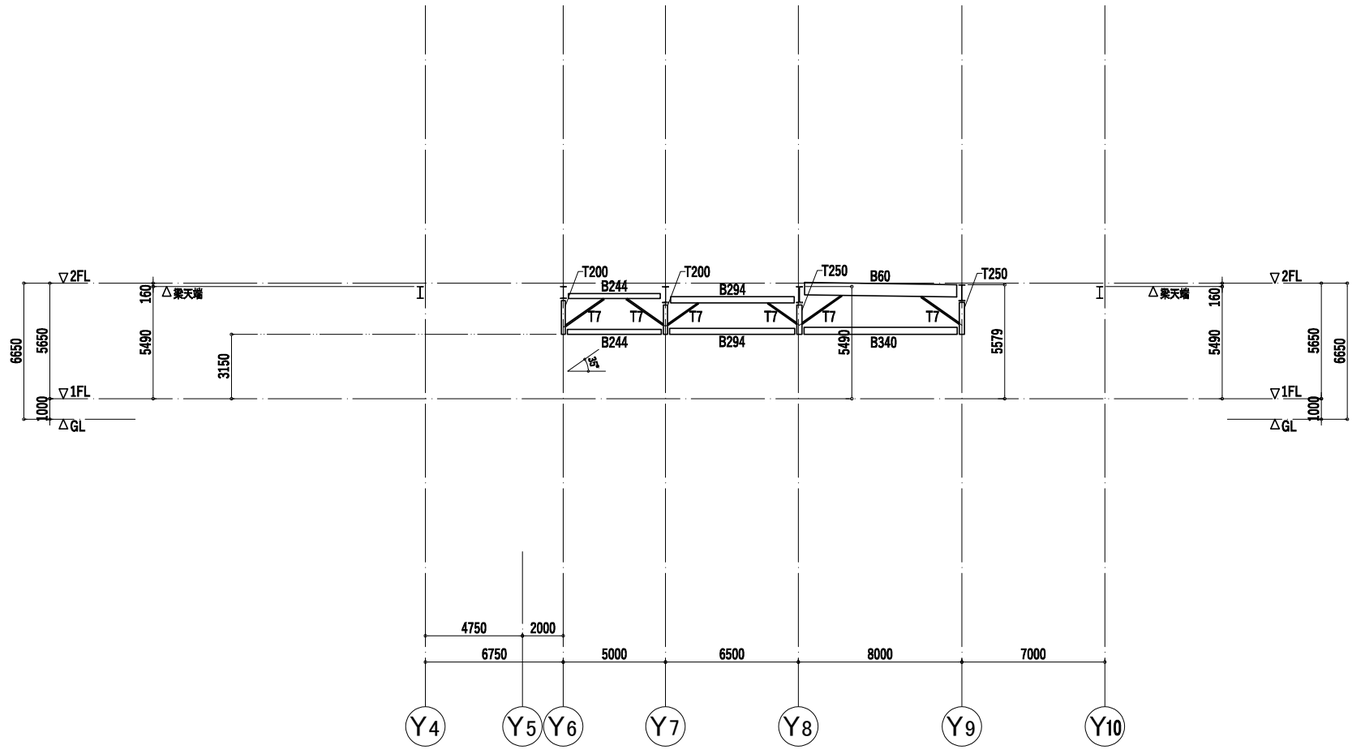


X6 通　軸組図

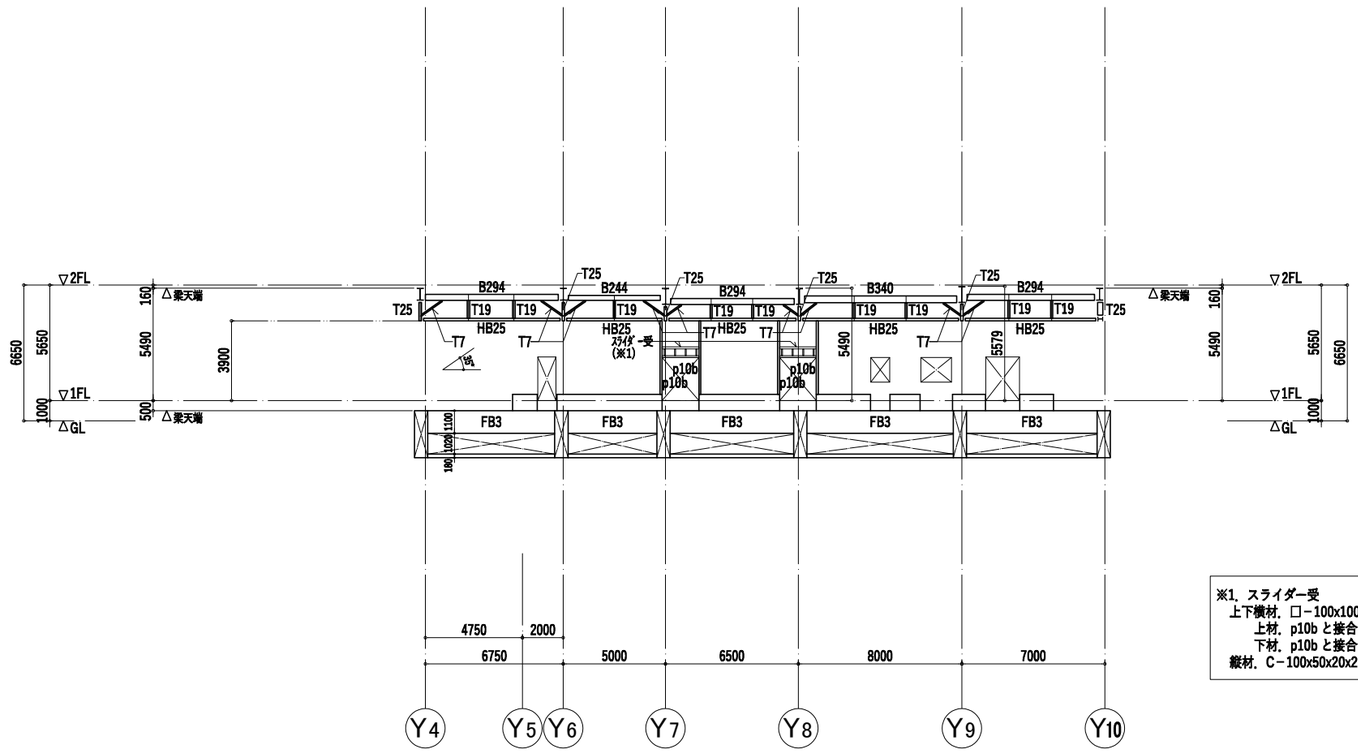


X7 通　軸組図

■備考	工事名	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称	軸組図（１１）	SCALE A1：1/150 A3：1/300
					DATE 2026. 01
			倉橋･県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	図面番号 S－31



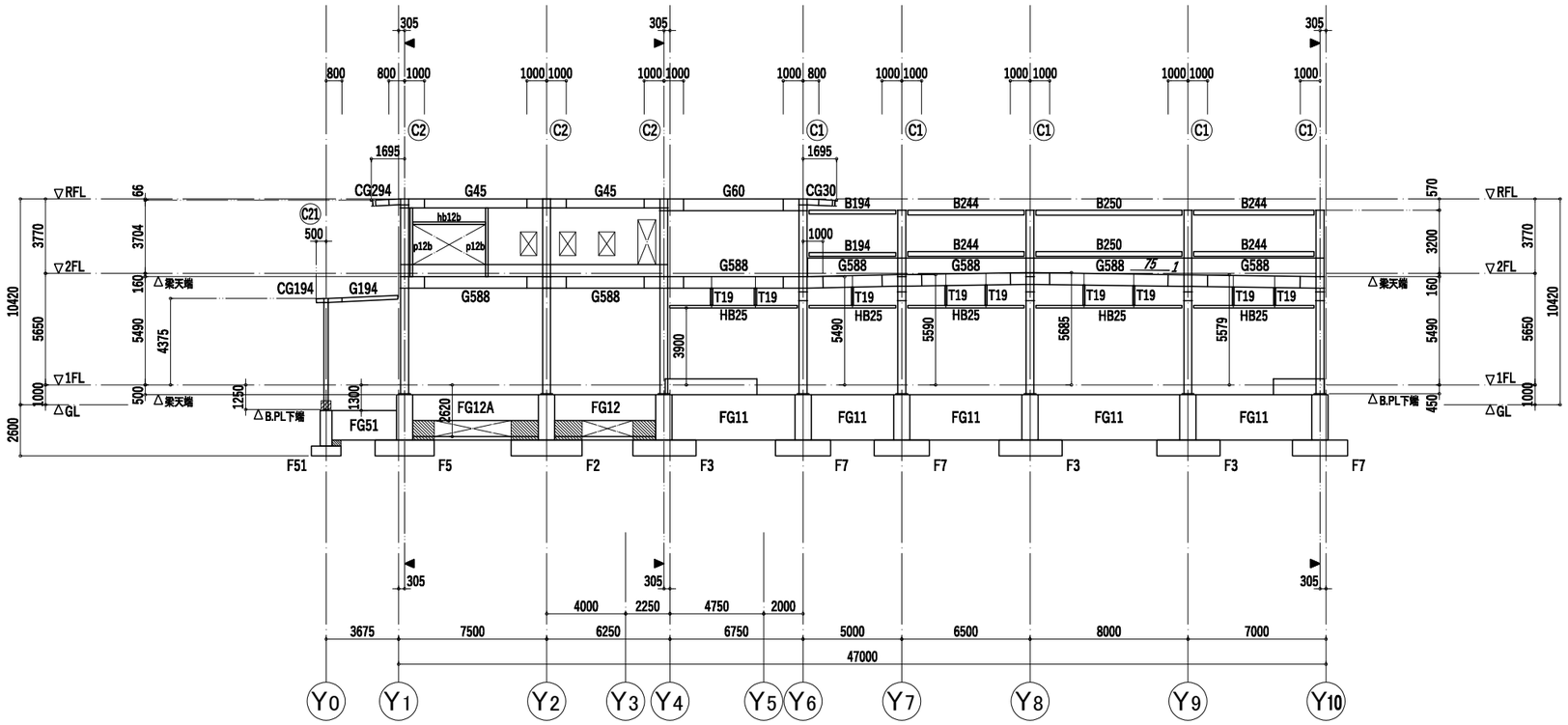
X8－4375 通　軸組図



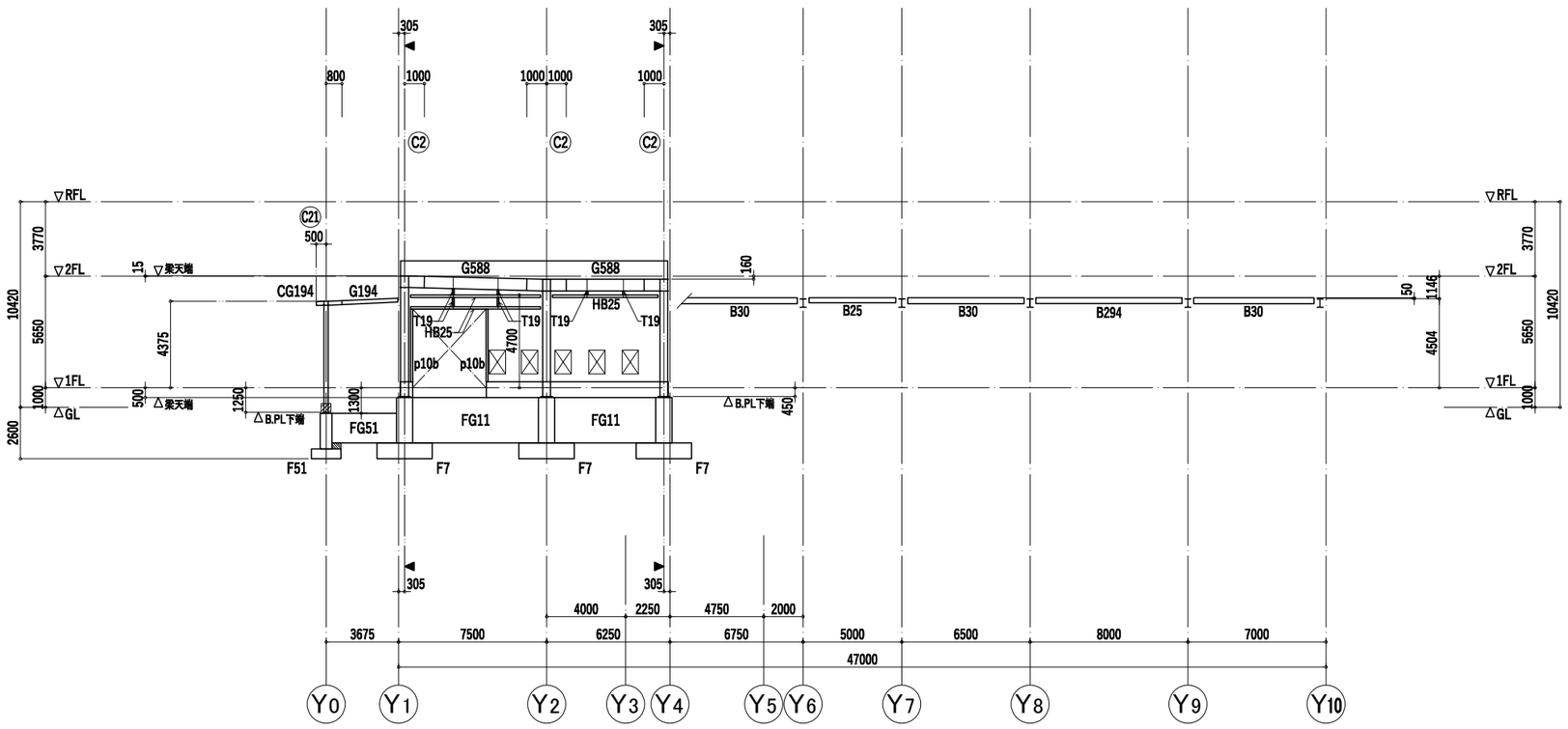
※1．スライダー受
上下横材．□－100x100x3.2
上材．p10b と接合
下材．p10b と接合
縦材．C－100x50x20x2.3 @600

X8－2425 通　軸組図

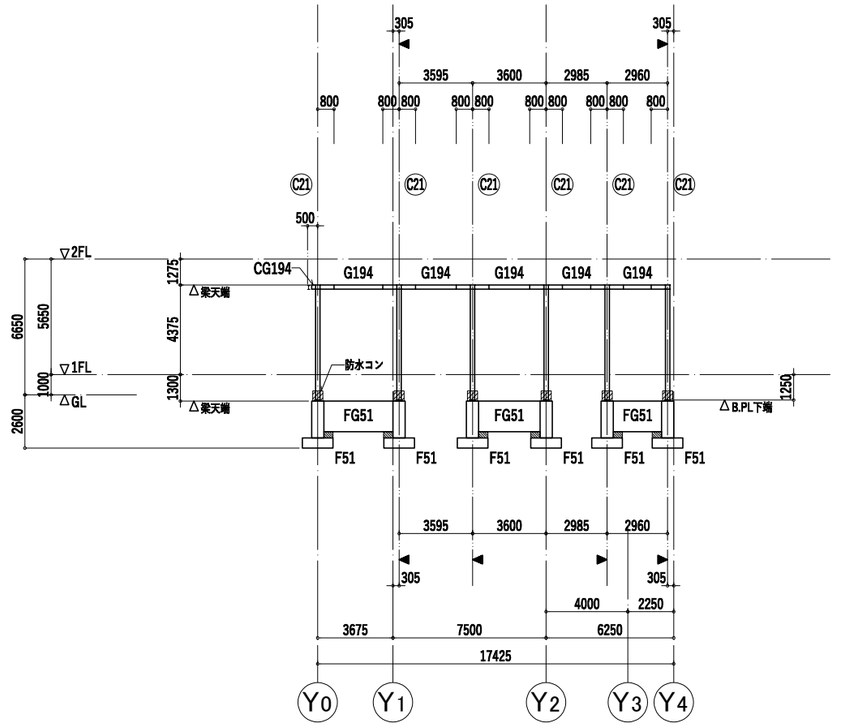
■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	軸組図（１２）	A1：1/150 A3：1/300	2026.01	S－32
		倉橋･県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登		



X8 通　軸組図



X9 通　軸組図



X10 通　軸組図

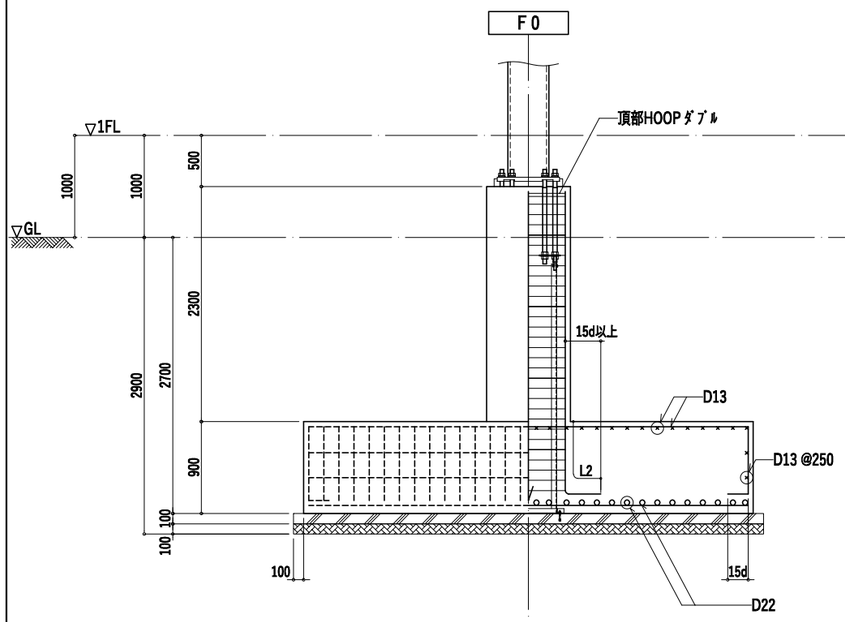
■備考	工事名 (仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	図面名称 軸組図（１３）	SCALE A1：1/150 A3：1/300	DATE 2026.01
		倉橋･県建築設計共同企業体	長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	図面番号 S-33

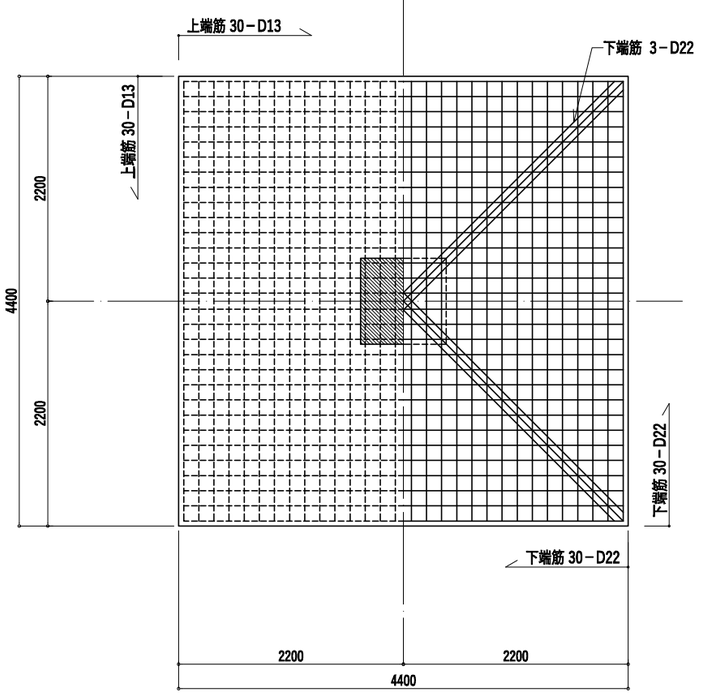
基礎　リスト（1）

特記事項

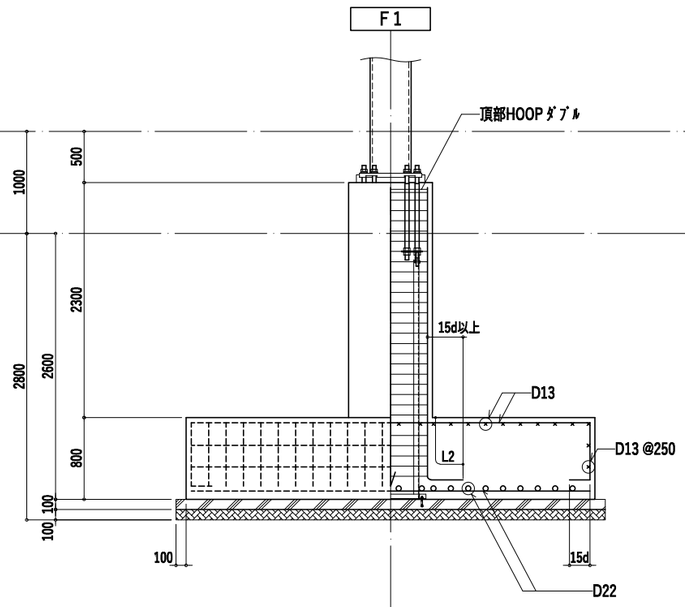
1. 基礎支持層は、玉石混り砂礫層 とする。
   設計用長期許容支持力度　fe= 300 kN/m2
2. 基礎工事前に試掘掘りを行い、砂礫層の深度を確認する。
   基礎下端は、砂礫層表層から 200mm 以深とする。
   基礎下端が砂礫層に届かない場合は、基礎下にﾗｯﾌﾟﾙｺﾝｸﾘｰﾄ (Fc 18 N/mm2)を設ける。

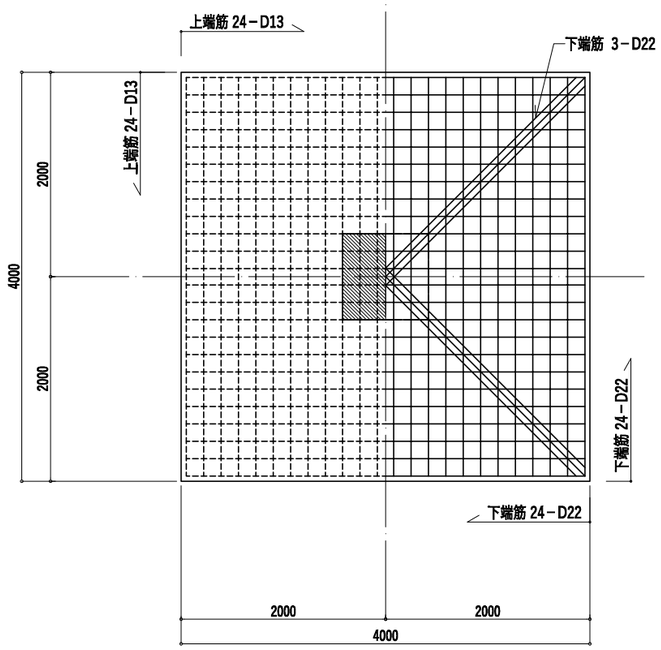
F0



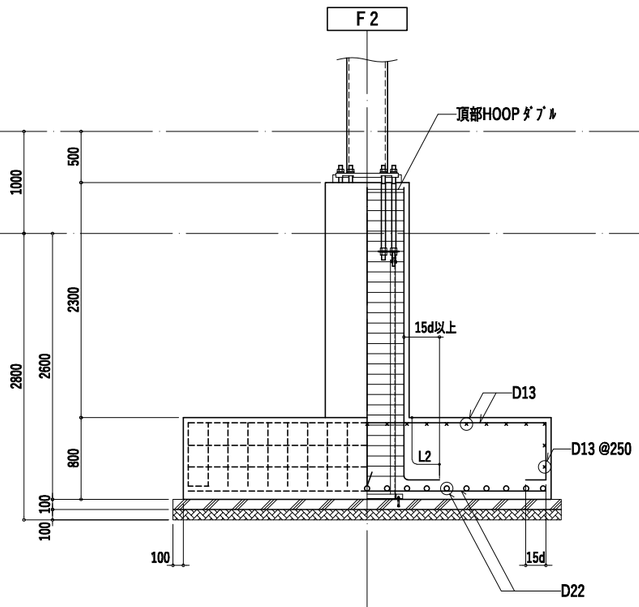


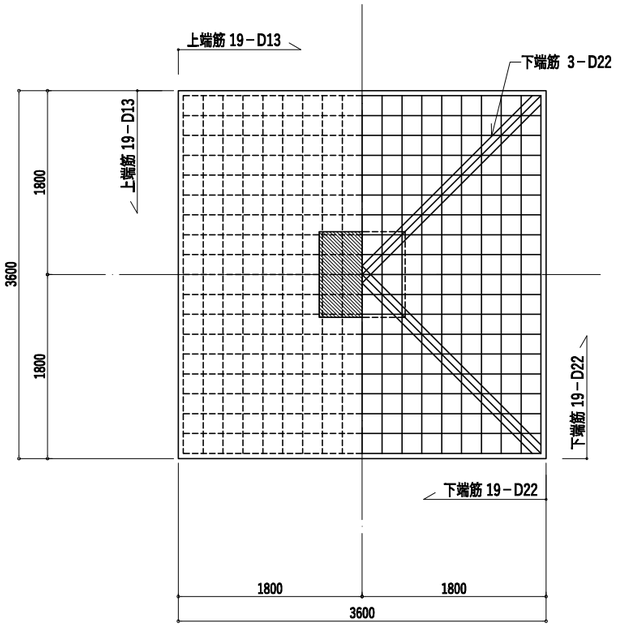
F1





F2

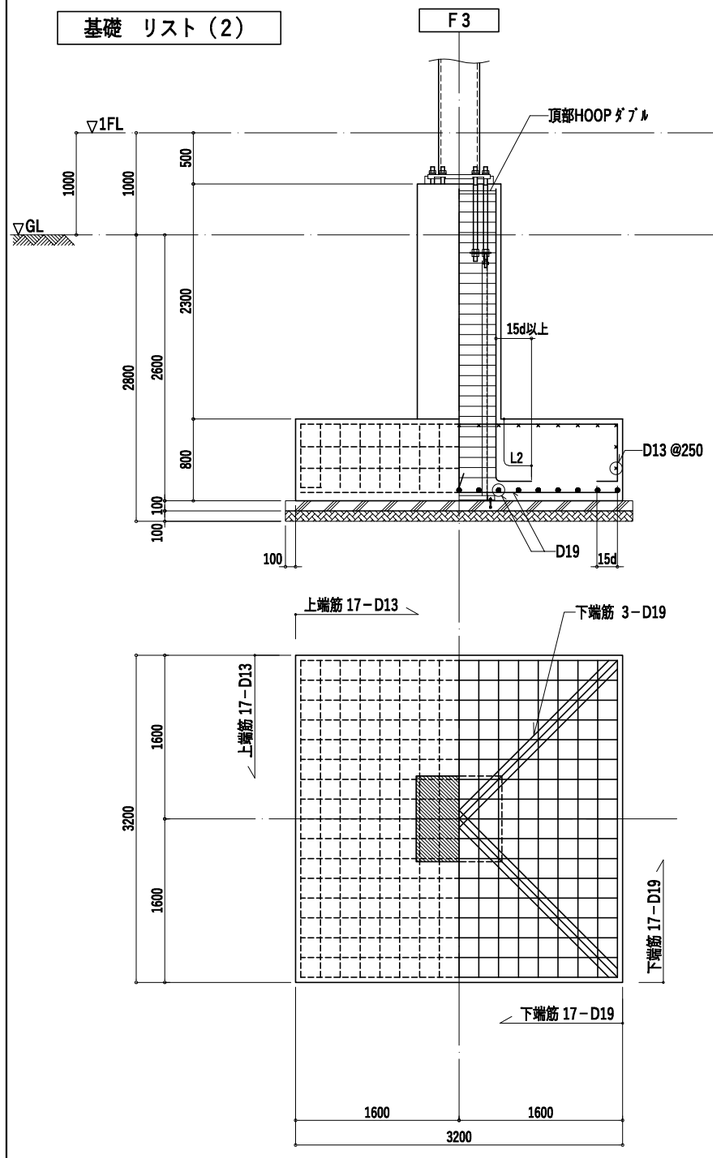


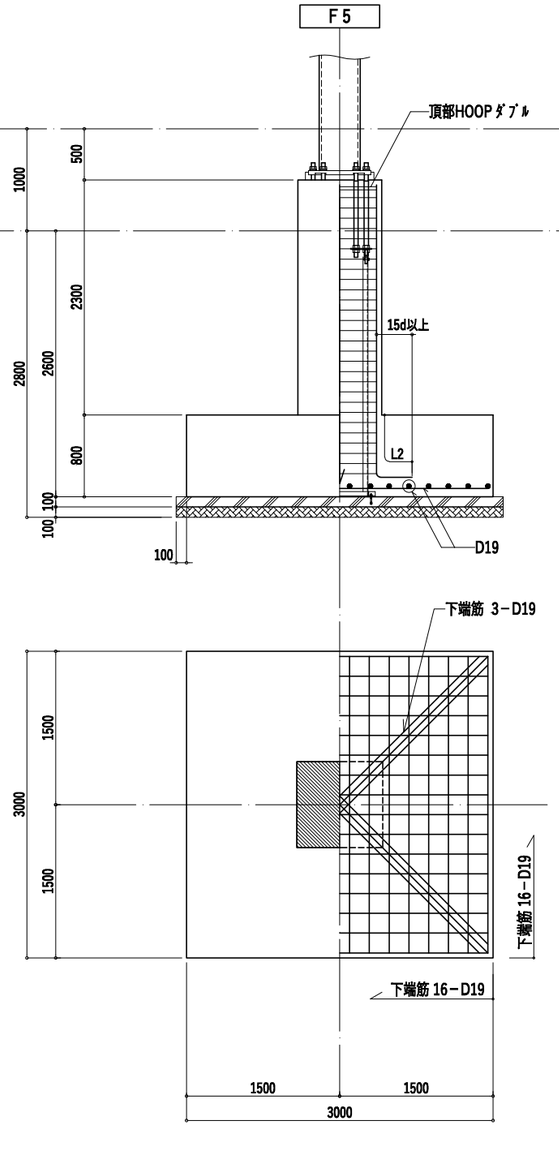


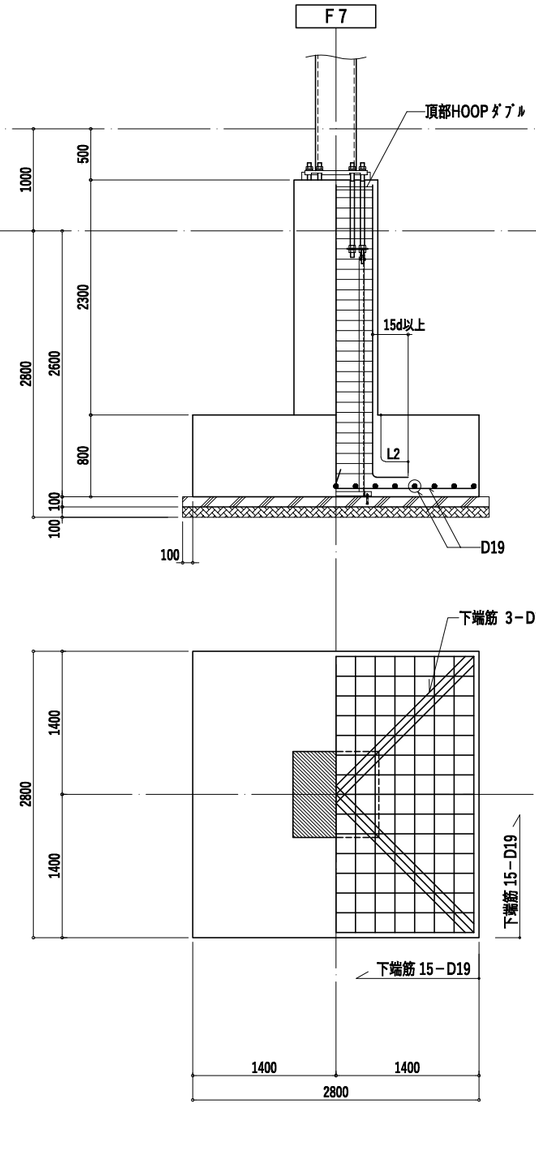
■備考	工事名	図面名称	SCALE	図面番号
	（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	基礎　リスト（1）	A1：1/30 A3：1/60	S－34
		倉橋･県建築設計共同企業体	DATE 2026. 01	

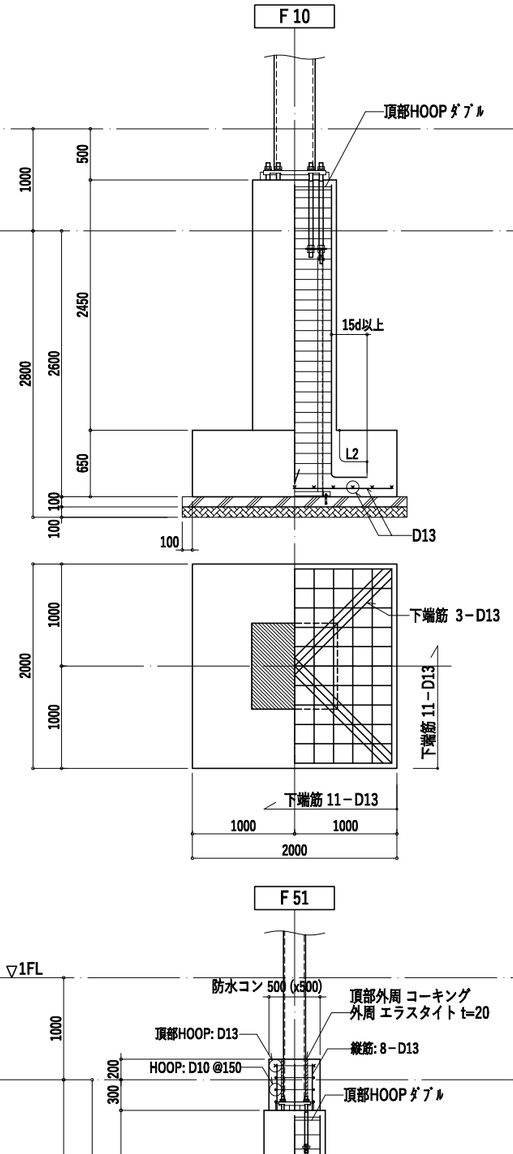
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

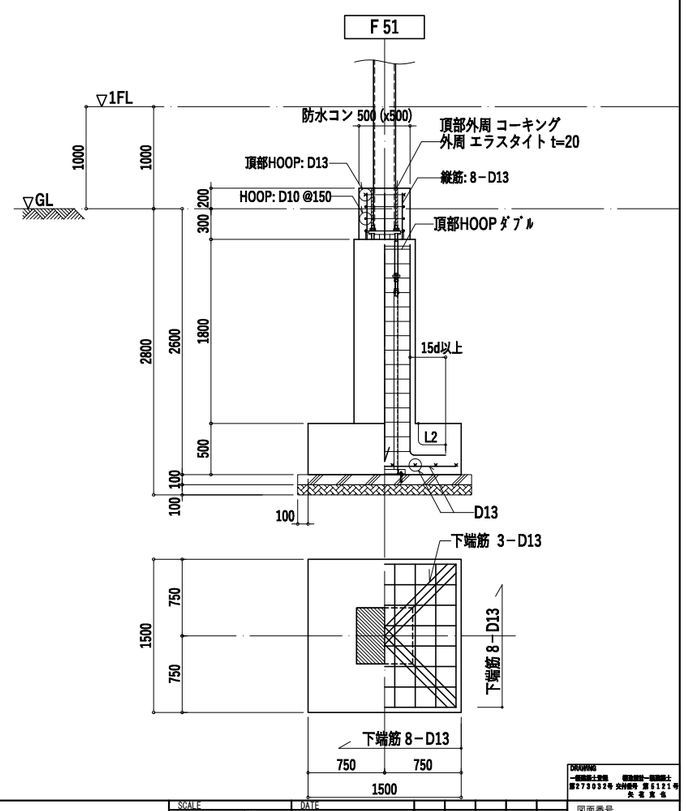
基礎　リスト（2）



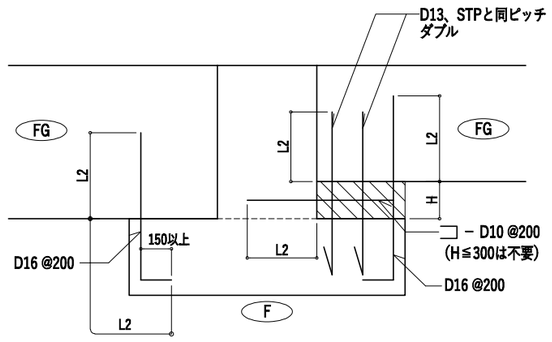








基礎フーチングと基礎梁との接合補強　no scale



■備考	工事名	図面名称	SCALE	図面番号
	（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	基礎　リスト（2）	A1：1/30 A3：1/60	S－35
		倉橋・県建築設計共同企業体	DATE 2026. 01	

長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

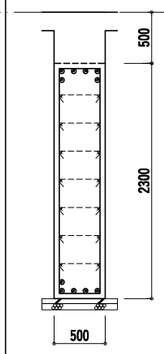
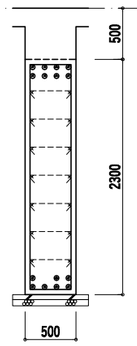
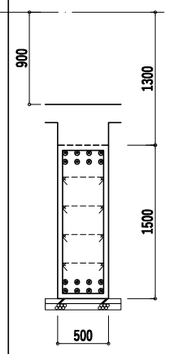
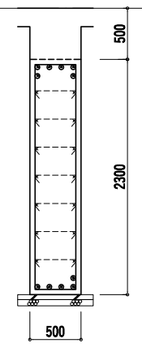
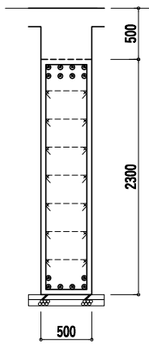
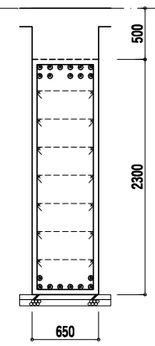
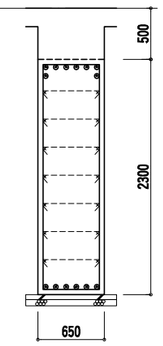
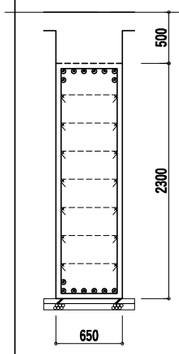
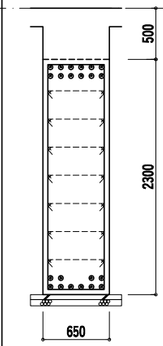
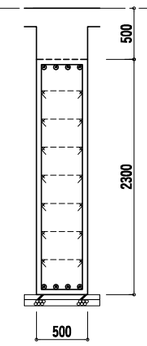
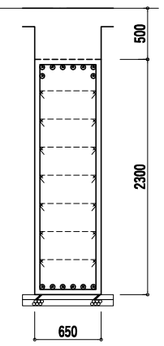
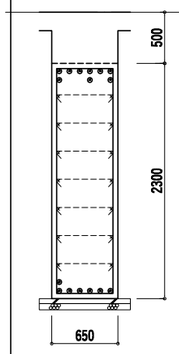
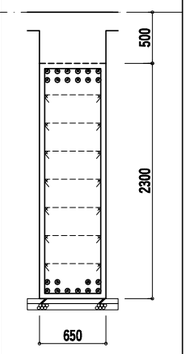
基礎梁　リスト

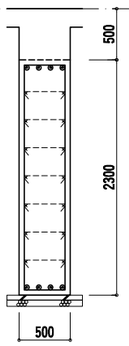
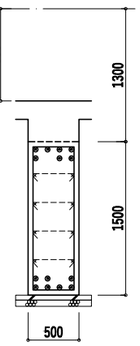
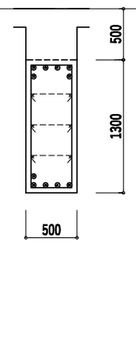
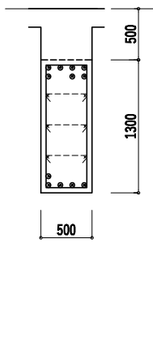
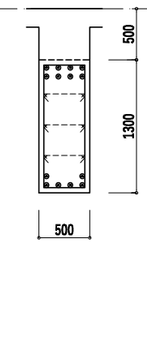
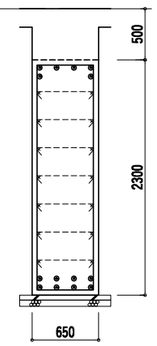
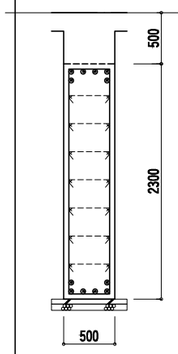
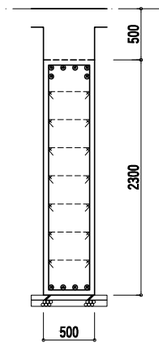
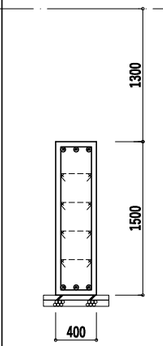
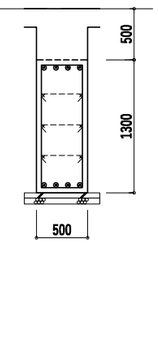
特記事項　1. 幅止め筋：D10 @1,000

~~2. < >内は柱型面からの定着長を示す 特記なきは配筋標準図よる~~

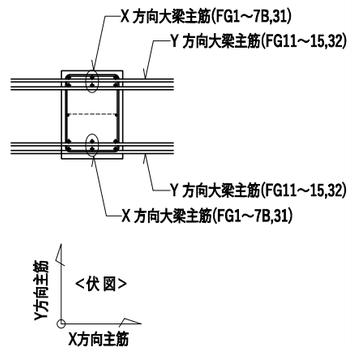
3. 梁貫通孔補強は 既製品（ダイヤレンＮＳ工法）とする

4. 梁下 捨てコンｔ＝50、砕石ｔ＝60 ~~（ピット位置別紙参照）~~

符　号	FG 1	FG 1A	FG 1E	FG 2	FG 2A	FG 3	FG 3A	FG 5	FG 5A	FG 5C	FG 7	FG 7A	FG 7B
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▽1FL 1F階													
上端筋	4+2－D25	4+4－D25	4+4－D25	4+2－D25	4+4－D25	6+5－D25	6+2－D25	6+2－D25	6+6－D25	4－D25	6+2－D25	6+3－D25	6+6－D25
下端筋	4+1－D25	4+3－D25	4+4－D25	4+1－D25	4+2－D25	6+2－D25	6－D25	6+1－D25	6+4－D25	4－D25	6－D25	6+1－D25	6+4－D25
あばら筋	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @150	□－D13 @150	□－D13 @150	□－D13 @150	□－D13 @200	□－D13 @150	□－D13 @150	□－D13 @150
腹　筋	14－D13	14－D13	8－D13	14－D13	14－D13	14－D13	14－D13	14－D13	14－D13	14－D13	14－D13	14－D13	14－D13

符　号	FG 11	FG 11E	FG 12	FG 12A	FG 12B	FG 15	FG 31	FG 32	FG 51	FCG 1
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
▽1FL 1F階										
上端筋	4－D25	4+3－D25	4+2－D25	4+3－D25	4+4－D25	4+2－D25	4+2－D25	4+2－D25	3－D25	4－D25
下端筋	4－D25	4+3－D25	4+1－D25	4+1－D25	4+2－D25	4+4－D25	4+2－D25	4－D25	3－D25	4－D25
あばら筋	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @150	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200	□－D13 @200
腹　筋	14－D13	8－D13	6－D13	6－D13	6－D13	14－D13	14－D13	14－D13	8－D13	6－D13

大梁主筋の配置

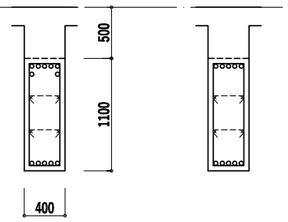
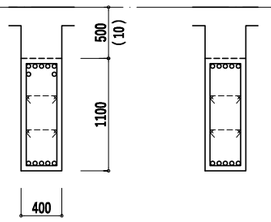
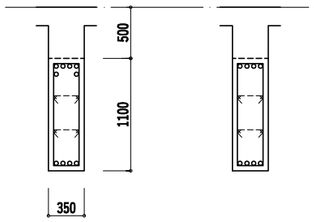
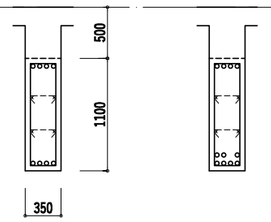
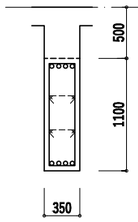
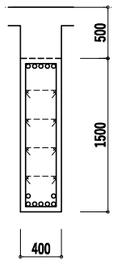
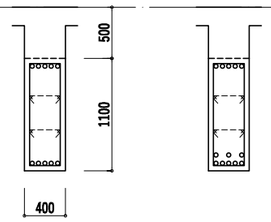
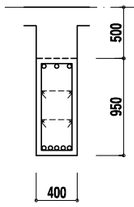


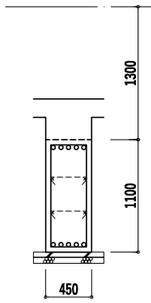
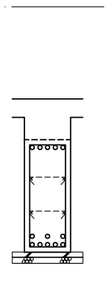
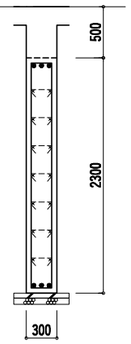
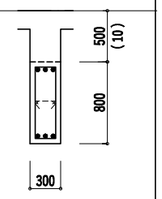
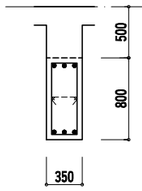
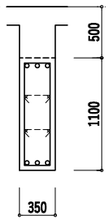
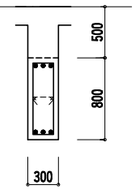
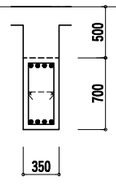
■備考	工事名	図面名称	SCALE	DATE	図面番号
	(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	基礎梁　リスト	A1：1/30 A3：1/60	2026. 01	S－36

倉橋･県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

基礎小梁　リスト

特記事項　1. 幅止め筋：D10 @1,000
2. 梁貫通孔補強は 既製品 とする
3. 梁下 捨てコン t =50、砕石 t =60 ~~(ピット位置別紙参照)~~

符 号	FB 1		FB 2 (FB 2A)		FB 3		FB 5		FB 7	FB 8	FB 9		FB 10
位 置	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	全断面	全断面	両 端	中 央	全断面
▽1FL													
1F階													
上端筋	5+2－D22	5－D22	5+2－D22	5－D22	4+2－D22	4－D22	4－D22	4－D22	4－D22	5－D22	5－D22	5－D22	3－D22
下端筋	5－D22	5－D22	5－D22	5－D22	4－D22	4－D22	4－D22	4+3－D22	4－D22	5+2－D22	5－D22	5+3－D22	5－D22
あばら筋	□－D13 @200		□－D13 @200		□－D10 @200		□－D10 @200		□－D10 @200	□－D13 @200	□－D13 @200		□－D13 @200
腹 筋	4－D13		4－D13		4－D13		4－D13		4－D13	8－D13	4－D13		4－D13

符 号	FB 11		FB 12	FB 15 (FB 15A)	FB 17	FB 18	FB 21	FB 22	
位 置	両 端	中 央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
▽1FL									
1F階									
上端筋	5－D22	5－D22	3－D19	3－D19	3－D19	3－D22	3－D19	4－D19	
下端筋	5－D22	5+3－D22	3－D19	3－D19	3－D19	3－D22	3－D19	4－D19	
あばら筋	□－D13 @200		□－D13 @200	□－D10 @200	□－D10 @200	□－D10 @200	□－D10 @200	□－D10 @200	
腹 筋	4－D13		14－D13	2－D13	2－D13	4－D13	4－D13	2－D13	

一級建築士事務　一級建築士
第273032号 矢作俊明 第5121号
共 宅 見 也

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称
基礎小梁　リスト

SCALE
A1：1/30
A3：1/60

DATE
2026.01

倉橋･県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

図面番号
S－37

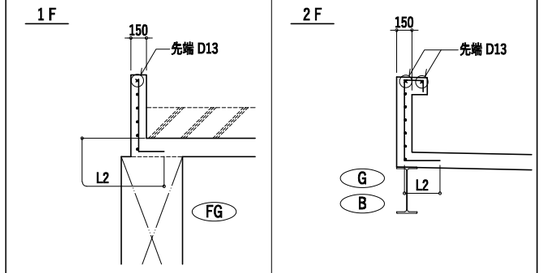
スラブ リスト

特記事項　1. 土間スラブ下地盤で、工事により掘削された位置は、転圧・締固めを十分行う
2. スラブ天端レベル、スラブ上の打増の詳細は、意匠図のスラブ天端参照

符号		スラブ厚		短辺方向 主筋	長辺方向 主筋	備考
B階	FS 1 (ELV・リフトピット)	300	上	D13 @200	D13 @200	砕石 t=100
			下	D13 @200	D13 @200	
1階	S 1	200	上	D13 @100	D13 @200	スラブ上 t=300 打増部　上筋：D10 @200　モチアミシングル
			下	D13 @100	D13 @200	
	S 2	200	上	D13 @100	D13 @150	同上
			下	D10 D13 @100	D10 D13 @150	
	S 3	200	上	D13 @200	D10 D13 @200	同上
			下	D10 D13 @200	D10 @200	
	S 5	200	上	D13 @200	D10 D13 @200	同上
			下	D13 @200	D10 @200	
	S 7	200	上	D13 @200	D10 D13 @200	同上
			下	D13 @200	D10 @200	
	S 8	200	上	D13 @150	D13 @200	同上
			下	D13 @150	D13 @200	
	S 9	200	上	D13 @200	D10 D13 @200	同上
			下	D13 @200	D10 @200	
	S 11 (ボイラー室)	200	上	D13 @200	D13 @200	砕石 t=100
			下	D13 @200	D13 @200	
	S 12 (事務室等)	180	上	D10 D13 @200	D10 D13 @200	砕石 t=100 (ピットなき位置)
			下	D10 @200	D10 @200	
	CS 1 (外周スロープ)	200	上	D13 @150	D10 @200	砕石 t=100
			下	D10 @150	D10 @200	
	CS 2 (外周荷受け部等)	元端：200 先端：175	上	D13 @200	D10 @200	
			下	D13 @200	D10 @200	
	S0 20 (1F 土間スラブ)	200	上	D13 @200	D13 @200	砕石 t=100　※土間下は地盤の転圧・締固めを行う
			下	D13 @200	D13 @200	1F X8通 外周部の S020 主筋は、基礎梁に L1 定着
	S0 18 (ピット 土間スラブ)	180	上	D10 D13 @200	D10 D13 @200	砕石 t=100　※土間下は地盤の転圧・締固めを行う
			下	D10 @200	D10 @200	
上階	DS 1 (2F 一般)	150	上	D10 D13 @200	D10 D13 @200	捨て型枠用デッキプレート(ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷJF75－10) 鉄骨梁上のデッキプレート上、頭付スタッドボルト溶接 デッキプレートスパン L≦2600
			下	D10 @200	D10 @200	
	DS 2 (2F 煙突周り)	150	上	D13 @100	D13 @100	捨て型枠用デッキプレート(ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷJF75－10) 鉄骨梁上のデッキプレート上、頭付スタッドボルト溶接 デッキプレートスパン L≦2600
			下	D13 @100	D13 @100	

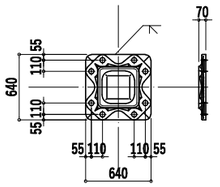
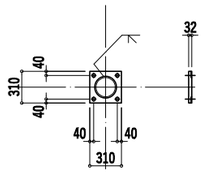
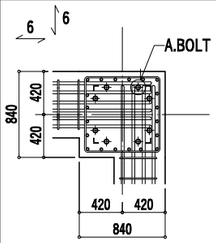
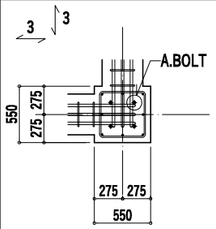
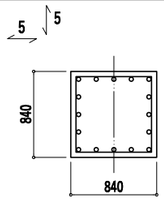
壁 リスト

幅止め筋：D10 @1000　配筋：D－ダブル，S－シングル

符号		W 15	鋼製煙突周り等、設備周りの壁
断面			部分詳細図　参照
縦筋		D10 @150 S	
横筋		D10 @150 S	
開口補強筋	縦	――	
	横	――	
	斜め	――	
端部補強筋		――	

柱脚 リスト

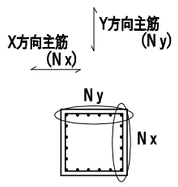
特記事項　1.既製品柱脚を除く、アンカーボルトは二重ナットとする

符　号	C1、C2、C3	C21	R30
B.PL断面	ﾊﾍﾞｰｽNEO工法：GB400－8－42 	ﾊﾍﾞｰｽNEO工法：EM216－4－24 	
鉄　骨	□－400x400	φ－216.3	
BASE.PL	ﾊﾍﾞｰｽNEO既製品	ﾊﾍﾞｰｽNEO既製品	
A.BOLT	ﾊﾍﾞｰｽNEO既製品	ﾊﾍﾞｰｽNEO既製品	
Rib.PL	――	――	
柱型断面			 ※主筋の四隅の頂部はフック付きとする
主　筋	20 － D25 (L= 640 以上)	8 － D16 (L= 210 以上)	16 － D22 (定着L2以上)
HOOP	□－ D13 @100	□－ D13 @150	□－ D13 @100

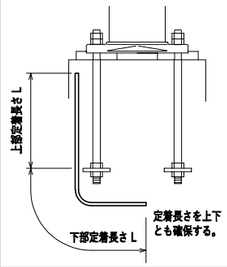
配 置

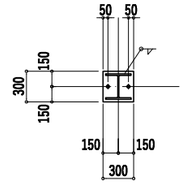
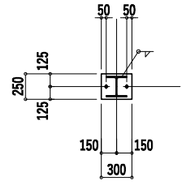
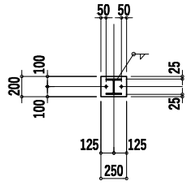
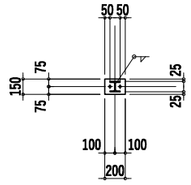


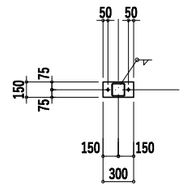
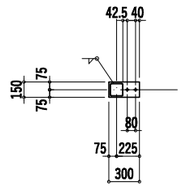
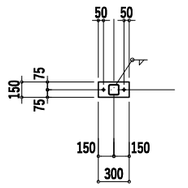
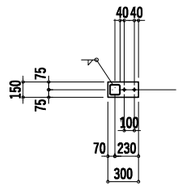
凡 例



ﾊﾍﾞｰｽNEO 柱型定着長さ



符　号	P 250	P 200	P 150	P 100
B.PL断面				
鉄　骨	H－250x250	H－200x200	H－150x150	H－100x100
BASE.PL	B.PL－ 25 (SS400)	B.PL－22 (SS400)	B.PL－ 19 (SS400)	B.PL－ 16 (SS400)
A.BOLT	2－M24 (L=600, ﾌｯｸ形,SS400)	2－M22 (L=550, ﾌｯｸ形,SS400)	2－M20 (L=500, ﾌｯｸ形,SS400)	2－M16 (L=400, ﾌｯｸ形,SS400)
Rib.PL	――	――	――	――

符　号	p 12b (下記のどちらでも可)		p 10b (下記のどちらでも可)	
B.PL断面				
鉄　骨	□－ 125x125		□－ 100x100	
BASE.PL	B.PL－16 (SS400)		B.PL－16 (SS400)	
A.BOLT	2－M16 (L=400, ﾌｯｸ形,SS400)		2－M16 (L=400, ﾌｯｸ形,SS400)	
Rib.PL	――		――	

■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称
柱脚　リスト

SCALE
A1：1/30
A3：1/60

DATE
2026.01

図面番号
S－39

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

鉄骨部材 リスト

特記事項
1. 柱・梁仕口パネルの通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ板厚は、柱・梁材の内、最も厚い物の 2ｻｲｽﾞｱｯﾌﾟ (SN490C)以上とする
2. 仕口パネルの内ダイアフラム(SN490B)位置への溶接は、柱のR位置を避けること
3. 柱梁接合部は、ノンスカラップ溶接とする
4. ダイアフラム板厚が40mmを超える材は、TMCP鋼材（TMCP325C）とする
5. H.T.B は S10T 又は F10T とする　溶融亜鉛メッキ位置（伏図記載）は F8T とする　　BT は材質4Tの普通ボルトを示す

符号		部材	材質	接合部・備考
柱	C 1	2、R 階 □－400x400x12	BCR295	通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ PL－19以上（SN490C）　本柱C1～C8：λmax＝145
		1 階 □－400x400x25	〃	通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ PL－25以上（SN490C）
	C 2	2、R 階 □－400x400x12	〃	通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ PL－25以上（SN490C）
		1 階 □－400x400x22	〃	通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ PL－19以上（SN490C）
	C 3	1 階 □－400x400x22	〃	通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ PL－22以上（SN490C）
	C 21	1 階 φ－216.3 x 12.7	STK400	通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ PL－25以上（SN490C）
大梁・片持梁		◯ は SN490B材 を示す		(SH：ｽｰﾊﾟｰﾊｲｽﾚﾝｼﾞH　※SH は、BH でも可)
	G 1000H	(SH)－1000x350x16x28	SN490B	剛接合　継手：継手リスト参照
	G 1000	SH－1000x300x16x28	SN400B	〃
	G 800H	(SH)－800x300x16x28	SN490B	〃
	G 700	H－700x300x13x24	SN400B	〃
	G 588H	(H)－588x300x12x20	SN490B	〃
	G 588、CG 588	H－588x300x12x20	SN400B	〃
	G 60	H－600x200x11x17	〃	〃
	G 45	H－450x200x9x14	〃	〃
	G 250、CG 250	H－250x250x9x14	〃	〃　ピン接合：G.PL－12　H.T.B 3－M20　千鳥配置　g＝35　b＝50
	G 244、CG 244	H－244x175x7x11	〃	〃　ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M20　一列配置
	G 194、CG 194	H－194x150x6x9	〃	〃
	CG 440	H－440x300x11x18	SN400B	剛接合　継手：継手リスト参照
	CG 340	H－340x250x9x14	〃	〃
	CG 35	H－350x175x7x11	〃	〃
	CG294、CB294、B294G	H－294x200x8x12	〃	〃　ピン接合：G.PL－12　H.T.B 3－M20　一列配置
	CG 30、CB 30、B 30G	H－300x150x6.5x9	〃	〃　ピン接合：G.PL－9　H.T.B 6－M20　二列配置　TYPE B
小梁				※1．特記なき接合　TYPE A（ピン接合詳細図 参照）　BOLT（ピッチ：60、端空き：40）
	B 700	H－700x300x13x24	SS400	ピン接合：G.PL－16　H.T.B 9－M22　一列配置
	B 588	H－588x300x12x20	〃	ピン接合：G.PL－16　H.T.B 8－M22　一列配置　TYPE B
	B 60	H－600x200x11x17	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 8－M22　一列配置
	B 488	H－488x300x11x18	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 6－M20　一列配置
	B 50	H－500x200x10x16	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 6－M20　一列配置
	B 50T	H－500x200x10x16	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 6－M20　一列配置　G梁端(伏図図示)梁下方杖 T5 付　部分詳細図参照→
	B 440	H－440x300x11x18	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 6－M20　一列配置
	B 45	H－450x200x9x14	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 6－M20　一列配置
	B 40	H－400x200x8x13	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 5－M20　一列配置
	B 340	H－340x250x9x14	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 4－M20　一列配置
	B 35	H－350x175x7x11	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 4－M20　一列配置
	B 35B	H－350x175x7x11	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 8－M20　二列配置　TYPE B
	B 294	H－294x200x8x12	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 3－M20　一列配置
	B 30	H－300x150x6.5x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 3－M20　一列配置
	B 30T	H－300x150x6.5x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 3－M20　一列配置　G梁端(伏図図示)梁下方杖 T5 付　部分詳細図参照→
	B 30B	H－300x150x6.5x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 6－M20　二列配置　TYPE B
	B 250	H－250x250x9x14	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 3－M20　千鳥配置　g＝35　b＝50
	B 244	H－244x175x7x11	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M20　一列配置
	B 25	H－250x125x6x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 3－M20　一列配置
	B 25T	H－250x125x6x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 3－M20　一列配置　G梁端(伏図図示)梁下方杖 T5 付　部分詳細図参照→
	B 200	H－200x200x8x12	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 2－M20　一列配置　置屋根で溶接接合あり 溶接長L=150mm以上 x 2面
	B 194	H－194x150x6x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　一列配置
	B 20	H－200x100x5.5x8	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　一列配置
	B 20T	H－200x100x5.5x8	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M20　一列配置　G梁端(伏図図示)梁下方杖 T5 付　部分詳細図参照→
	B 20B	H－200x100x5.5x8	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 4－M20　二列配置　TYPE B

符号		部材	材質	
小梁				※1．特記なき接合　TYPE A（ピン接合詳細図 参照）　BOLT（ピッチ：60、端空き：40）
	B 19	H－198x99x4.5x7	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　一列配置
	B 150	H－150x150x7x10	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 2－M16　並列配置
	B 15	H－150x75x5x7	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　並列配置
	B 100	H－100x100x6x8	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　並列配置
間柱				※1．特記なき接合　BOLT（ピッチ：60、端空き：40）
	P 250（ELV受）	H－250x250x9x14	SS400	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 3－M20　千鳥配置　g＝35　b＝50
	P 200	H－200x200x8x12	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 2－M20　一列配置
	P 150（ELV受）	H－150x150x7x10	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 2－M16　並列配置
	P 100（リフト受）	H－100x100x6x8	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　並列配置
	P 11	φ－114.3x8.6	STK400	上部接合：B200・B194へ全周隅肉溶接、下部接合：PL－9、G.PL－9　H.T.B 2－M16　一列配置
	p 12b	□－125x125x6	STKR400	ピン接合：2G.PL－6　BT 2－M16　並列配置
	p 10b	□－100x100x3.2	〃	ピン接合：2G.PL－4.5　BT 2－M12　並列配置
耐風梁				※1．特記なき接合　BOLT（ピッチ：60、端空き：40）
	HB 244	H－244x175x7x11　横使い	SS400	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M20　一列配置
	HB 25	H－250x125x6x9　横使い	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 3－M20　一列配置
	HB 194	H－194x150x6x9　横使い	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　一列配置
	hb 12b	□－125x125x6　横使い	STKR400	ピン接合：2G.PL－6　BT 2－M16　並列配置
	hb 10b	□－100x100x3.2　横使い	〃	ピン接合：2G.PL－4.5　BT 2－M12　並列配置
他部材				※1．特記なき接合　BOLT（ピッチ：60、端空き：40）
	~~T 1（横補剛材）~~	L－75x75x9	SS400	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 3－M20　並列配置　部分詳細図参照→
	~~T 5（梁下横補剛方杖）~~	L－75x75x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M20　並列配置　部分詳細図参照→
	T 7（方杖材）	L－75x75x9	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M20　並列配置
	T 10（横補剛材）	□－100x100x3.2	STKR400	ピン接合：PL－9　G.PL－9　H.T.B 2－M20　一列配置　ピッチ 70　端空き 40　部分詳細図参照→
	T 19（吊材）	H－198x99x4.5x7	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　一列配置
	~~T 20（吊材）~~	H－200x100x5.5x8	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 2－M16　一列配置
	T 165（2F庇方杖）	φ－165.2x11	STK400	ピン接合：PL－19(SN490B)　G.PL－19(SN490B) H.T.B 9－M20(S10T)　三列配置 ピッチ：60 端空き：50　架構詳細図参照→
	T 200（吊材）	H－200x200x8x12	SS400	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 2－M20　一列配置
	T 250（吊材）	H－250x250x9x14	〃	ピン接合：G.PL－12　H.T.B 3－M20　千鳥配置　g＝35　b＝50
	M 20（水平ﾌﾞﾚｰｽ）	1－M20	SNR400B	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 1－M20　羽子板 PL－9　JIS規格品 ターンバックル付
	~~M 16（水平ﾌﾞﾚｰｽ）~~	1－M16	〃	ピン接合：G.PL－9　H.T.B 1－M16　羽子板 PL－6　JIS規格品 ターンバックル付
	屋内 鉄骨階段 SK 1	ササラ桁 PL－19x350 以上	SS400	ピン接合：　G.PL－16 又は L－130x130x15 程度　H.T.B 2－M20　ピッチ60以上 はしあき50以上
		蹴上・踏面 踏板 PL － 6 以上	〃	溶接接合
		踊場根太 L－65x65x6 以上 @300以内	〃	ピン接合：　G.PL－6　BT 2－M12　又は　部材端 全周溶接接合
	屋内 鉄骨階段 SK 2、SK 3	ササラ桁 PL－19x300 以上	SS400	ピン接合：　G.PL－16 又は L－130x130x15 程度　H.T.B 2－M20　ピッチ60以上 はしあき50以上
		蹴上・踏面 踏板 PL － 6 以上	〃	溶接接合
		踊場根太 L－65x65x6 以上 @300以内	〃	ピン接合：　G.PL－6　BT 2－M12　又は　部材端 全周溶接接合
	母　屋（屋根、庇）	C－100x50x20x2.3 @455	SSC400	ピン接合：G.PL－4.5　BT 2－M12　並列配置　母屋スパン L≦ 3000
	~~天井受材（2F方杖付庇下）~~	C－100x50x20x2.3 @455	〃	ピン接合：G.PL－4.5　BT 2－M12　並列配置　母屋スパン L≦ 3000

一級建築士事務 倉橋総研一級建築士 登279332号 次村俊明 第8121号 矢 倉 良 佑

■備考

工事名
（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称
鉄骨部材　リスト

倉橋･県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

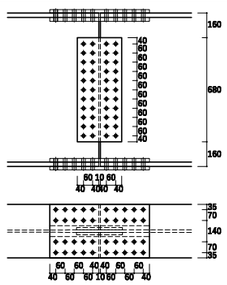
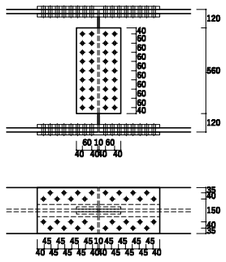
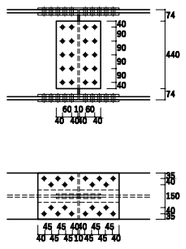
SCALE A1：1/30 A3：1/60

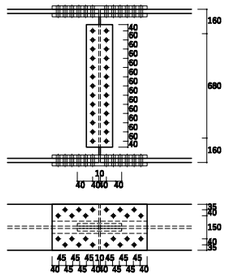
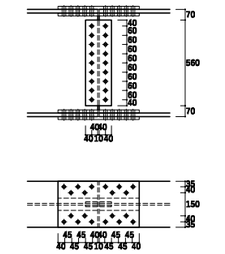
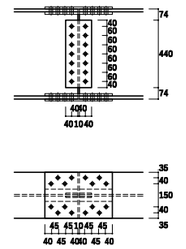
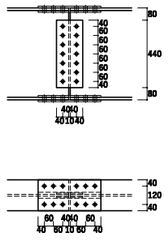
DATE 2026. 01

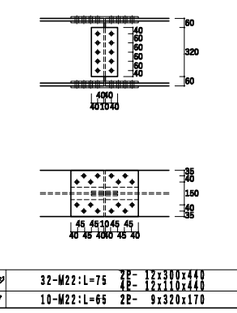
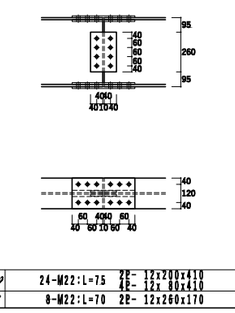
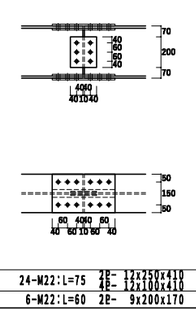
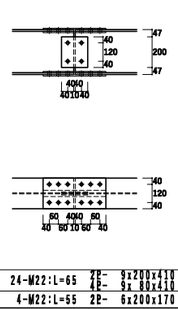
図面番号 S－40

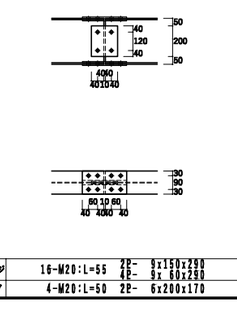
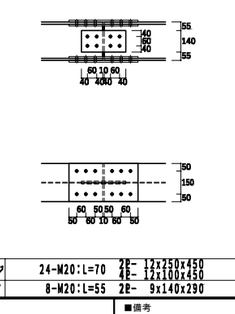
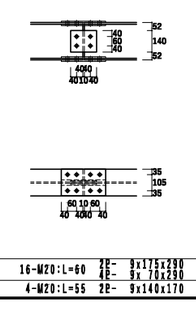
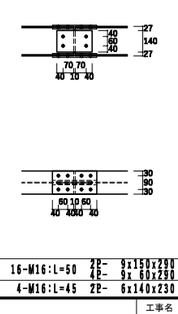
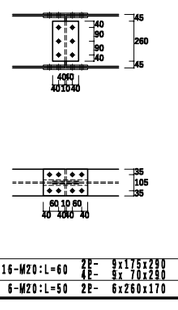
大梁継手　リスト　A1：1/20

特記事項　1．SCSS－H97規準による　2．S.PL材質：母材と同材　3．H.T.B材質：S10T（溶融亜鉛メッキ材は F8T）

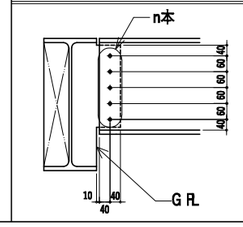
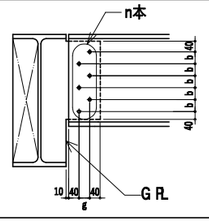
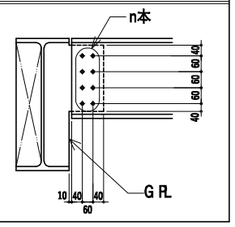
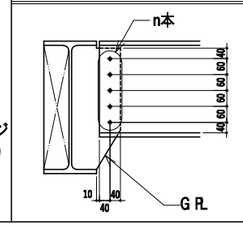
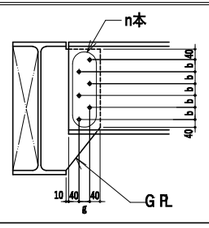
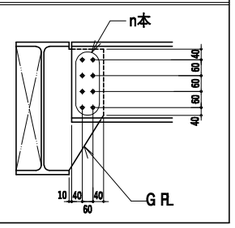
材質 ＼ 符号	G 1000H	G 800H	G 588H
	H-1000x350x16x28x18	GGF-5X-T8030･1628-22 H-800x300x16x28x18	GGF-5X-J6030･1219-22 H-588x300x12x20x13
SN490B			
フランジ	80-M22：L=105　2P- 19x350x650 4P- 22x140x650	64-M22：L=105　2P- 19x300x800 4P- 22x110x800	40-M22：L=85　2P- 12x300x530 4P- 16x110x530
ウェブ	44-M22：L=85　2P- 16x680x290	36-M22：L=85　2P- 16x560x290	20-M22：L=65　2P- 9x440x290

材質 ＼ 符号	G 1000	G 700	G 588、CG 588	G 60
	H-1000x300x16x28x18	GGF-4X-J7030･1425-22 H-700x300x13x24x18	GGF-4X-J6030･1219-22 H-588x300x12x20x13	GGF-4X-J6020･1216-22 H-600x200x11x17x13
SN400B				
フランジ	48-M22：L=105　2P- 22x300x620 4P- 22x110x620	40-M22：L=95　2P- 19x300x530 4P- 19x110x530	32-M22：L=85　2P- 12x300x440 4P- 16x110x440	24-M22：L=75　2P- 12x200x410 4P- 12x 80x410
ウェブ	26-M22：L=75　2P- 12x800x170	18-M22：L=65　2P- 9x560x170	14-M22：L=65　2P- 9x440x170	14-M22：L=65　2P- 9x440x170

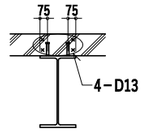
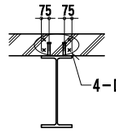
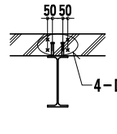
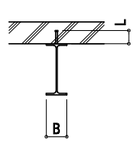
材質 ＼ 符号	CG 440	G 45	CG 340	CG 294、CB 294、B 294G
	GGF-4X-J4530･1219-22 H-440x300x11x18x13	GGF-4X-J4520･0916-22 H-450x200x9x14x13	GGF-4X-J3525･0916-22 H-340x250x9x14x13	GGF-4X-J3020･0912-22 H-294x200x8x12x13
SN400B				
フランジ	32-M22：L=75　2P- 12x300x440 4P- 12x110x440	24-M22：L=75　2P- 12x200x410 4P- 12x 80x410	24-M22：L=75　2P- 12x250x410 4P- 12x100x410	24-M22：L=65　2P- 9x200x410 4P- 9x 80x410
ウェブ	10-M22：L=65　2P- 9x320x170	8-M22：L=70　2P- 12x260x170	6-M22：L=60　2P- 9x200x170	4-M22：L=55　2P- 6x200x170

材質 ＼ 符号	CG 30、CB 30、B 30G	G 250、CG 250	G 244、CG 244	G 194、CG 194	CG 35
	GGF-4X-J3015･0609-20 H-300x150x6.5x9x13	H-250x250x9x14x13	GGF-4X-J2517･0612-20 H-244x175x7x11x13	GGF-4X-J2015･0609-16 H-194x150x6x9x8	GGF-4X-J3517･0612-20 H-350x175x7x11x13
SN400B					
フランジ	16-M20：L=55　2P- 9x150x290 4P- 9x 60x290	24-M20：L=70　2P- 12x250x450 4P- 12x100x450	16-M20：L=60　2P- 9x175x290 4P- 9x 70x290	16-M16：L=50　2P- 9x150x290 4P- 9x 60x290	16-M20：L=60　2P- 9x175x290 4P- 9x 70x290
ウェブ	4-M20：L=50　2P- 6x200x170	8-M20：L=55　2P- 9x140x290	4-M20：L=55　2P- 9x140x170	4-M16：L=45　2P- 6x140x230	6-M20：L=50　2P- 6x260x170

ピン接合詳細図

	1 列 配 置	千 鳥 配 置	並 列 配 置
TYPE A			
TYPE B （下フランジ片側切断）			

鉄骨梁スタッドボルトの配置

適用箇所		デッキスラブ下の梁上			
部　材		350 ≦ B	B = 300、250	B = 200	B < 200
断　面					
S.BOLT	Fデッキ位置	19φ @200 ダブル	19φ @200 ダブル	19φ @200 ダブル	19φ @300 シングル
	QLデッキ位置	同　上	同　上	同　上	同　上
備　考		スタッド長さ L　スラブ厚 ≦ 150　L = 80 スラブ厚 > 150　L = 130 ※ 梁継手位置のｽﾀｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄ不足分を継手左右に打増すること			

■備考

工事名：（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称：大梁継手　リスト

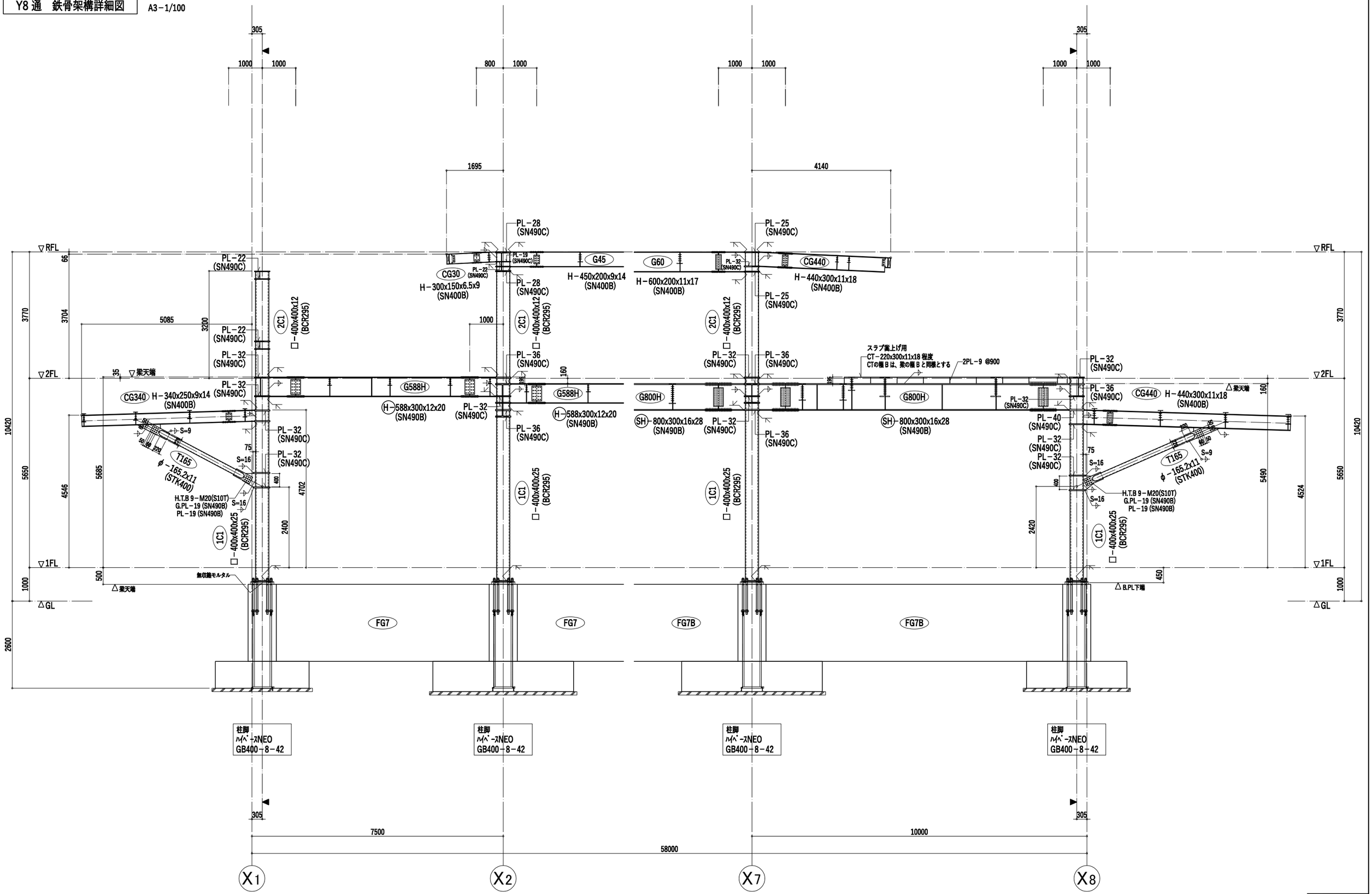
SCALE：A1：1/30　A3：1/60

DATE：2026. 01

図面番号：S－41

倉橋･県建築設計共同企業体
長野県松本市野清水工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

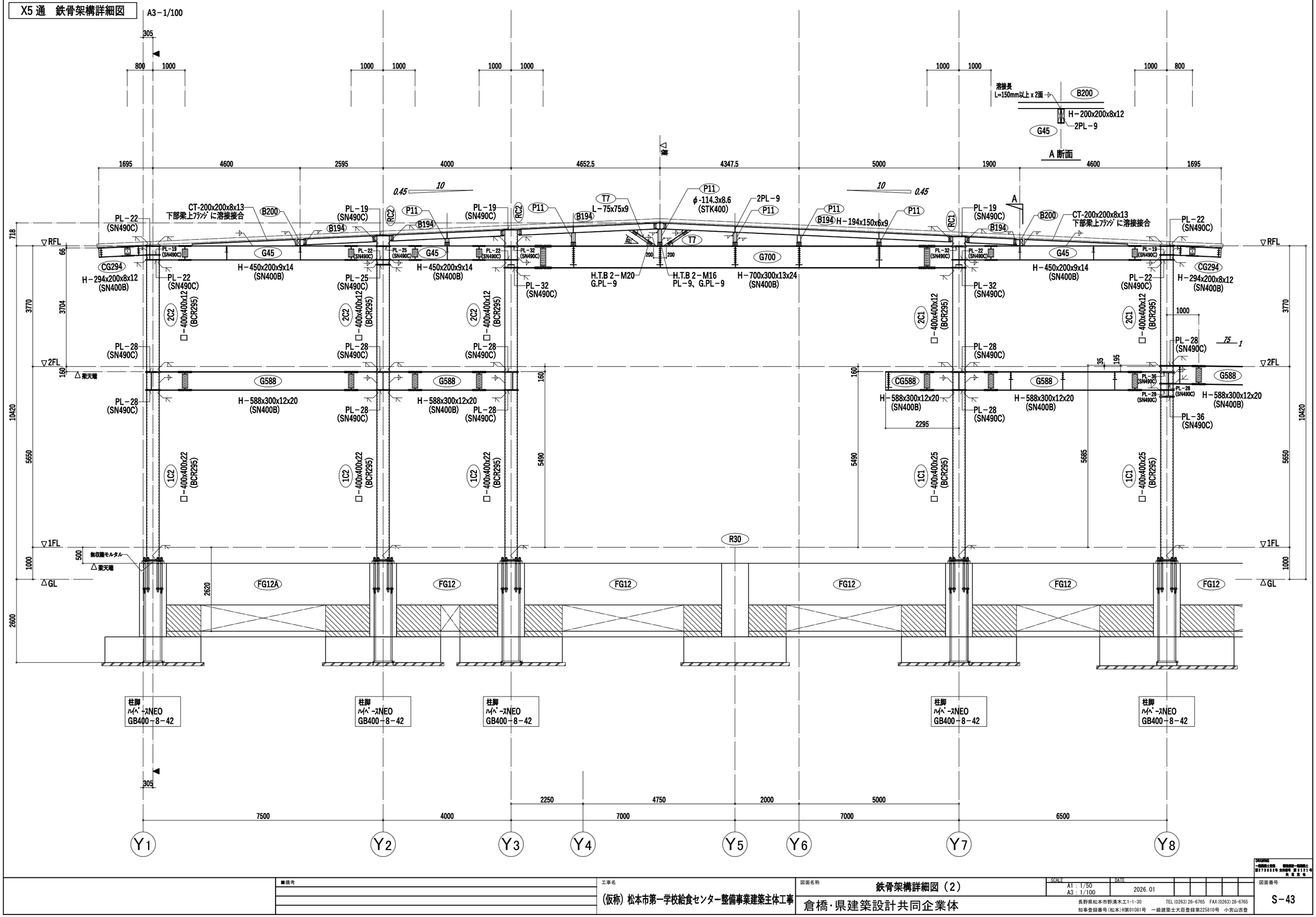
Y8通　鉄骨架構詳細図　A3－1/100



■備考	工事名	図面名称	鉄骨架構詳細図（1）	SCALE A1：1/50 A3：1/100	DATE 2026.01	図面番号 S－42
	（仮称）松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事	倉橋・県建築設計共同企業体		長野県松本市野溝木工1-1-30 TEL(0263)26-6765 FAX(0263)28-6765 知事登録番号（松本）H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登	

X5通　鉄骨架構詳細図

A3－1/100



■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称
鉄骨架構詳細図（2）

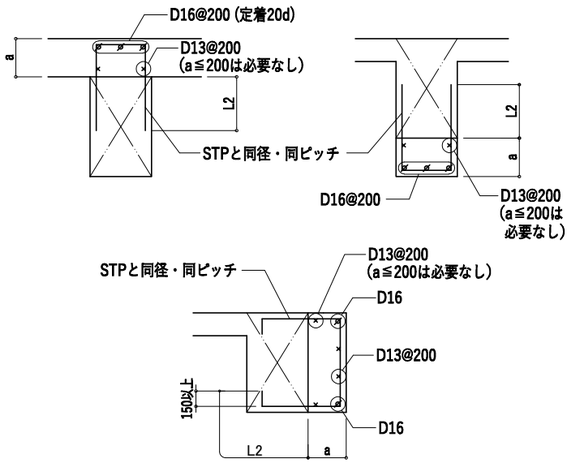
SCALE
A1：1/50
A3：1/100

DATE
2026.01

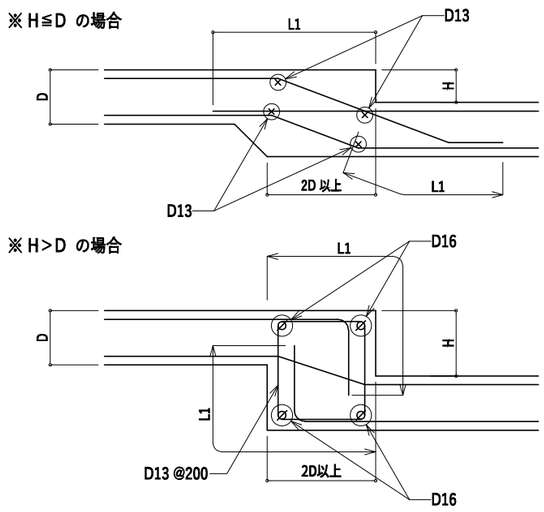
図面番号
S－43

倉橋･県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL(0263)26-6765　FAX(0263)28-6765
知事登録番号(松本)H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

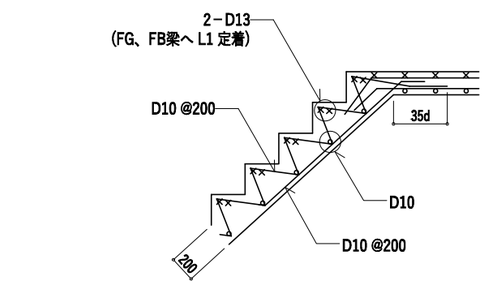
梁増打要領　no scale



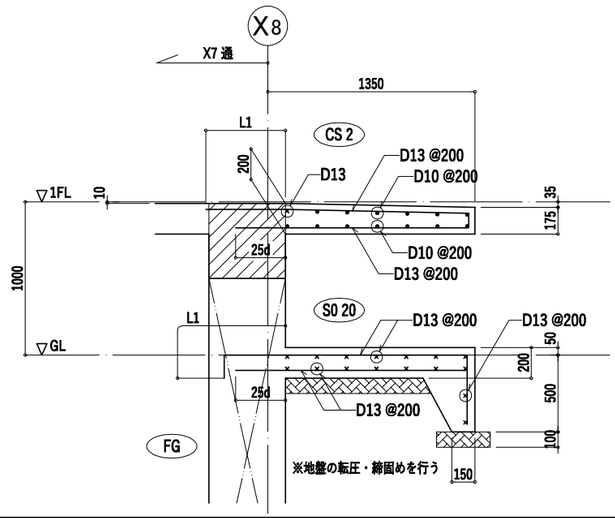
1階スラブ段差部　詳細　no scale



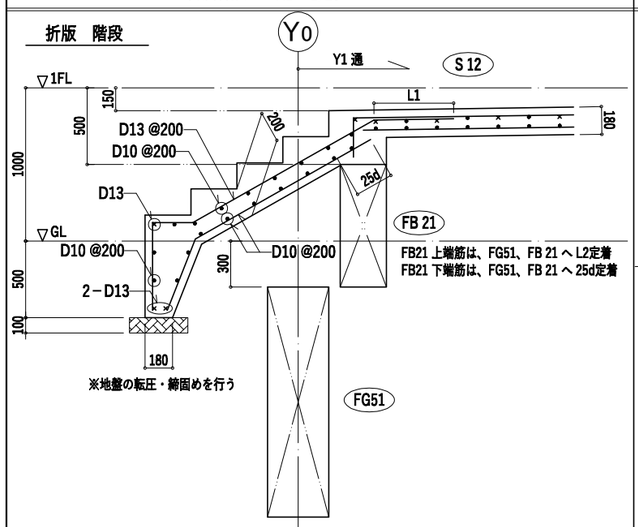
1F 外周部　RC 階段　no scale



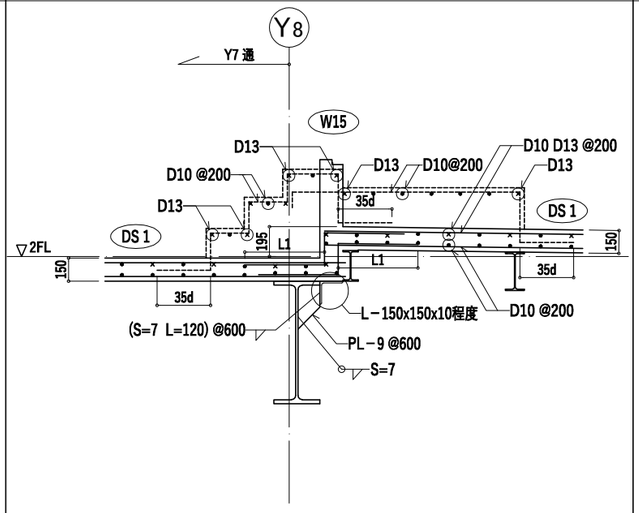
1F 外周部　S0 20、CS 2 納まり　A1－1/20



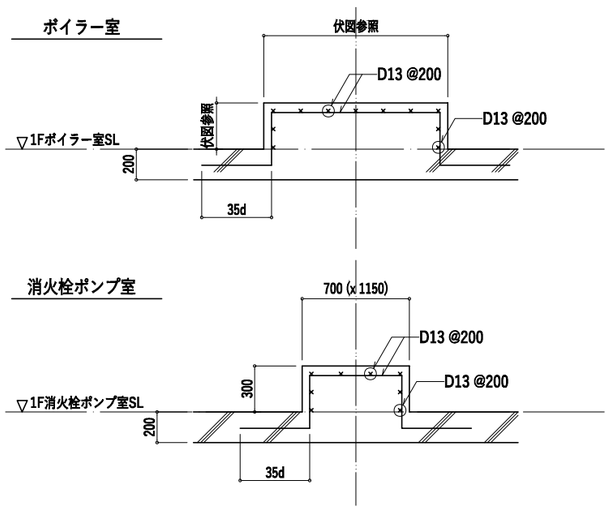
1F エントランス外部階段　A1－1/20



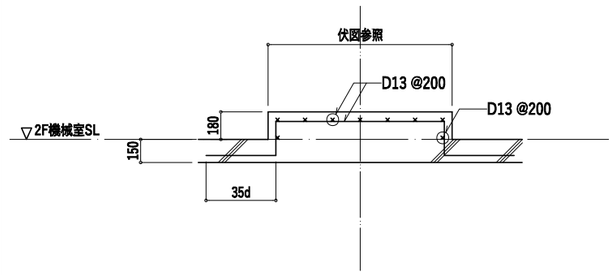
2F 機械室と屋上のスラブ段差　A1－1/20



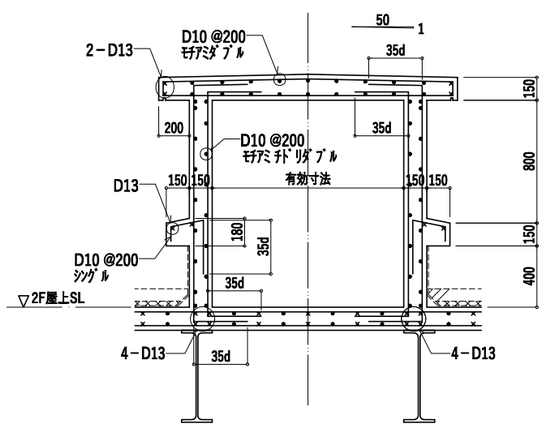
1F ボイラー室・消火栓ポンプ室　設備基礎　A1－1/20



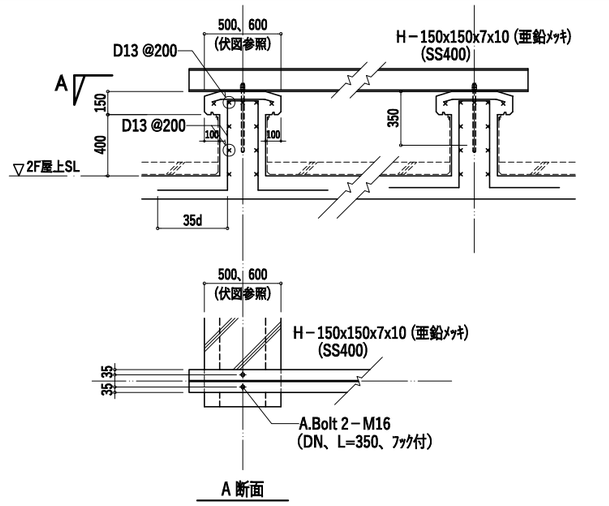
2F 機械室　設備基礎　A1－1/20



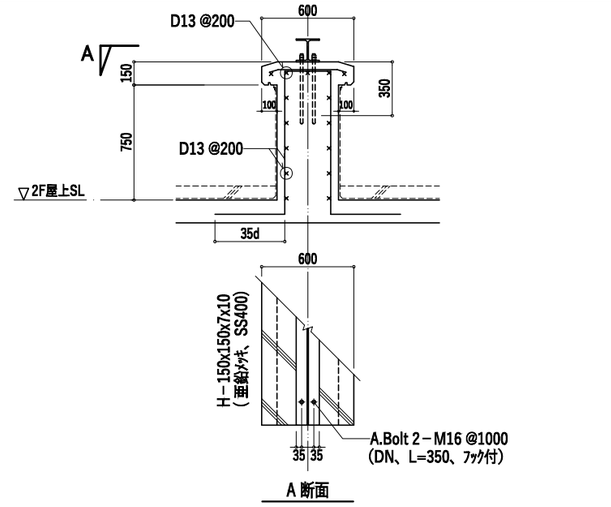
2F 屋上　ハト小屋 1～5 断面図　A1－1/20



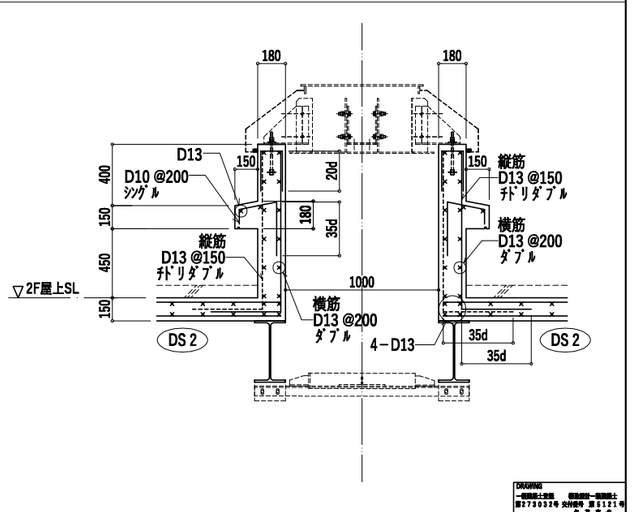
2F 屋上　設備 基礎（キュービクル基礎を除く）　A1－1/20



2F 屋上　キュービクル 基礎　A1－1/20



2F 屋上　鋼製煙突 基礎　A1－1/20



■備考

工事名
(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称
部分　詳細図（1）

倉橋･県建築設計共同企業体

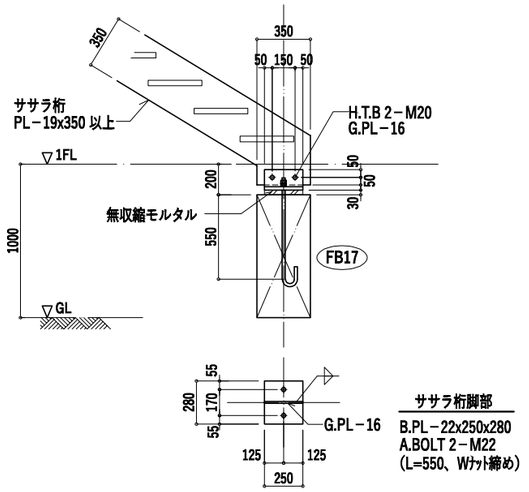
SCALE
A1：1/20
A3：1/40

DATE
2026. 01

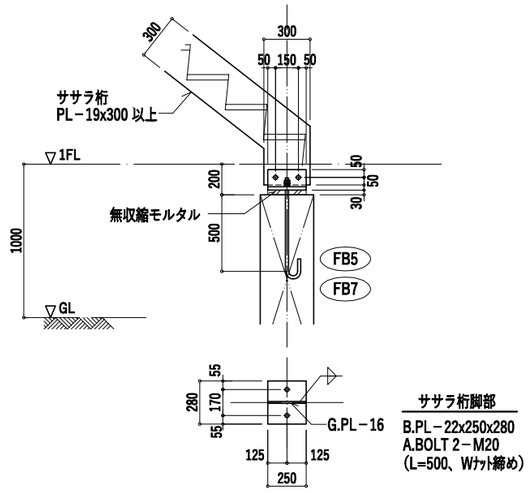
図面番号
S－44

長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登

鉄骨階段脚部　SK1　詳細　　A1－1/20

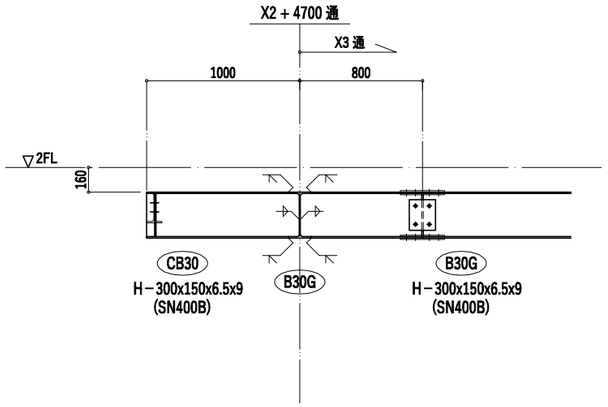


鉄骨階段脚部　SK2、SK3　詳細　　A1－1/20

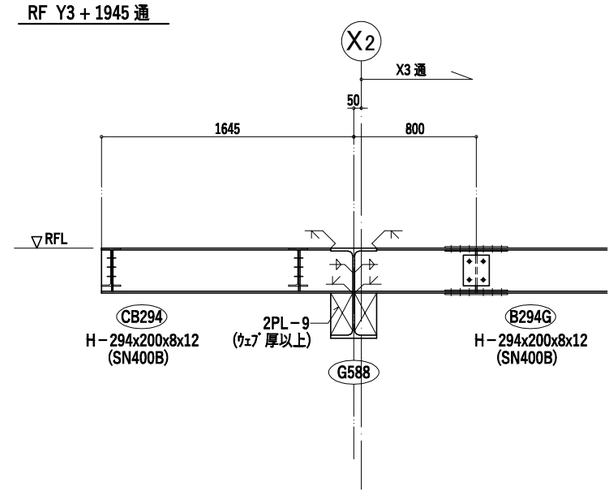


小梁剛接合　詳細　　A1－1/20

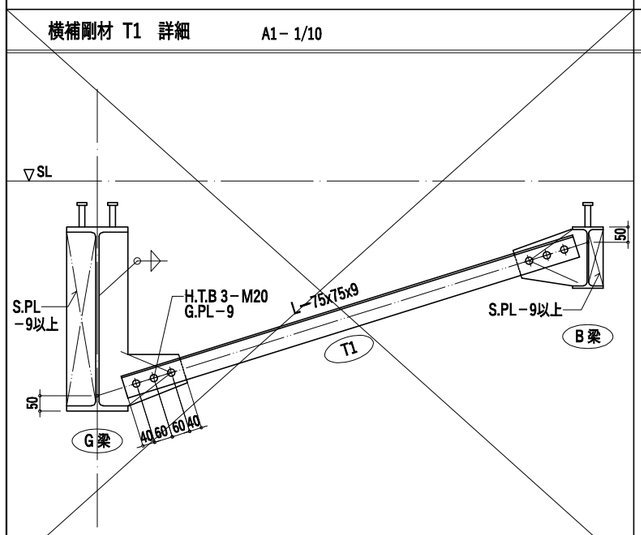
2F　Y1＋1850 通



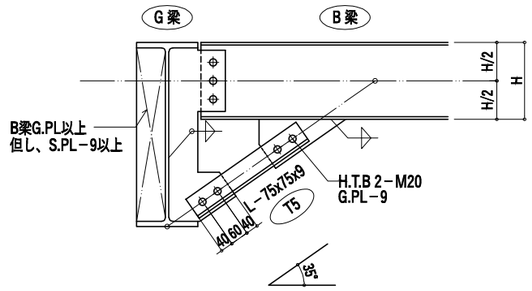
RF　Y3＋1945 通



横補剛材 T1　詳細　　A1－1/10

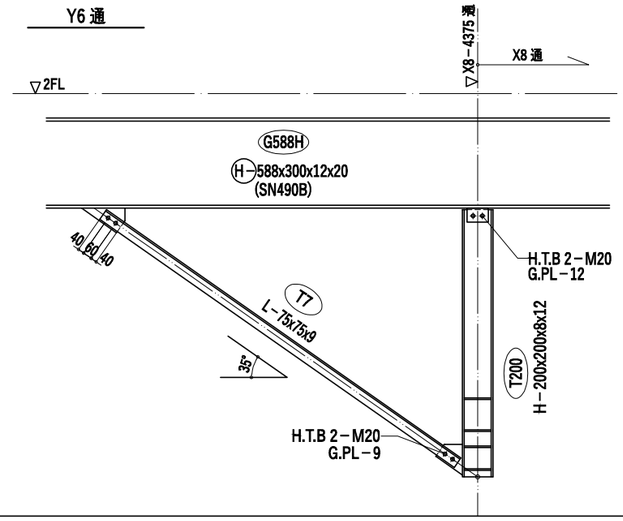


梁下横補剛方杖材 T5　詳細　　A1－1/10

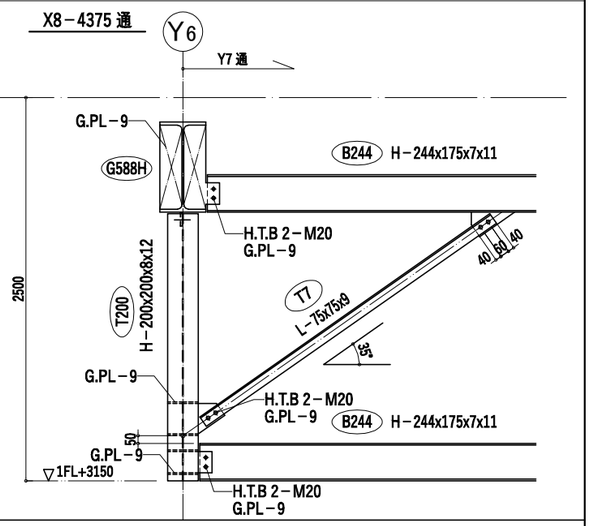


方杖材 T7　詳細　　A1－1/20

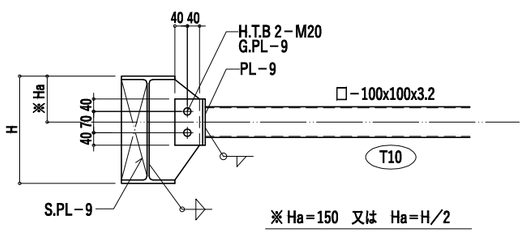
Y6 通



X8－4375 通

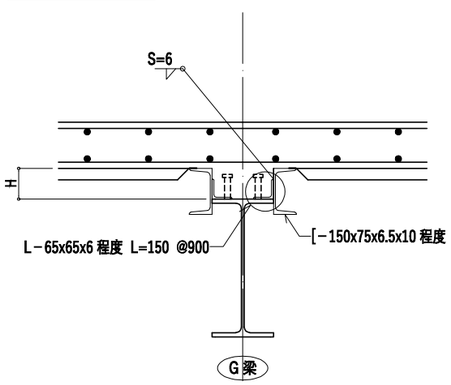


横補剛材 T10　詳細　　A1－1/10

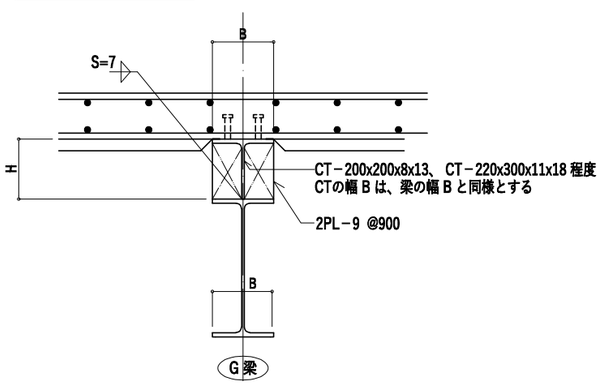


デッキスラブ段差・嵩上げ　詳細　　A1－1：10

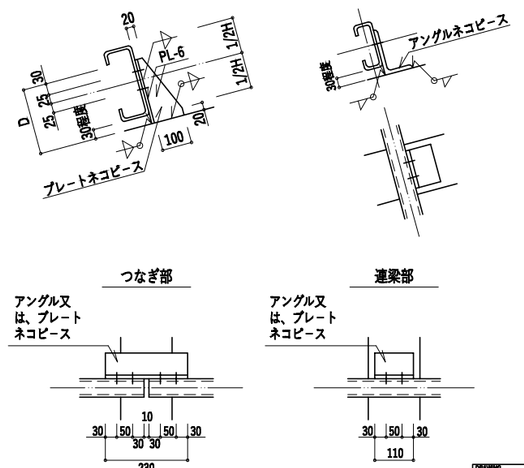
H ≦ 120　の場合



200 ≧ H > 120　の場合



母屋取付　標準要領図　　A1－no scale



■備考

工事名　(仮称) 松本市第一学校給食センター整備事業建築主体工事

図面名称　部分　詳細図(2)

SCALE　A1：1/20　A3：1/40

DATE　2026. 01

図面番号　S－45

倉橋・県建築設計共同企業体
長野県松本市野溝木工1-1-30　TEL (0263) 26-6765　FAX (0263) 28-6765
知事登録番号 (松本) H第01081号　一級建築士大臣登録第225810号　小宮山吉登